

**武蔵野市子ども・子育てに関するアンケート調査  
報告書**



# 目次

第1章 調査の概要	1
1 アンケート調査の概要	1
1-1 調査目的	1
1-2 調査期間と方法	1
1-3 調査対象	1
1-4 調査結果の見方	2
1-5 【参考】生活困難度	3
第2章 調査結果	4
1 回答者属性と調査対象児童及び家族等の状況	4
1-1 就学前児童保護者	4
1-2 小学生世代保護者	13
1-3 中学生世代保護者	18
2 子育ての状況	24
2-1 理想的な子どもの人数と実際に育てられると思う子どもの人数	24
2-2 実際に育てられると思う子どもの数が、理想とする子どもの数より少ない理由	25
2-3 子どもを預かってもらえる親族・知人の有無	26
2-4 子育てに関して悩んでいることや気になること	27
2-5 相談できる人や場所の有無	30
2-6 子育て・家庭教育に関する相談先	33
2-7 必要なサポートで重要だと思うもの	37
2-8 第一子が生まれる前に赤ちゃんの世話をした経験の有無	38
2-9 妊娠中にほしいサービスやしたかったこと	39
2-10 産後（退院してすぐ）に困ったことや欲しいサービスのこと	40
2-11 子育て中（これからのこと）にほしいサービスやしたいこと	41
2-12 市の就学援助費制度の認知度	42
2-13 妊娠中に相談できると良かったと思うタイミング	43
2-14 出産後に相談できると良かったと思うタイミング	44
3 青少年期の子どもと保護者の関わり	45
4 暮らしの状況	48
4-1 あなたの状況について	48
5 子育て支援サービスや地域子育て支援事業の利用状況	55
5-1 子育て支援サービス・地域子育て支援事業の利用状況	55
5-2 地域子育て支援施設の利用状況	59
6 教育・保育事業の利用状況	65
6-1 平日の定期的な教育・保育事業活動の利用状況	65
6-2 定期的に利用したいと考えている教育・保育事業	78
7 子どもの病気の際の対応や一時預かり等の状況	91
7-1 病気の際の対応と病児・病後児施設の利用状況	91
7-2 一時預かり等の利用	96

8 児童の放課後の過ごし方 .....	107
8-1 学童クラブの利用状況 .....	107
8-2 『地域子ども館あそべえ』の利用状況 .....	116
9 育児休業などの仕事と子育ての両立支援制度 .....	120
9-1 育児休業の取得状況 .....	120
9-2 育児休業を取得していない理由 .....	121
9-3 育児休業の取得後の職場復帰状況 .....	123
9-4 育児休業から職場復帰したときの子どもの年齢と職場復帰を希望する子どもの年齢 ...	124
9-5 仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うこと .....	126
10 市の子育て環境や支援への認知度、満足度等 .....	127
10-1 市の子育て環境や支援への満足度 .....	127
10-2 市の子育て環境や支援に関しての意見 .....	130
10-3 武蔵野市子どもの権利条例 .....	133
10-4 ヤングケアラー .....	134
10-5 そのほか中学生世代保護者設問から .....	135
巻末資料 調査票 .....	140

## 第1章 調査の概要

### 1 アンケート調査の概要

#### 1-1 調査目的

次期「第六次子どもプラン武蔵野」の策定に着手するにあたり、武蔵野市の子ども・子育て施策に関する意識やニーズ等を把握して施策や計画の検討に生かすため、ご意見をお伺いしました。

#### 1-2 調査期間と方法

調査期間：郵送 令和6年1月5日（金）～1月22日（月曜日）必着  
WEB 令和6年1月5日（金）～1月26日（金曜日）

調査方法：郵送による配布、郵送およびWEBによる回収、お礼をかねた締め切りの再案内ハガキを送付

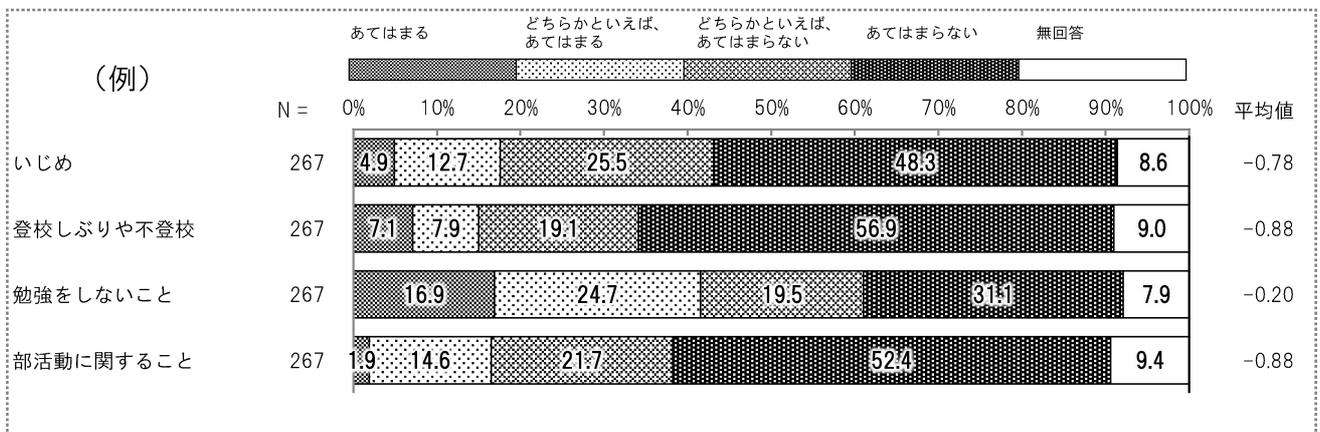
#### 1-3 調査対象

令和5年11月の武蔵野市の住民基本台帳に基づき、無作為に抽出しました。

対象	配布数	回答数	回答数		回収率
			郵送回答数	WEB回答数	
就学前児童保護者	1,400	803	280	523	57.4%
小学生世代保護者	1,200	611	191	420	50.9%
中学生世代保護者	600	267	89	178	44.5%

## 1-4 調査結果の見方

- ・ 本文、図表において、調査票の設問文や選択肢は簡略化して表記することがあります。
- ・ 図・表中のNおよび調査数とは、調査の回答者の実数を表します。(無回答含む)
- ・ 回答はN(調査数)を100%とした百分率で算出し、小数点以下第2位を四捨五入しているため、各比率の合計値と全体の比率、図表の比率の合計値として記載した本文の比率と図表に記載された数値の合計が一致しないことがあります。
- ・ 複数回答(あてはまるものすべてに○)の比率の合計は、100%にならず、超えることもあります。
- ・ 母数Nが10未満の結果については、分析の対象外とします。
- ・ 程度を把握する設問については、集計区分間で比較しやすいよう、例えば、「そう思う」～「そう思わない」の4件法であれば、「そう思う」を1.5、「どちらかといえばそう思う」を0.5、「どちらかといえばそう思わない」を-0.5、「そう思わない」を-1.5、まん中の評価を0としたプラスとマイナスで点数化し、その平均値を算出してグラフ右側に掲載しました。

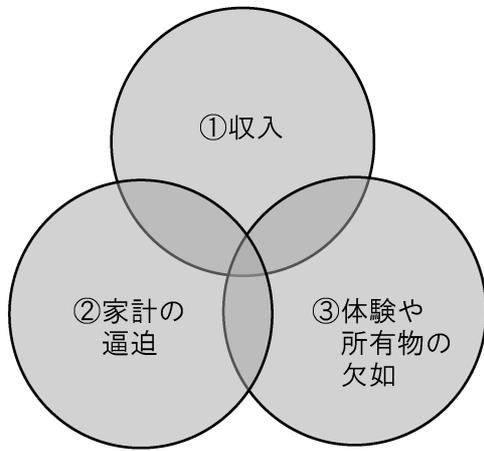


- ・ (複数回答)およびクロス集計については、「無回答」を掲載していません。そのため、クロス集計の調査数(N)の合計は全体と一致しないことがあります。

## 1-5【参考】生活困難度

本報告書では、生活困難を抱えている子どもの状況を把握するため、アンケート調査結果について3つの要素を用いた生活困難度指標<sup>※1</sup>（以下、「生活困難度」）を採用しました。

図表「生活困難度」定義イメージ図



①収入（世帯収入からみた困難）
世帯の総収入に関して、世帯人数を踏まえて算出した額が、一定水準未満とみなされる世帯
一定水準とは厚生労働省「令和4年国民生活基礎調査」から算出される所得金額の中央値の50%である127万円未満を採用。
②家計の逼迫（家計からみた困難）
以下の7項目に関して、過去1年間に買えなかった経験や、支払えなかった経験が1つ以上あると回答した世帯
① 電話料金 ②電気料金 ③ガス料金 ④水道料金 ⑤家賃 ⑥ 家族が必要とする食料が買えなかった ⑦ 家族が必要とする衣類が買えなかった

### ③体験や所有物の欠如（子どもからみた生活の困難）

子どもの体験や所有物などに関する以下の15項目のうち、欠如する項目が3つ以上あると回答した世帯

- |                          |                         |                         |
|--------------------------|-------------------------|-------------------------|
| ① 海水浴に行く                 | ② 博物館・科学館・美術館などに行く      | ⑩ お誕生日のお祝いをする           |
| ③ キャンプやバーベキューに行く         | ④ スポーツ観戦や劇場に行く          | ⑪ 1年に1回くらい家族旅行に行く       |
| ⑤ 遊園地やテーマパークに行く          | ⑥ 毎月おこづかいを渡す            | ⑫ クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげ |
| ⑦ 毎年新しい洋服・靴を買う           | ⑧ 習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる | ⑬ 子供の年齢に合った本            |
| ⑨ 学習塾に通わせる（又は家庭教師に来てもらう） | ⑭ 子供用のスポーツ用品・おもちゃ       | ⑮ 子供が自宅で宿題（勉強）をすることができる |

### □ 生活困難度の区分

上記の指標のうち各要素のいずれか1つ以上に該当する場合を「生活困難層」と定め、いずれも該当しない場合を「一般層」と定め、比較可能な設問について、区分間の分析を行いました。

図表「生活困難層」区分及び割合

生活困難層	困窮層＋周辺層	12.9%
	困窮層	2つ以上の要素に該当 4.3%
	周辺層	いずれか1つの要素に該当 8.6%
一般層	いずれの要素にも該当しない	87.1%

### □ 貧困率（参考値）

今回のアンケート調査結果を用いて、武蔵野市の子どもの貧困率を算出しました。貧困率の算出は相対的貧困率<sup>※2</sup>の算出方法を用い、国の貧困線と武蔵野市の貧困線から算出しました。

国の貧困線に基づく武蔵野市の子どもの貧困率 <sup>※3</sup>	2.5%
本調査結果における貧困線に基づく武蔵野市の子どもの貧困率 <sup>※4</sup>	9.7%

\*本来は対象世帯の個別の等価可処分所得を用いて算出するが、本調査では、一定の幅を設けた選択肢の中から選択された数値（100万円～300万円未満等）を用いていること、また、市内の子どもがいる世帯から無作為に抽出した世帯を対象としていること（全世帯を対象としたものではない。全ての対象世帯から回答を得ているものではない。）をご留意願いたい。

※1 「生活困難度指標」は『平成28年度東京都子供の生活実態調査』より採用されたものである。  
 ※2 「相対的貧困率」は一定基準を下回る等価可処分所得（世帯の可処分所得を世帯人員の平方根で除した額）しか得ていないものの割合。「貧困線」とは等価可処分所得の中央値の半分の額。  
 ※3 「令和4年国民生活基礎調査」から算出される所得金額の中央値の50%である127万円未満の世帯の割合。  
 ※4 本アンケート調査結果から算出される所得金額の中央値の50%である262.5万円の世帯の割合。

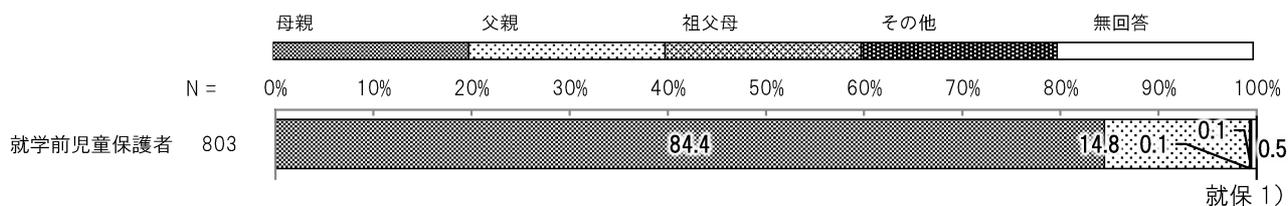
## 第2章 調査結果

### 1 回答者属性と調査対象児童及び家族等の状況

#### 1-1 就学前児童保護者

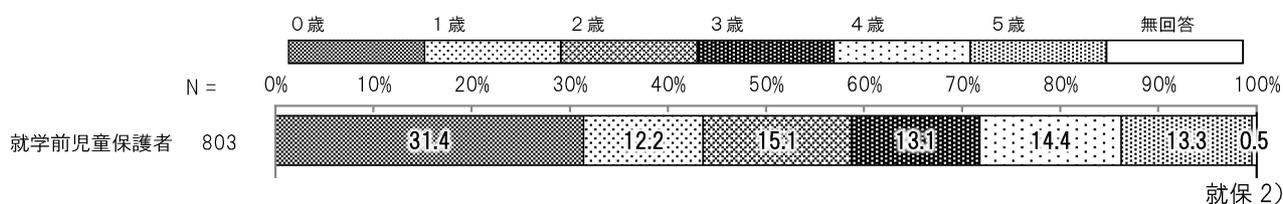
1-1-1) この調査票にご回答いただく方はどなたですか。

- ・ 就学前児童保護者は「母親」が84.4%、「父親」が14.8%でした。
- ・ その他としては、母同居(父親単身赴任)、曾祖母同居、妹同居などの記載がありました。



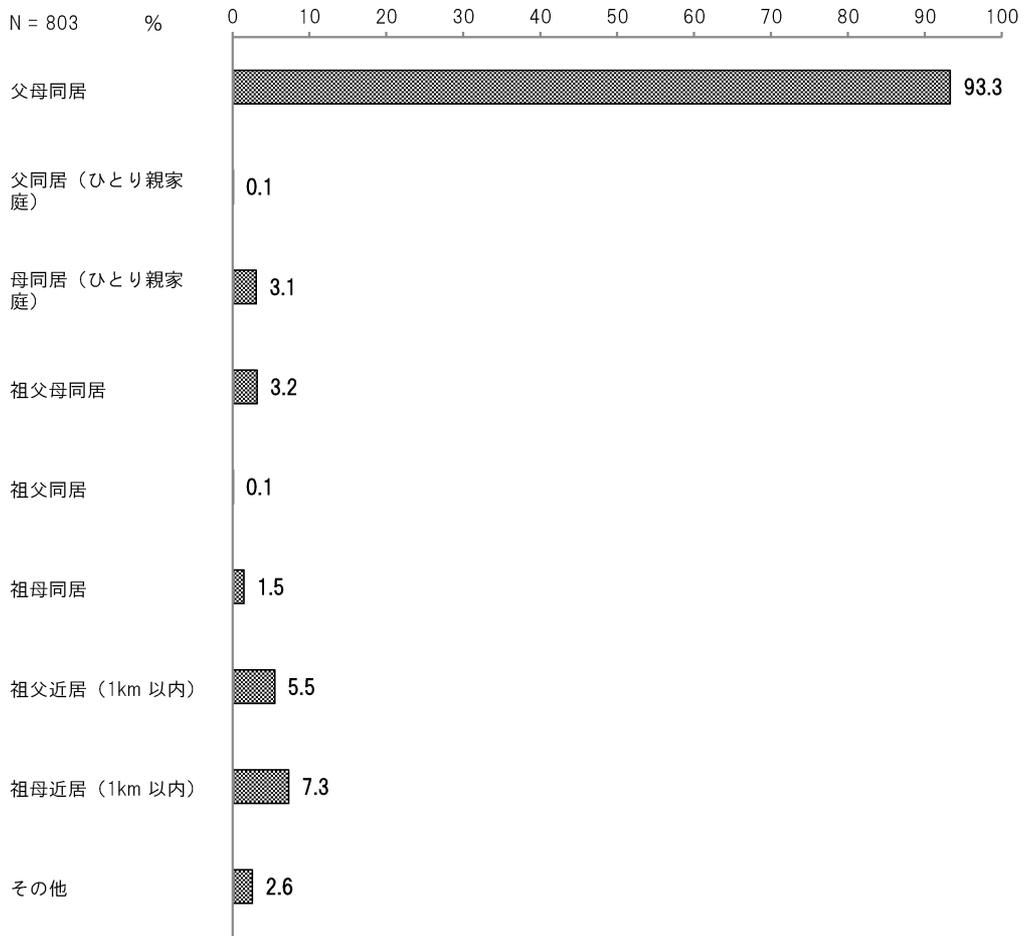
1-1-2) あて名のお子さんの年齢

- ・ あて名のお子さんの年齢は、0歳が最も多く31.4%でした。



1-1-3) あて名のお子さんとの居住の状況 (複数回答)

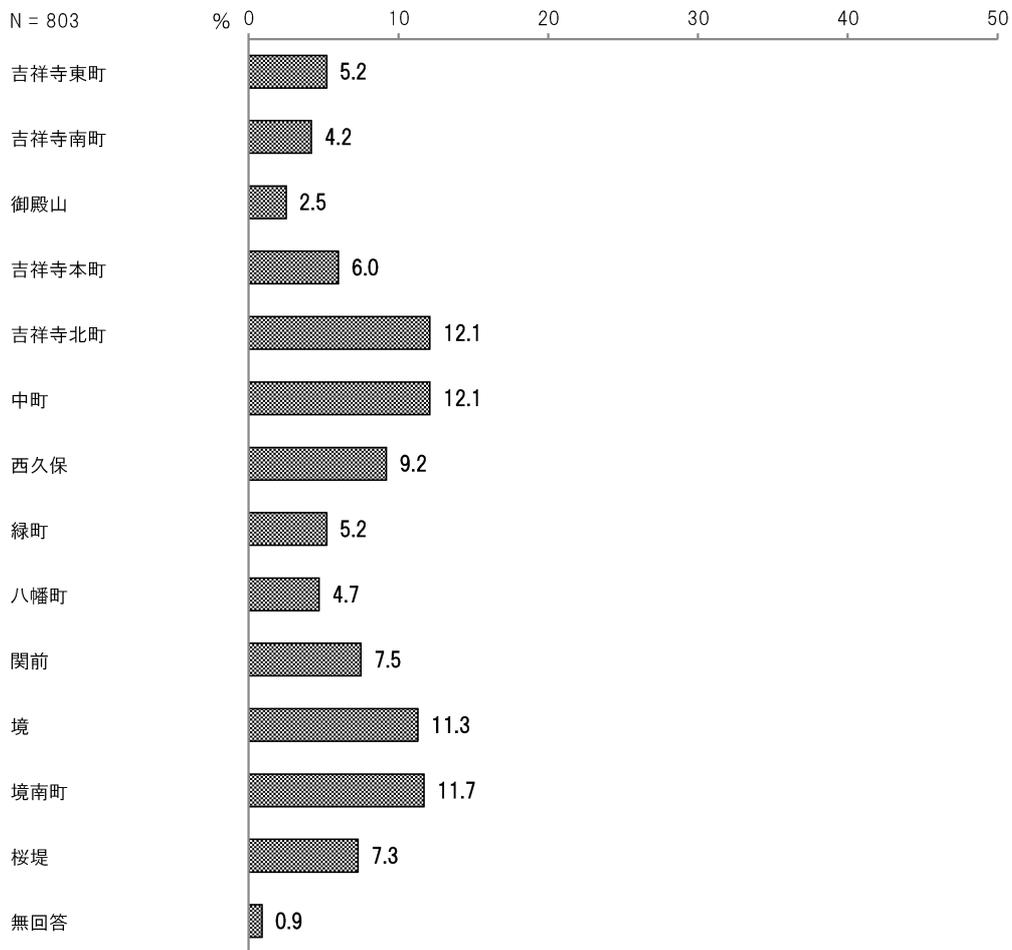
- ・ 就学前児童保護者は「父母同居」が最も多く 93.3%、次いで「祖母近居 (1km 以内)」が 7.3%でした。
- ・ その他としては、兄弟と同居、父単身赴任などの記載がありました。



就保 3)

1-1-4) お住まいの地区はどちらですか。

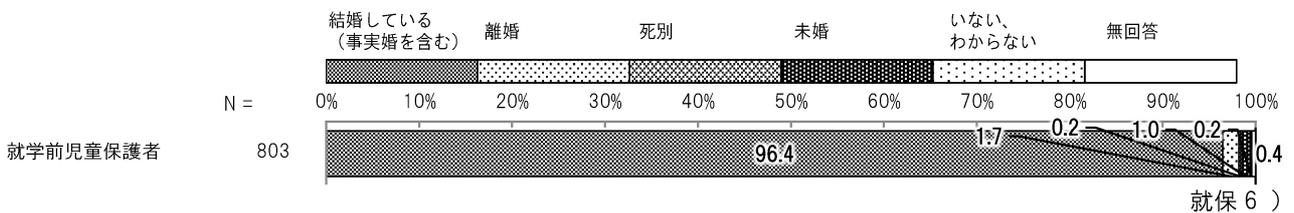
- ・ 就学前児童保護者は「吉祥寺北町」と「中町」が最も多く 12.1%でした。



就保 4)

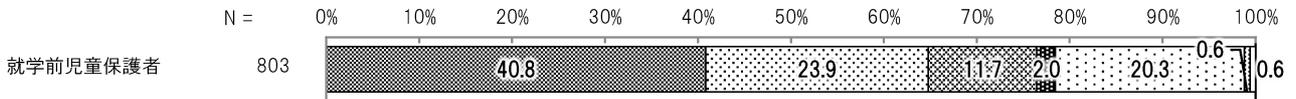
1-1-5) お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況

- ・ 就学前児童保護者は「結婚している（事実婚を含む）」が最も多く 96.4%、次いで「離婚」が 1.7%でした。



1-1-6) 母親の就労状況

- ・ 就学前児童保護者の母親の就労状況は「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も多く40.8%、次いで「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が23.9%でした。

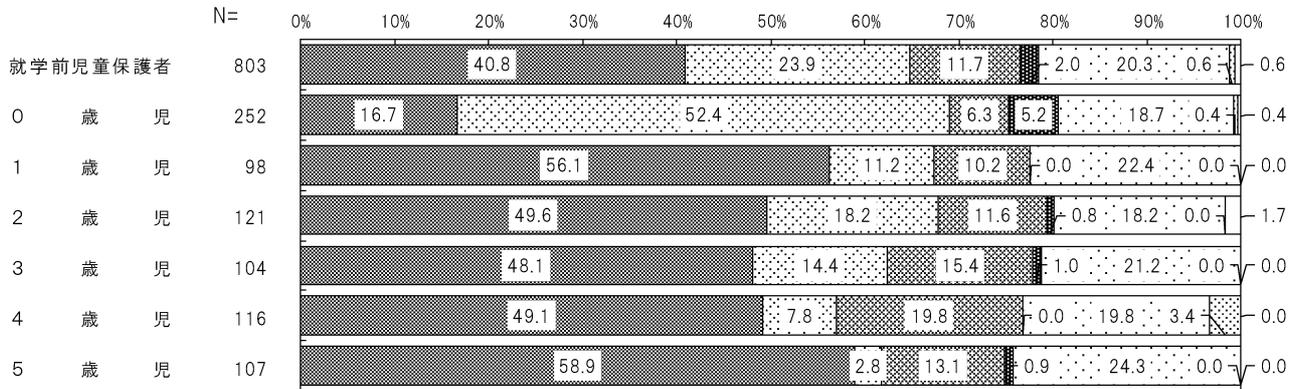


- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

就保7)

**【学年年齢 × 母親の就労状況(未就学児童)】**

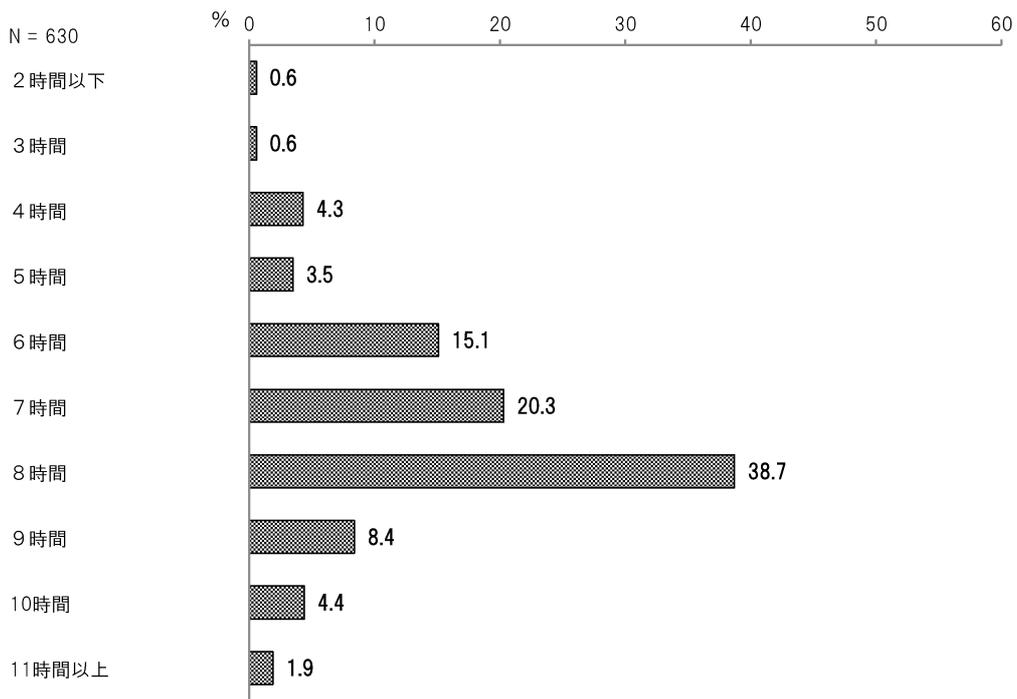
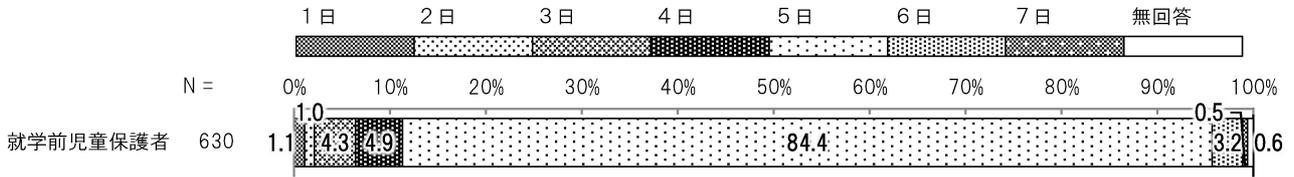
- ・ 就学前児童保護者の就労状況を学年年齢別にみると、「0歳児」の母親は、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が52.4%と最も多くなっています。また、「1歳児」から「5歳児」の母親は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も多くなっています。



- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ▣ パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▤ パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

1-1-7) 1週当たりの就労日数、1日あたりの就労時間：母親

- ・ 就学前児童保護者の母親の1週当たりの就労日数は平均4.83日で、「5日」が最も多く84.4%でした。
- ・ 就学前児童保護者の1日あたりの就労時間は平均7.42時間で、「8時間」が最も多く38.7%でした。

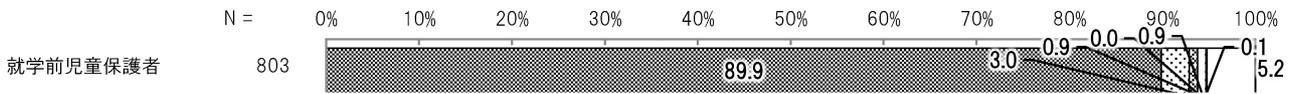


	週あたり就労日数		1日あたり就労時間	
	調査数	平均	調査数	平均
就学前児童保護者（母親）	626	4.83	618	7.42

就保7)

1-1-8) 父親の就労状況

- ・ 就学前児童保護者の父親の就労状況は「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も多く 89.9%、次いで「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が 3.0%でした。

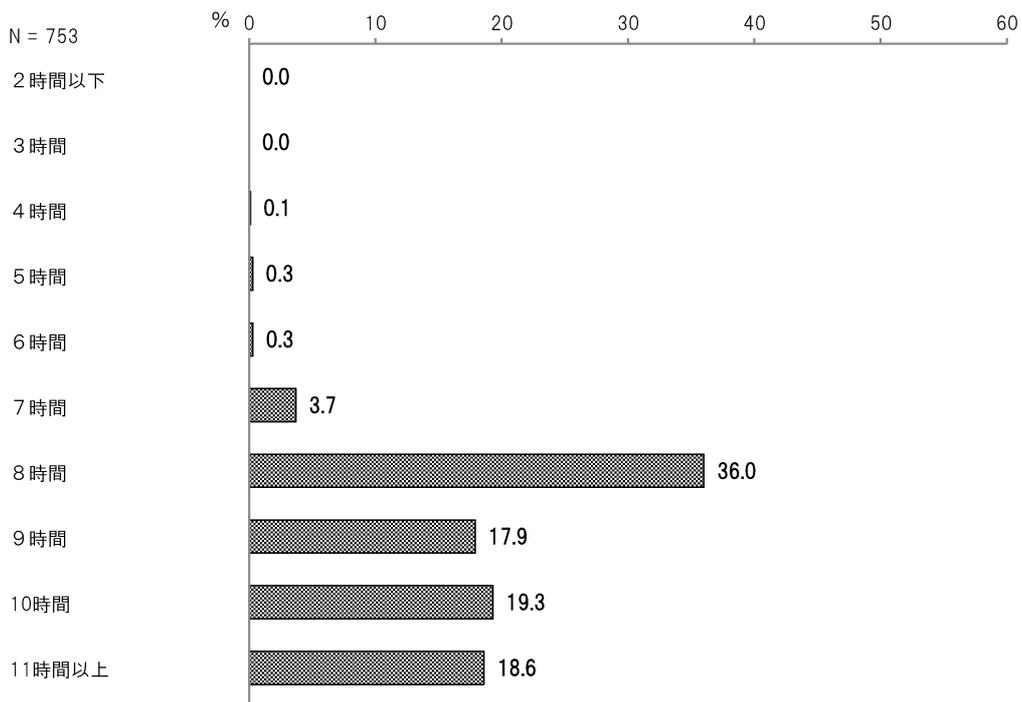
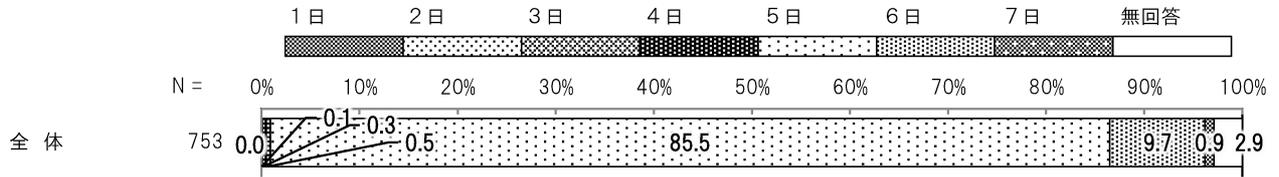


- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

就保 7)

1-1-9) 1週当たりの就労日数、1日あたりの就労時間：父親

- ・ 就学前児童保護者の父親の1週当たりの就労日数は平均5.10日で、「5日」が最も多く85.5%でした。
- ・ 就学前児童保護者の父親の1日あたりの就労時間は平均9.40時間で、「8時間」が最も多く36.0%した。

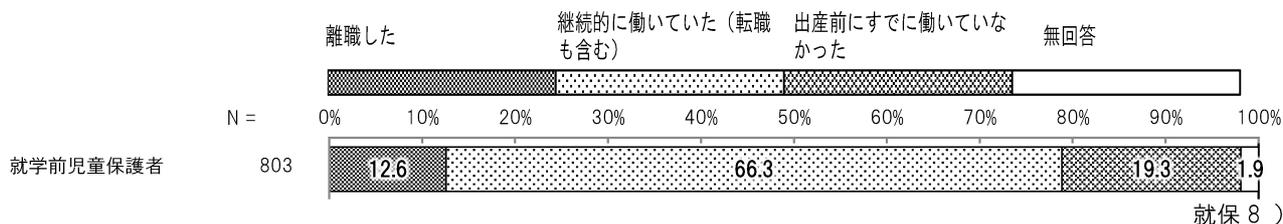


	週あたり就労日数		1日あたり就労時間	
	調査数	平均	調査数	平均
就学前児童保護者（父親）	731	5.10	725	9.40

就保7)

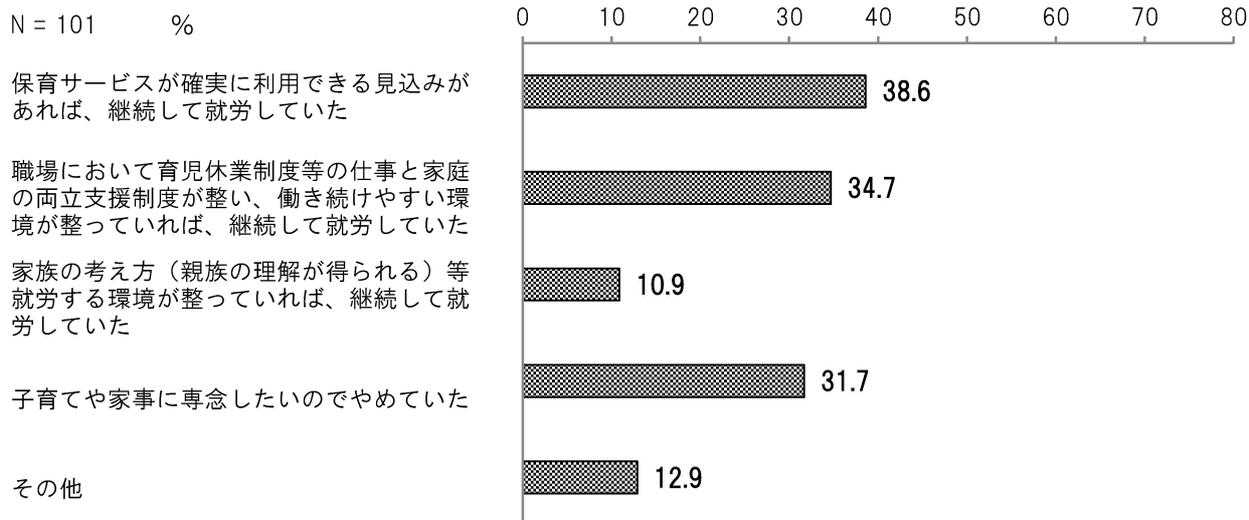
1-1-10) あて名のお子さんの出産以降に離職をしましたか。(母親)

- ・ 就学前児童保護者の母親は「継続的に働いていた(転職も含む)」が最も多く 66.3%、次いで「出産前にすでに働いていなかった」が 19.3%でした。



1-1-11) 仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続しましたか。(複数回答)

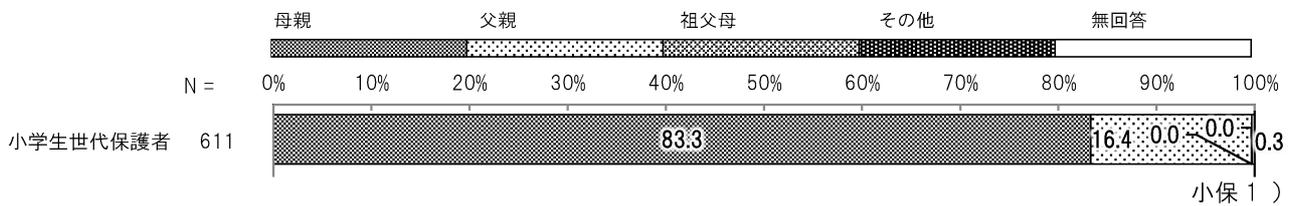
- ・ 就学前児童保護者は「保育サービスが確実に利用できる見込みがあれば、継続して就労していた」が最も多く 38.6%、次いで「職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた」が 34.7%でした。
- ・ その他としては、保育園が決まらなかった、ワンオペの家事育児と仕事を両立が厳しかったなどの記載がありました。



## 1-2 小学生世代保護者

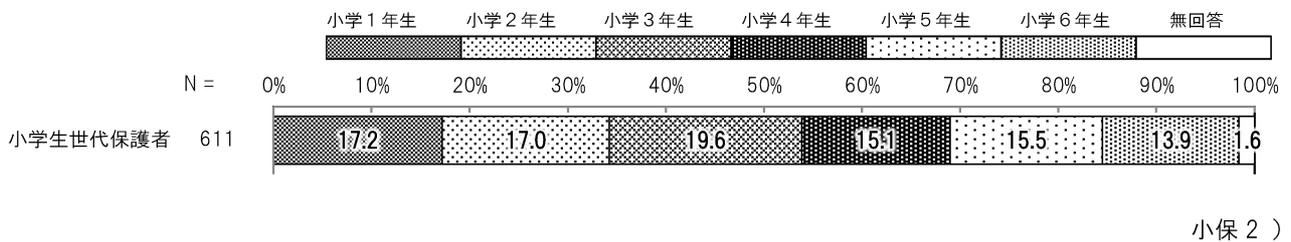
1-2-1) この調査票にご回答いただく方はどなたですか。

- ・ 小学生世代保護者は「母親」が83.3%、「父親」が16.4%でした。
- ・ その他としては、兄などの記載がありました。



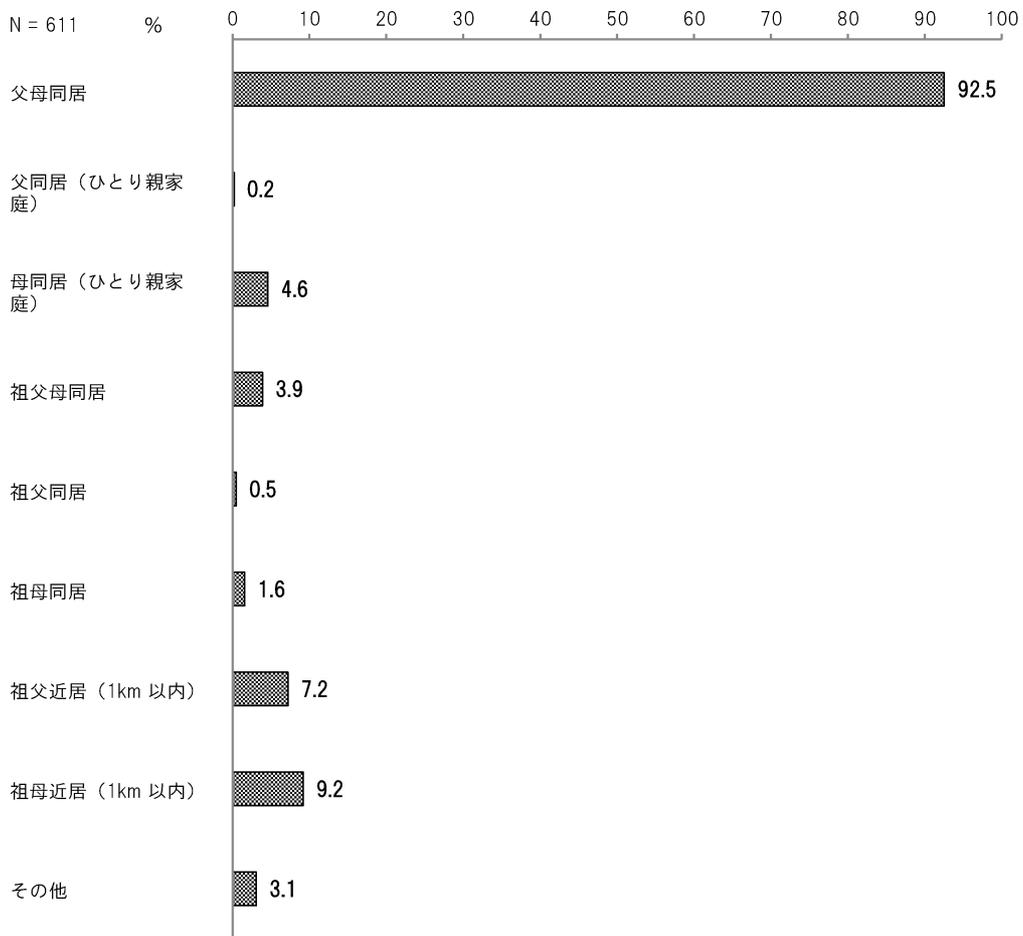
1-2-2) あて名のお子さんの学年

- ・ あて名のお子さんの学年は、小学校3年生が最も多く19.6%、小学校6年生が最も少なく13.9%でした。



1-2-3) お子さんと同居されているご家族について、教えてください。(複数回答)

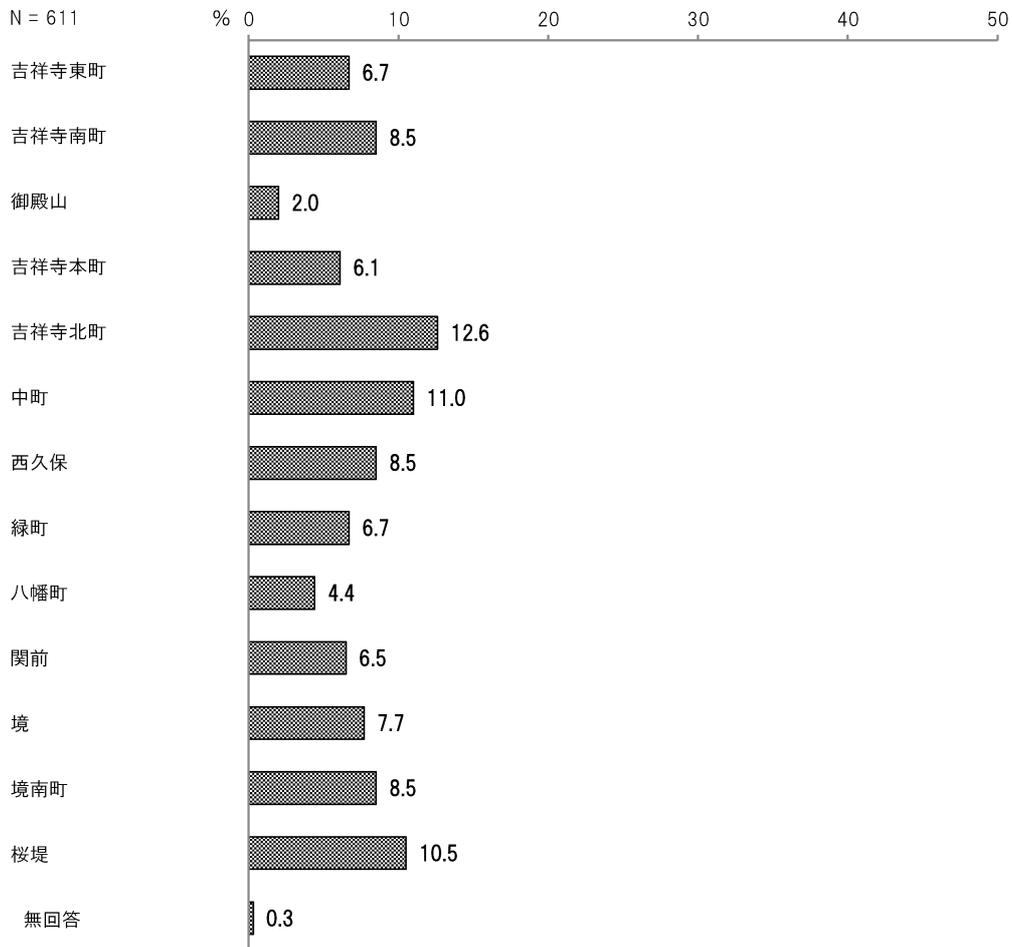
- ・ 「父母同居」の割合が多く、小学生世代保護者では92.5%でした。
- ・ その他としては、母同居(父親単身赴任)、曾祖母同居、妹同居などの記載がありました。



小保 3)

1-2-4) お住まいの地区はどちらですか。

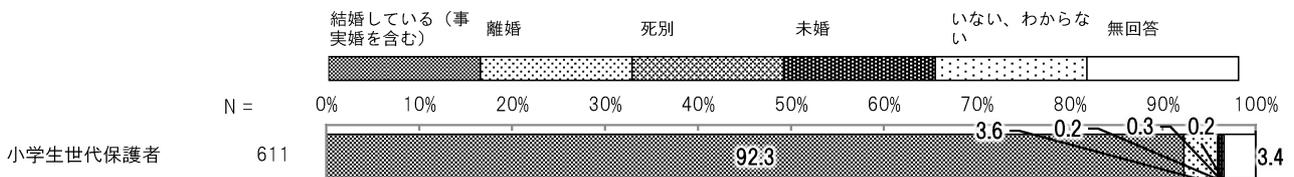
- 小学生世代保護者は「吉祥寺北町」が最も多く 12.6%、次いで「中町」が 11.0%でした。



小保 4)

1-2-5) お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。

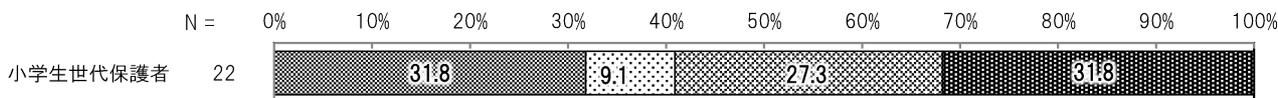
- 小学生世代保護者は「結婚している（事実婚を含む）」割合が最も多く
- 92.3%と最も多く、次いで「離婚」が 3.6%でした。



小保 6)

1-2-6) 離婚相手とお子さんの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。

- ・ 小学生世代保護者では、「取決めをしており、養育費を受け取っている」、「養育費の取り決めをしておらず受け取っていない」がいずれも 31.8%でした。

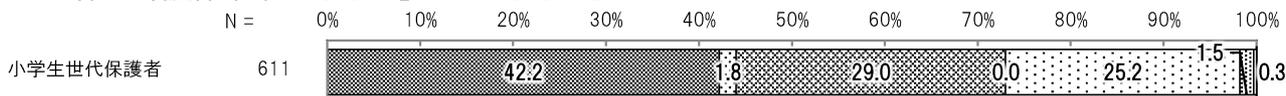


- 取決めをしており、養育費を受け取っている
- 特に取決めはしていないが、養育費を受け取っている
- 養育費の取り決めをしているが、受け取っていない (金額を下げられた、遅れている等を含む)
- 養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない

小保 6)

1-2-7) 母親の就労状況

- ・ 小学生世代保護者の母親の就労状況は「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も多く 42.2%、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 29.0%でした。

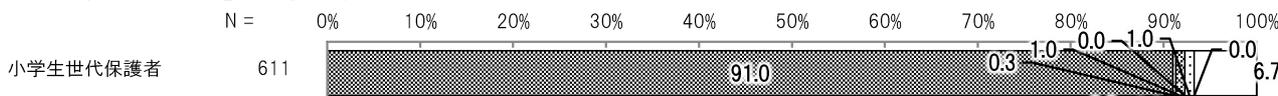


- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

小保 7)

1-2-8) 父親の就労状況

- ・ 小学生世代保護者の父親の就労状況は「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も多く 91.0%でした。

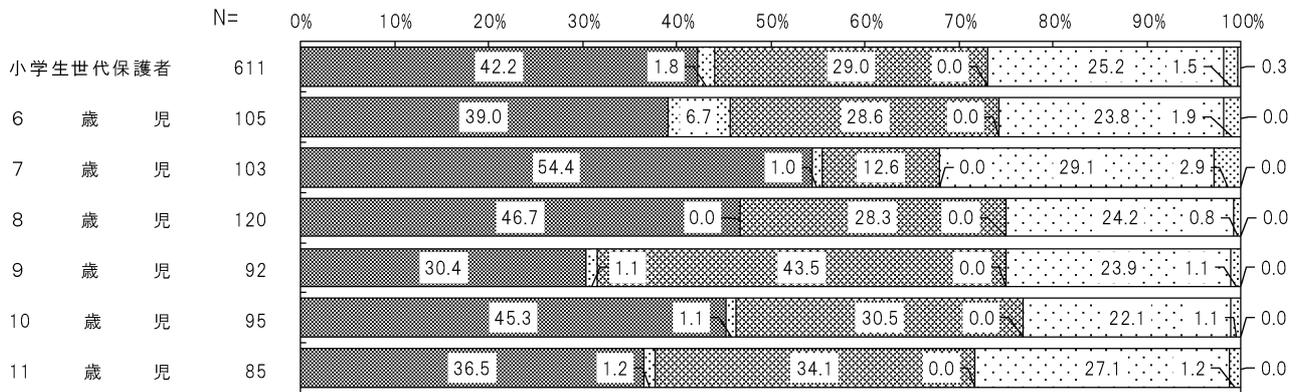


- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

小保 7)

**【学年年齢 × 母親の就労状況(小学生児童)】**

- 小学生世代保護者の就労状況を学年年齢別にみると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合は、7歳児の保護者で54.4%と最も多くなっています。また、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」は9歳児の保護者で43.5%と最も多くなっています。

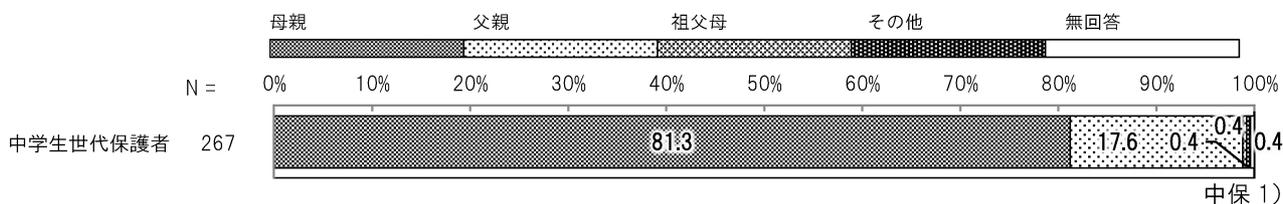


- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ▣ パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▤ パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- ▥ これまで就労したことがない
- 無回答

### 1-3 中学生世代保護者

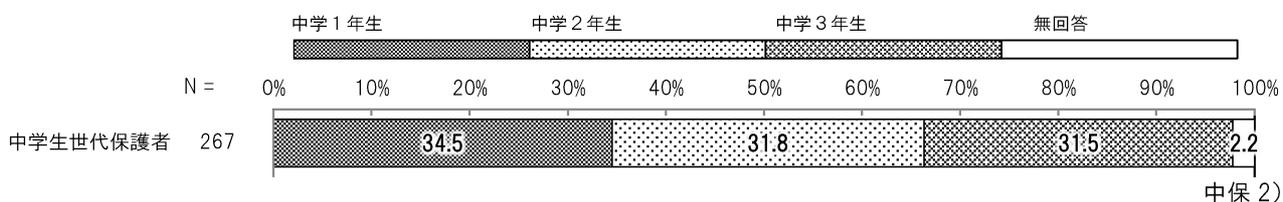
1-3-1) この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。

- ・ 中学生世代保護者は、「母親」が81.3%、「父親」が17.6%でした。
- ・ その他としては、本人と母などの記載がありました。



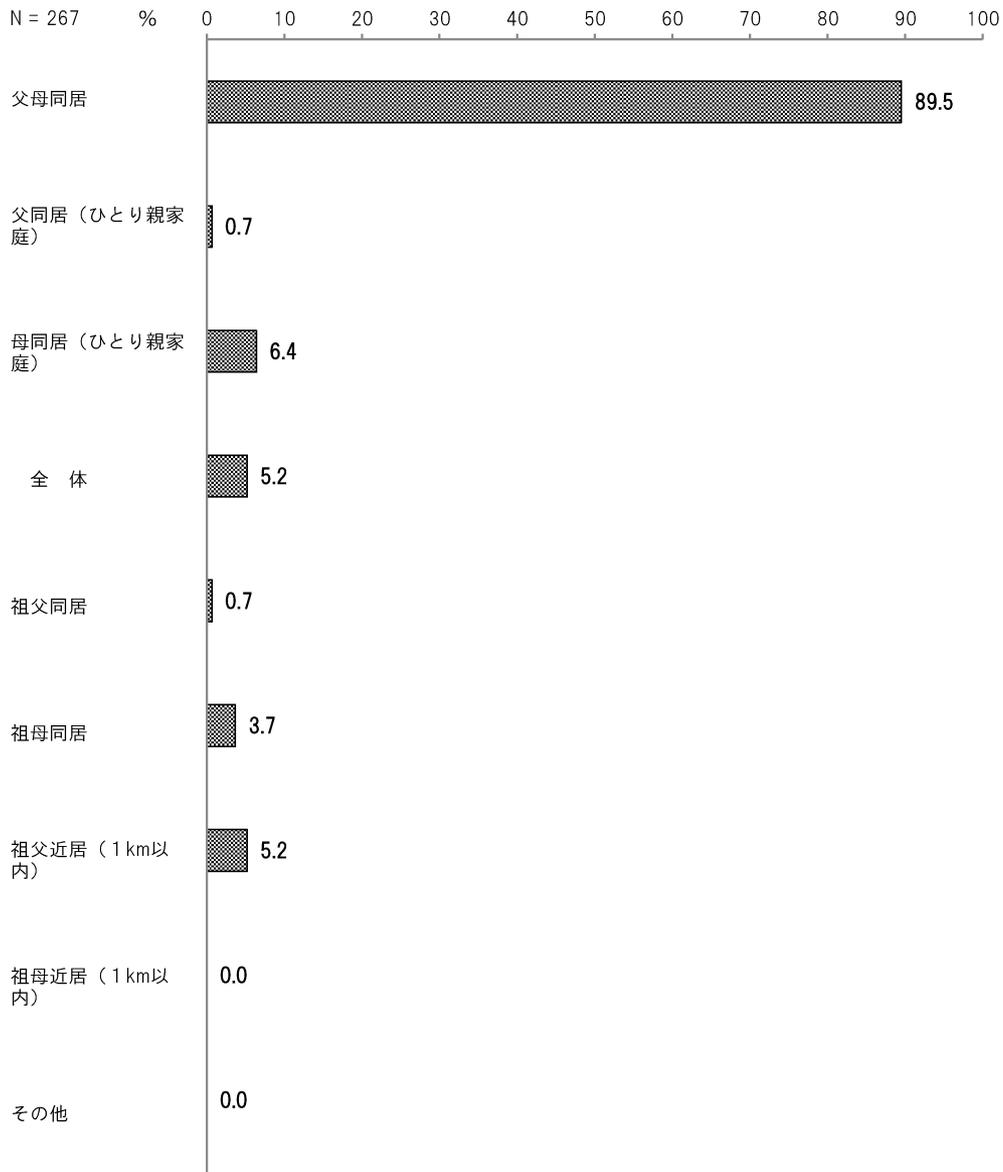
1-3-2) あて名のお子さんの生年月をご記入ください。：生まれ年

- ・ あて名のお子さんの学年は中学1年生世代が34.5%、2年生世代が31.8%、3年生世代が31.5%でした。



1-3-3) お子さんと同居されているご家族について、教えてください。(複数回答)

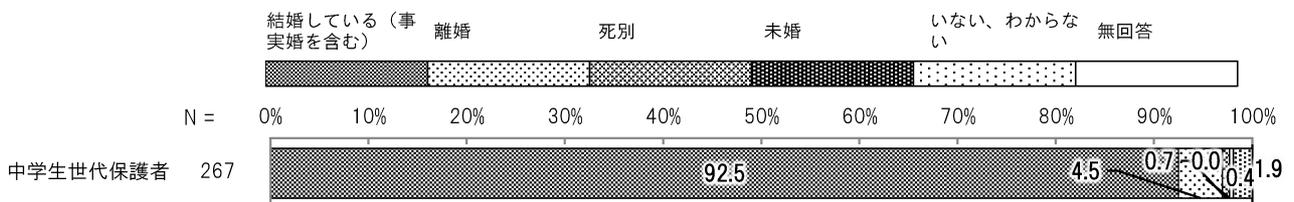
・「父母同居」の割合が多く、中学生世代保護者では 89.5% でした。



中保 4)

1-3-4) お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。

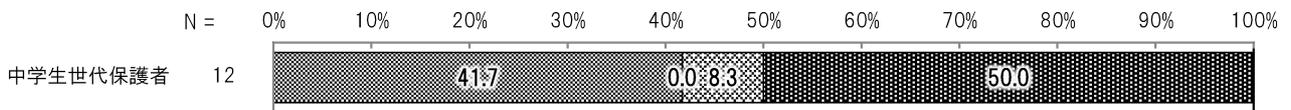
・「結婚している」割合が多く、中学生世代保護者では 92.5% でした。



中保 5)

1-3-5) 離婚相手とお子さんの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。

・中学生世代保護者では、「養育費の取り決めをしておらず受け取っていない」が50.0%でした。

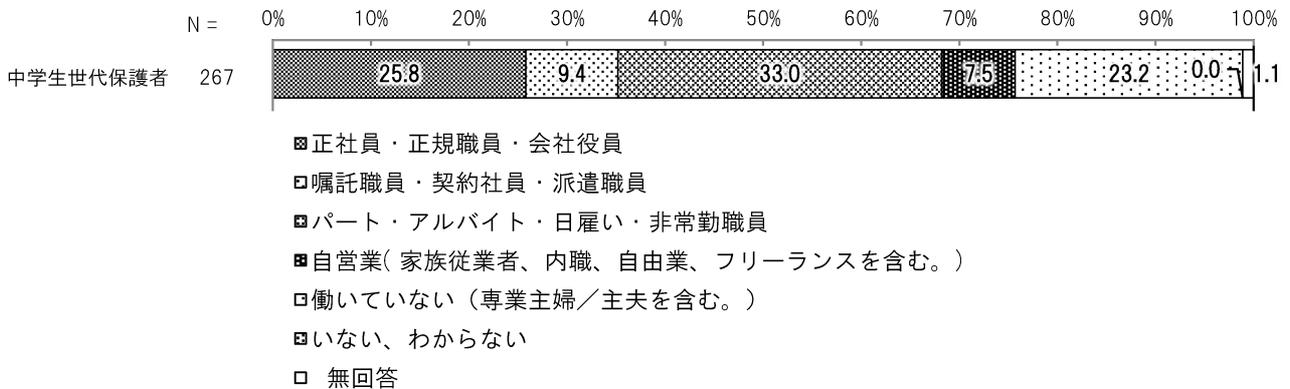


- ☑ 取り決めをしており、養育費を受け取っている
- ☐ 特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている
- ☑ 養育費の取り決めをしているが、受け取っていない (金額を下げられた、遅れている等を含む)
- ☑ 養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない

中保5)

1-3-6) お子さんと同居する世帯の保護者の就労状況について、あてはまるものを回答してください。：ア 母親

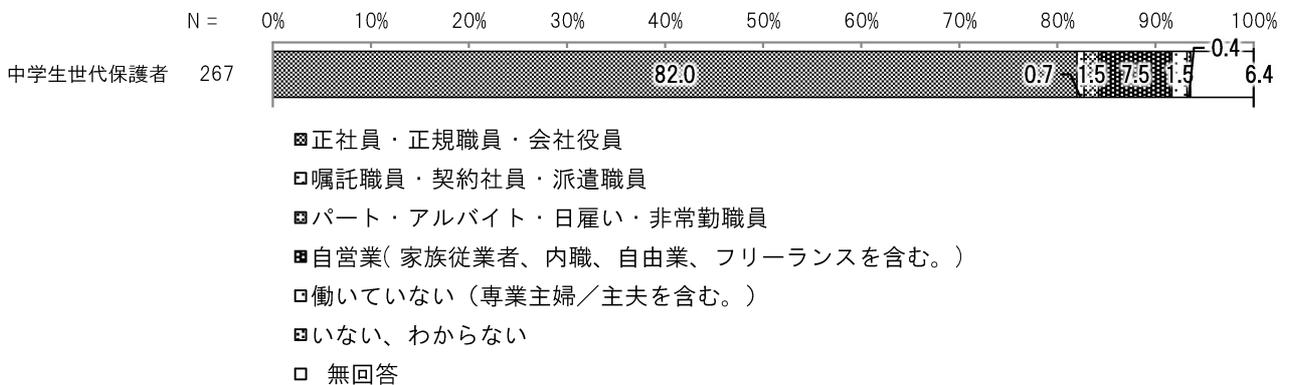
・ 中学生世代保護者の母親の就労状況は「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が最も多く 33.0%、次いで「正社員・正規職員・会社役員」が 25.8%でした。



中保 6)

1-3-7) お子さんと同居する世帯の保護者の就労状況について、あてはまるものを回答してください。：イ 父親

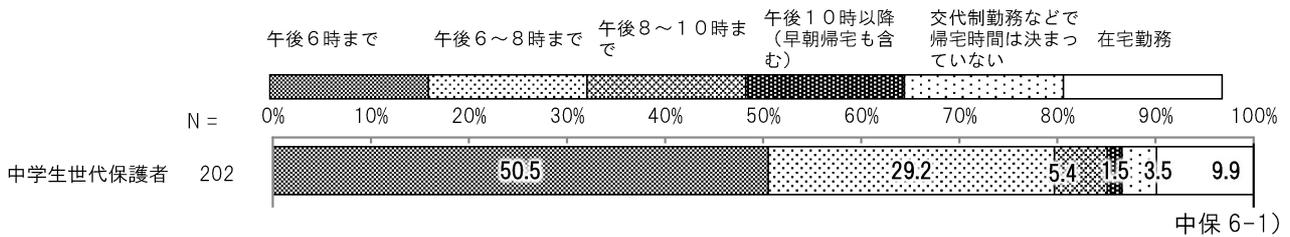
・ 中学生世代保護者の父親の就労状況は「正社員・正規職員・会社役員」が最も多く 82.0%でした。



中保 6)

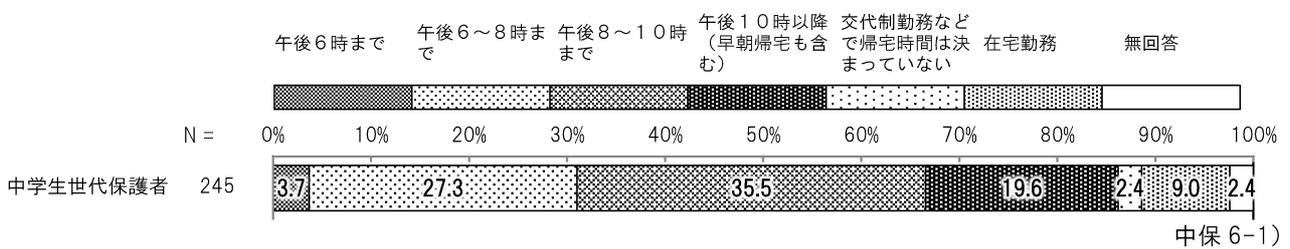
1-3-8) 普段の帰宅時間で、最も多い時間帯を選んでください。：ア 母親

- ・ 母親の普段の帰宅時間は、中学生世代保護者全体で「午後6時まで」が50.5%でした。



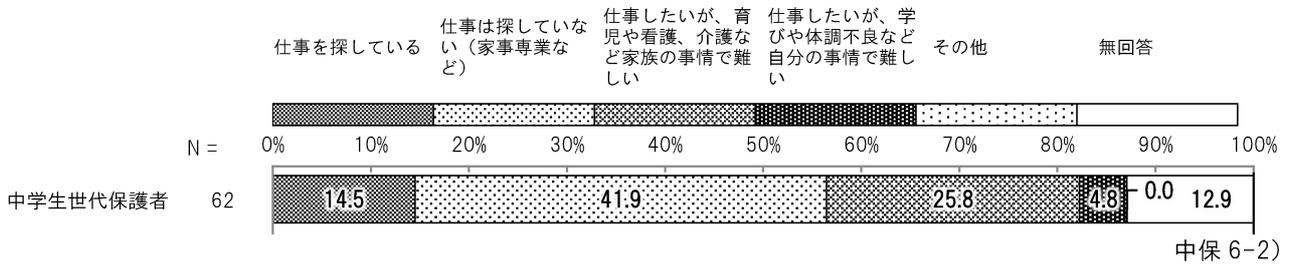
1-3-9) 普段の帰宅時間で、最も多い時間帯を選んでください。：イ 父親

- ・ 父親の普段の帰宅時間は、中学生世代保護者全体で「午後8~10時まで」が最も多く35.5%、次いで「午後6~8時まで」が27.3%でした。



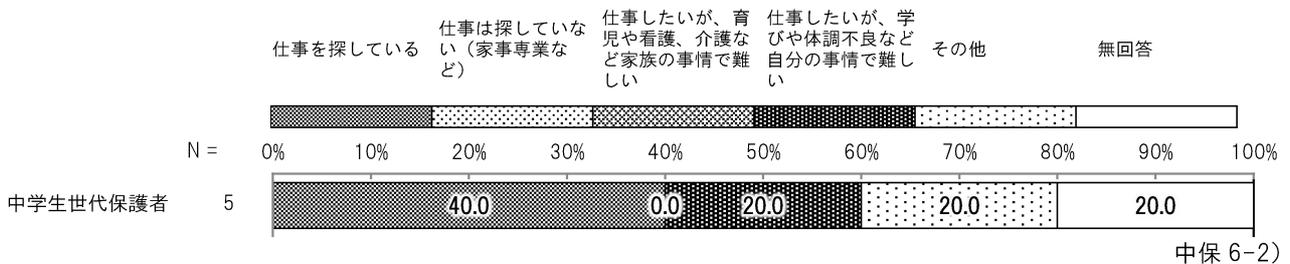
1-3-10) 仕事をしていない理由を教えてください。：ア 母親

- ・ 母親が仕事をしていない理由は、中学生世代保護者全体で「仕事は探していない」が最も多く41.9%、次いで、「仕事したいが、育児や看護、介護など家族の事情で難しい」が25.8%でした。



1-3-11) 仕事をしていない理由を教えてください。：イ 父親

- ・ 父親が仕事をしていない理由は、中学生世代保護者全体で、「仕事を探している」が最も多く40.0%でした。

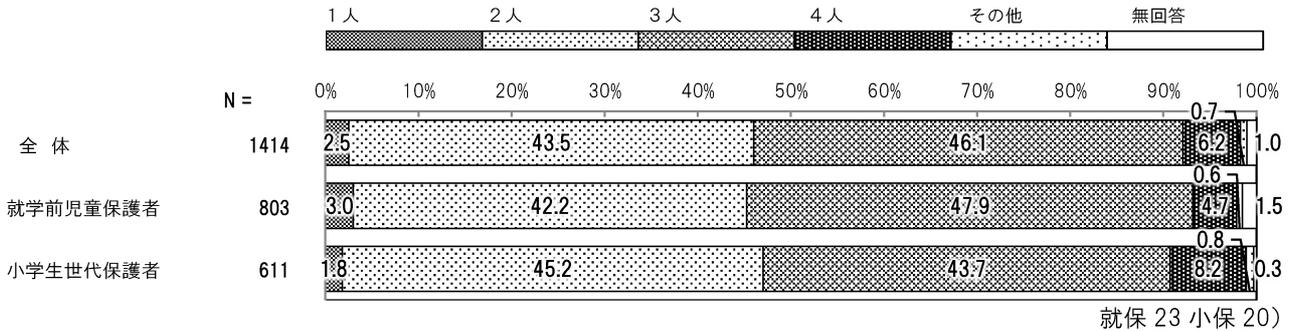


## 2 子育ての状況

### 2-1 理想的な子どもの人数と実際に育てられると思う子どもの人数

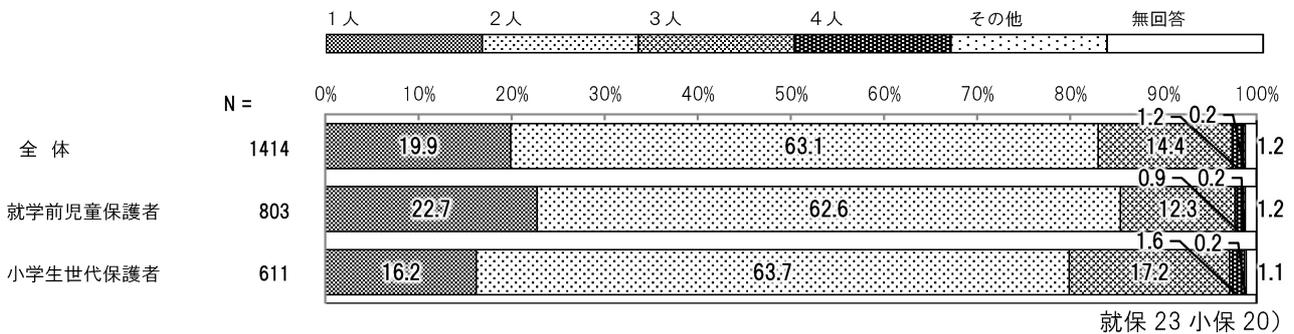
2-1-1) あなたにとって理想的な子どもの人数とは何人ですか。

- ・理想的な子どもの人数は、就学前児童保護者で3人が最も多く47.9%、次いで2人が42.2%でした。小学生世代保護者では2人が最も多く45.2%、次いで3人が43.7%でした。



2-1-2) あなたにとって実際には何人育てられると思いますか。

- ・実際に育てられると思う子どもの人数は、就学前児童保護者で2人が最も多く62.6%、次いで1人が22.7%でした。小学生世代保護者では2人が最も多く63.7%、次いで3人が17.2%でした。



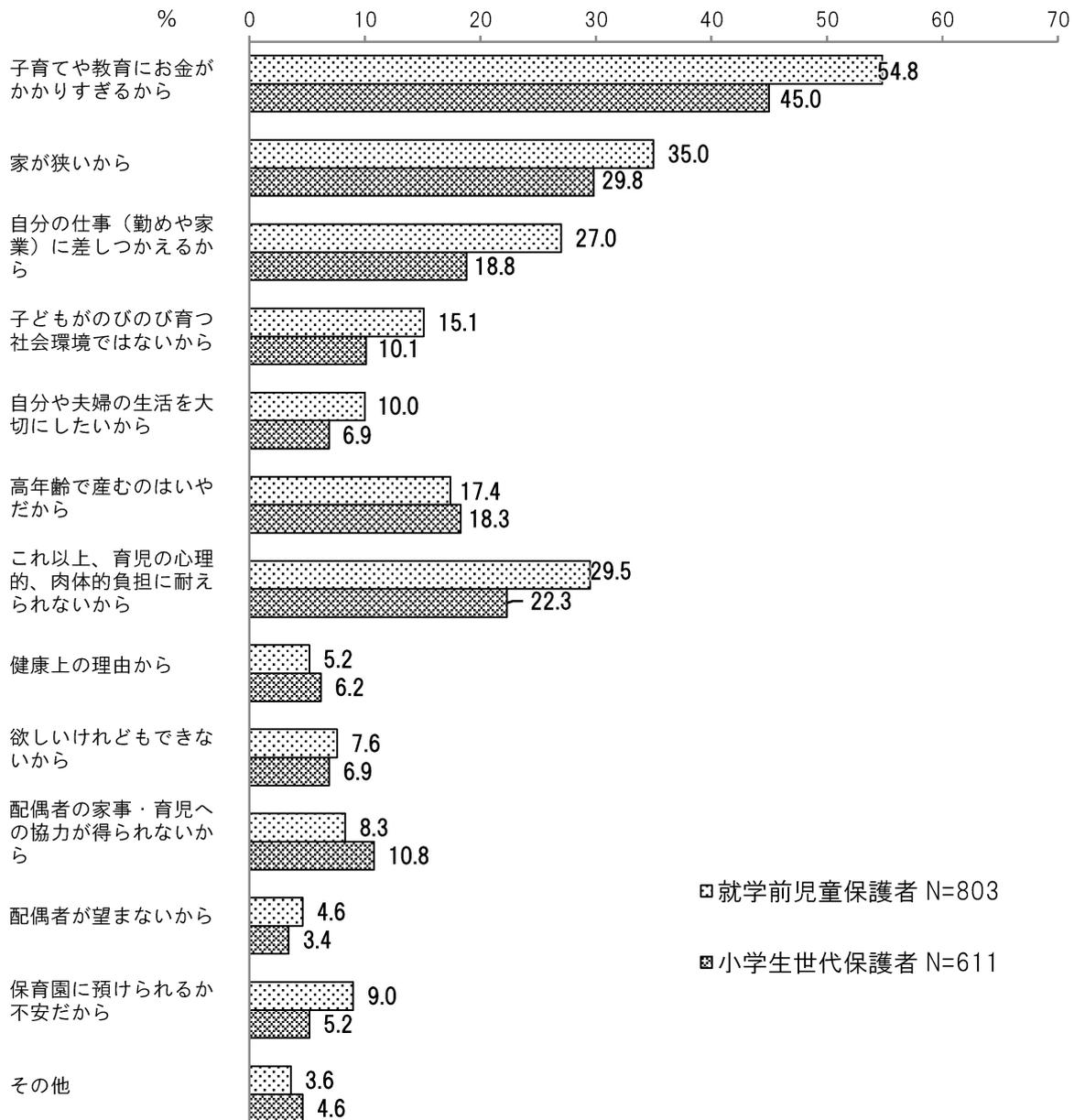
	調査数	理想の子どもの数と育てられると思う子どもの数 (上段：実数、下段：%)											
		1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人	無回答	
理想の子どもの数	就学前児童保護者	803	24	339	385	38	4	0	0	0	0	1	12
	小学生世代保護者	611	11	276	267	50	4	0	0	1	0	0	2
育てられると思う子どもの数	就学前児童保護者	803	182	503	99	7	1	1	0	0	0	0	10
	小学生世代保護者	611	99	389	105	10	1	0	0	0	0	0	7

就保 23 小保 20)

## 2-2 実際に育てられると思う子どもの数が、理想とする子どもの数より少ない理由

2-2-1) 実際に育てられると思う子どもの数が、理想とする子どもの数より少ないのはどうしてですか。(複数回答)

- ・ 就学前児童保護者は「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が最も多く 54.8%、次いで「家が狭いから」が 35.0%でした。
- ・ 就学前保護者のその他としては、夫婦共に高年齢だったため、自分が無理をすれば二人育てることも不可能ではないと思いますが、更へのしかかる負荷を考えると躊躇してしまうなどの記載がありました。
- ・ 小学生世代保護者は「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が最も多く 45.0%、次いで「家が狭いから」が 29.8%でした。
- ・ 小学生世代保護者のその他としては、1人1人につき合う、向き合う時間が足りなくなるから、PTA、保育園や学童の保護者会担当活動や集まりなど本当に大変、ワンオペ育児のためなどの記載がありました。

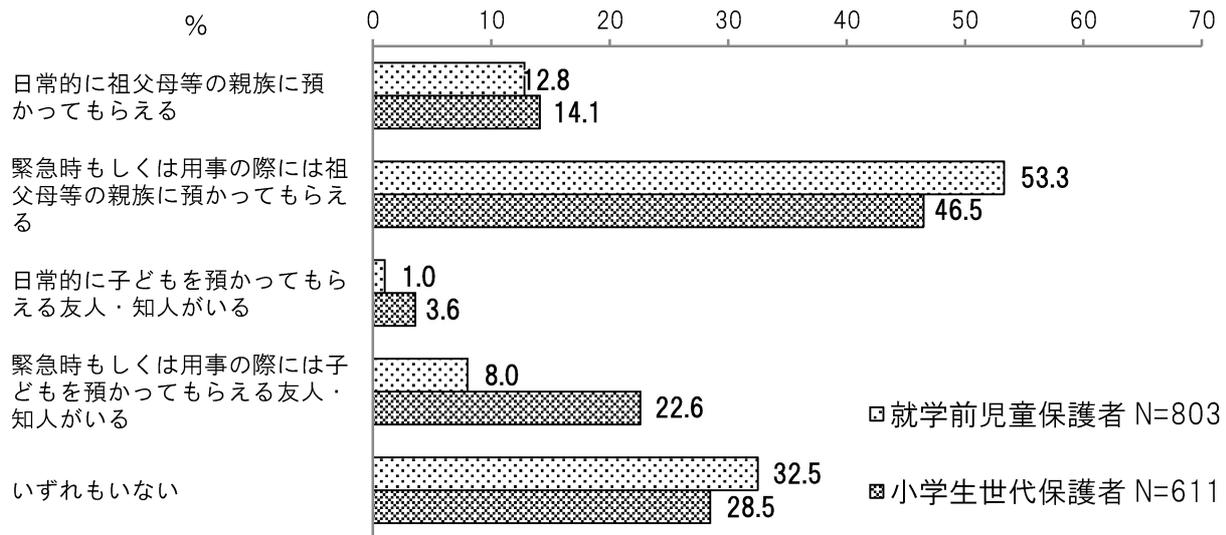


就保 23 小保 20)

## 2-3 子どもを預かってもらえる親族・知人の有無

2-3-1) 日頃、あて名のお子さんを預かってもらえる親族・知人はいらっしゃいますか。(複数回答)

- ・ 就学前児童保護者は「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」が最も多く 53.3%、次いで「いずれもない」が 32.5%でした。
- ・ 小学生世代保護者は「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」が最も多く 46.5%、次いで「いずれもない」が 28.5%でした。

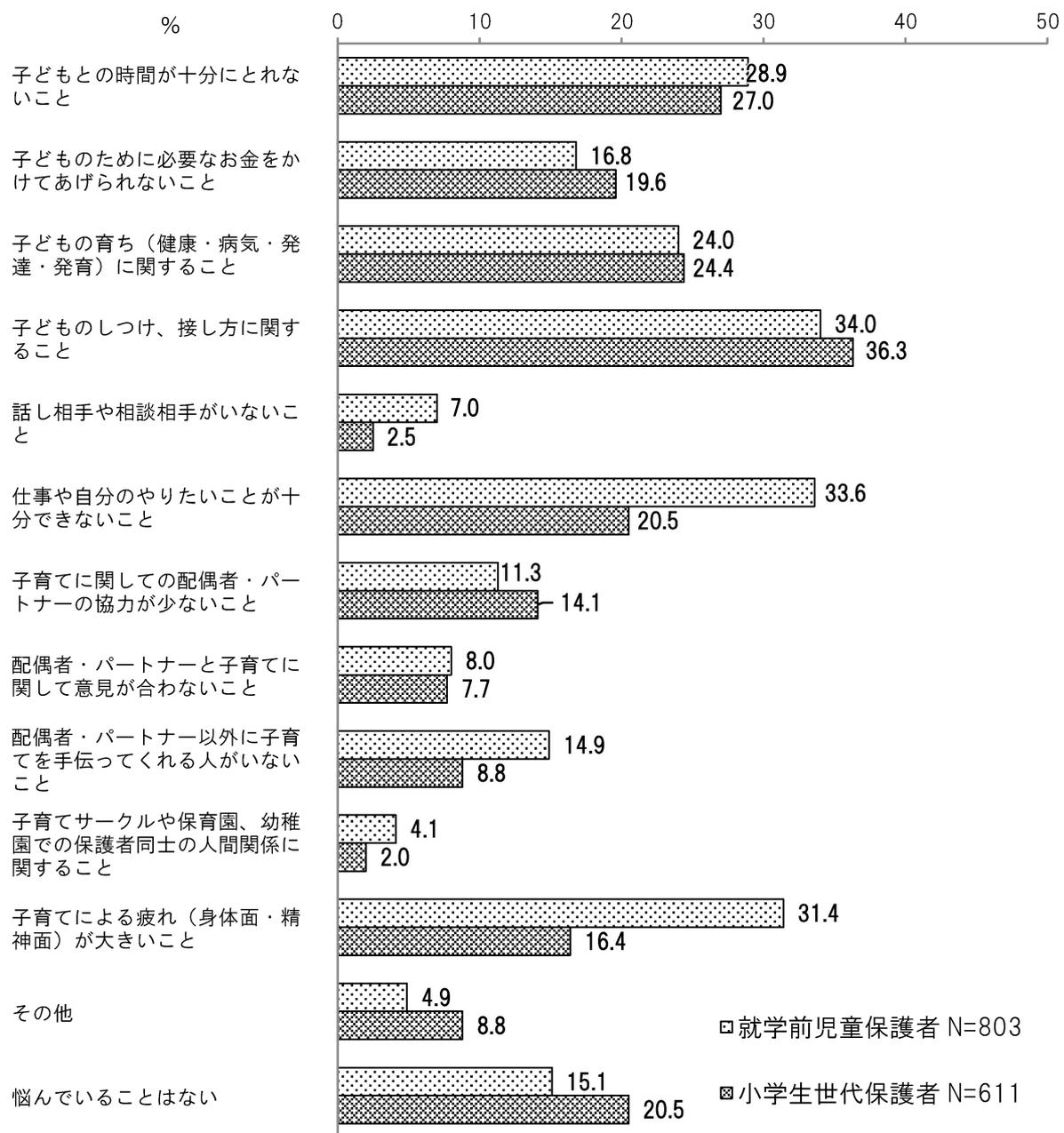


就保 24 小保 21)

## 2-4 子育てに関して悩んでいることや気になること

2-4-1) 今現在、あて名のお子さんについて、子育てに関して悩んでいることや気になることはありますか。(複数回答)

- ・ 就学前児童保護者は「子どものしつけ、接し方に関すること」が最も多く 34.0%、次いで「仕事や自分のやりたいことが十分できないこと」が 33.6%でした。
- ・ 就学前児童保護者のその他としては、自分の健康状態の不安、下の子のお世話で勉強を見てあげたり細やかなケアができないことなどの記載がありました。
- ・ 小学生世代保護者は「子どものしつけ、接し方に関すること」が最も多く 36.3%、次いで「子どもとの時間が十分にとれないこと」が 27.0%でした。
- ・ 小学生世代保護者のその他としては、仕事とのバランス、進学について、教育、勉強についてなどの記載がありました。



就保 25 小保 22)

【母親の就労状況 × 子育てに関して悩んでいることや気になること(未就学児童)】

- ・ 就学前児童保護者における子育てに関して悩んでいることや気になることを母親の就労状況別にみると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」では「子どもとの時間が十分にとれないこと」が最も多く、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」と「以前は就労していたが、現在は就労していない」では「子育てによる疲れ（身体面・精神面）が大きいこと」が最も多く、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」では「子どものしつけ、接し方に関すること」が最も多くなっています。

(上段：実数、下段：%)

	調査数	子どもとの時間が十分にとれないこと	子どものためにお金をかけてあげられないこと	子どもの育ち(健康・病気・発達・発育)に関すること	子どものしつけ、接し方に関すること	話し相手や相談相手がないこと	仕事や自分のやりたいことができないこと	子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと	配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと	配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	子育てサークルや保育園、幼稚園での保護者同士の人間関係に関すること	子育てによる疲れ(身体面・精神面)が大きいこと	その他	悩んでいることはない	無回答
就学前児童保護者	803	232	135	193	273	56	270	91	64	120	33	252	39	121	14
	100.0	28.9	16.8	24.0	34.0	7.0	33.6	11.3	8.0	14.9	4.1	31.4	4.9	15.1	1.7
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	328	169	46	73	120	19	118	40	30	52	13	97	17	40	6
	100.0	51.5	14.0	22.3	36.6	5.8	36.0	12.2	9.1	15.9	4.0	29.6	5.2	12.2	1.8
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	192	19	29	52	65	17	65	19	8	26	9	66	6	33	2
	100.0	9.9	15.1	27.1	33.9	8.9	33.9	9.9	4.2	13.5	4.7	34.4	3.1	17.2	1.0
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	94	21	23	23	35	7	29	12	9	17	4	27	6	16	3
	100.0	22.3	24.5	24.5	37.2	7.4	30.9	12.8	9.6	18.1	4.3	28.7	6.4	17.0	3.2
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	16	2	4	3	3	1	3	2	1	-	-	-	-	4	-
	100.0	12.5	25.0	18.8	18.8	6.3	18.8	12.5	6.3	-	-	-	-	25.0	-
以前は就労していたが、現在は就労していない	163	18	32	40	48	11	54	17	15	25	7	60	10	27	1
	100.0	11.0	19.6	24.5	29.4	6.7	33.1	10.4	9.2	15.3	4.3	36.8	6.1	16.6	0.6
これまで就労したことがない	5	2	1	2	2	-	1	-	-	-	-	2	-	1	-
	100.0	40.0	20.0	40.0	40.0	-	20.0	-	-	-	-	40.0	-	20.0	-

【母親の就労状況 × 子育てに関して悩んでいることや気になること(小学生児童)】

- 小学生世代保護者における子育てに関して悩んでいることや気になることを母親の就労状況別にみると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」では「子どもとの時間が十分にとれないこと」が最も多く、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」と「以前は就労していたが、現在は就労していない」では「子どものしつけ、接し方に関すること」が最も多くなっています。

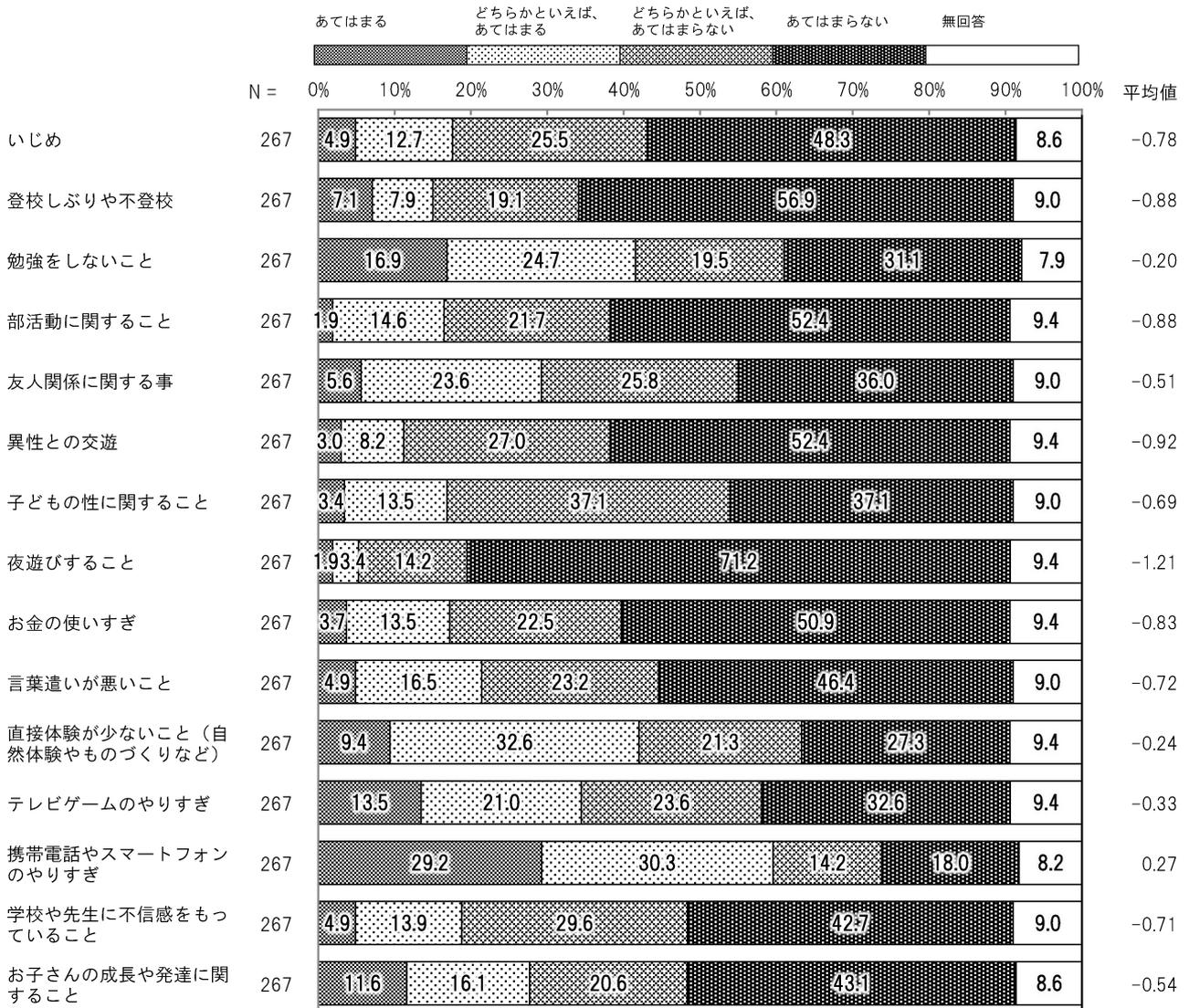
(上段：実数、下段：%)

	調査数	子どもとの時間が十分にとれないこと	子どものためにお金をあげられないこと	子どもの育ち(健康・病気・発達・発育)に関すること	子どものしつけ、接し方に関すること	話し相手や相談相手がいないこと	仕事や自分のやりたいことができないこと	子育てにの配偶者・パート・パートナりの協力が少ないこと	配偶者・パート・パートナと子育てに関して意見が合わないこと	配偶者・パート・パートナ以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	子育てサークルや保育園、幼稚園での保護者同士の人間関係に関すること	子育てによる疲れ(身体・精神)が大きいこと	その他	悩んでいることはない	無回答
小学生世代保護者	611	165	120	149	222	15	125	86	47	54	12	100	54	125	10
	100.0	27.0	19.6	24.4	36.3	2.5	20.5	14.1	7.7	8.8	2.0	16.4	8.8	20.5	1.6
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	258	114	41	51	101	5	55	35	23	15	4	38	28	45	5
	100.0	44.2	15.9	19.8	39.1	1.9	21.3	13.6	8.9	5.8	1.6	14.7	10.9	17.4	1.9
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	11	4	7	2	3	-	1	2	-	-	-	1	1	2	-
	100.0	36.4	63.6	18.2	27.3	-	9.1	18.2	-	-	-	9.1	9.1	18.2	-
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	177	35	42	45	56	4	28	25	15	15	4	28	15	40	2
	100.0	19.8	23.7	25.4	31.6	2.3	15.8	14.1	8.5	8.5	2.3	15.8	8.5	22.6	1.1
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
以前は就労していたが、現在は就労していない	154	10	27	48	59	6	39	23	8	23	4	32	10	35	3
	100.0	6.5	17.5	31.2	38.3	3.9	25.3	14.9	5.2	14.9	2.6	20.8	6.5	22.7	1.9
これまで就労したことがない	9	1	3	3	3	-	2	1	1	1	-	1	-	2	-
	100.0	11.1	33.3	33.3	33.3	-	22.2	11.1	11.1	11.1	-	11.1	-	22.2	-

## 2-5 相談できる人や場所の有無

2-5-1) あなたのお子さんの日常生活において、以下について心配していますか。

- ・ 中学生世代保護者が「あてはまる」、「どちらかといえば、あてはまる」としている割合が最も高いのは、「携帯電話やスマートフォンのやりすぎ」で合計 59.5%、次いで「直接体験が少ないこと」が 42.0%でした。



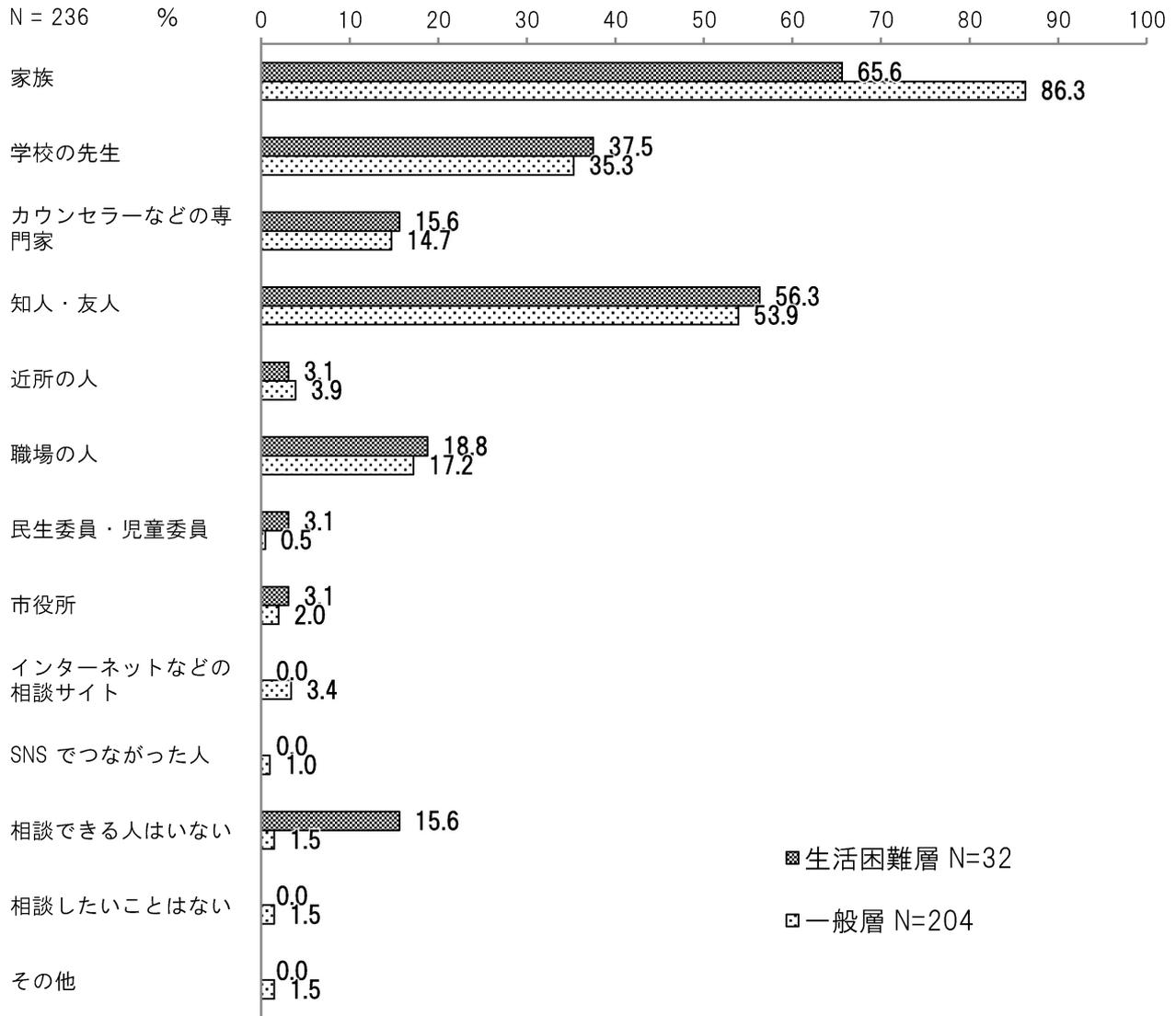
中保 18)

- 生活困難層と一般層の平均値の差が最も大きい（値が大きいことは心配があることを示す）のは、「いじめ」で、次いで「勉強をしないこと」、「子どもの性に関すること」でした。



2-5-2) あなたがお子さんのことについて、悩んでいたりする時、誰に相談できますか。(複数回答)

- ・ 「家族」は、生活困難層で 65.6%、一般層で 86.3%でした。
- ・ その他としては、発達障害の病院の先生、自分の親、親戚などの記載がありました。

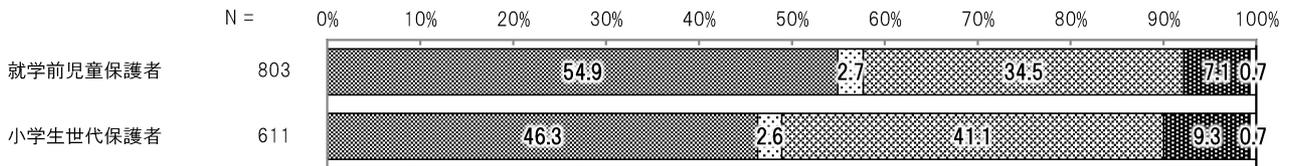


中保 18-1)

## 2-6 子育て・家庭教育に関する相談先

2-6-1) あて名のお子さんの子育て・家庭教育をする上で、気軽に相談できる人はいますか。  
また、相談できる場所がありますか。

- ・ 就学前児童保護者は「相談できる人も、相談できる場所もある」が最も多く 54.9%、次いで「相談できる場所はないが、相談できる人はいる」が 34.5%でした。
- ・ 小学生世代保護者は「相談できる人も、相談できる場所もある」が最も多く 46.3%、次いで「相談できる場所はないが、相談できる人はいる」が 41.1%でした。

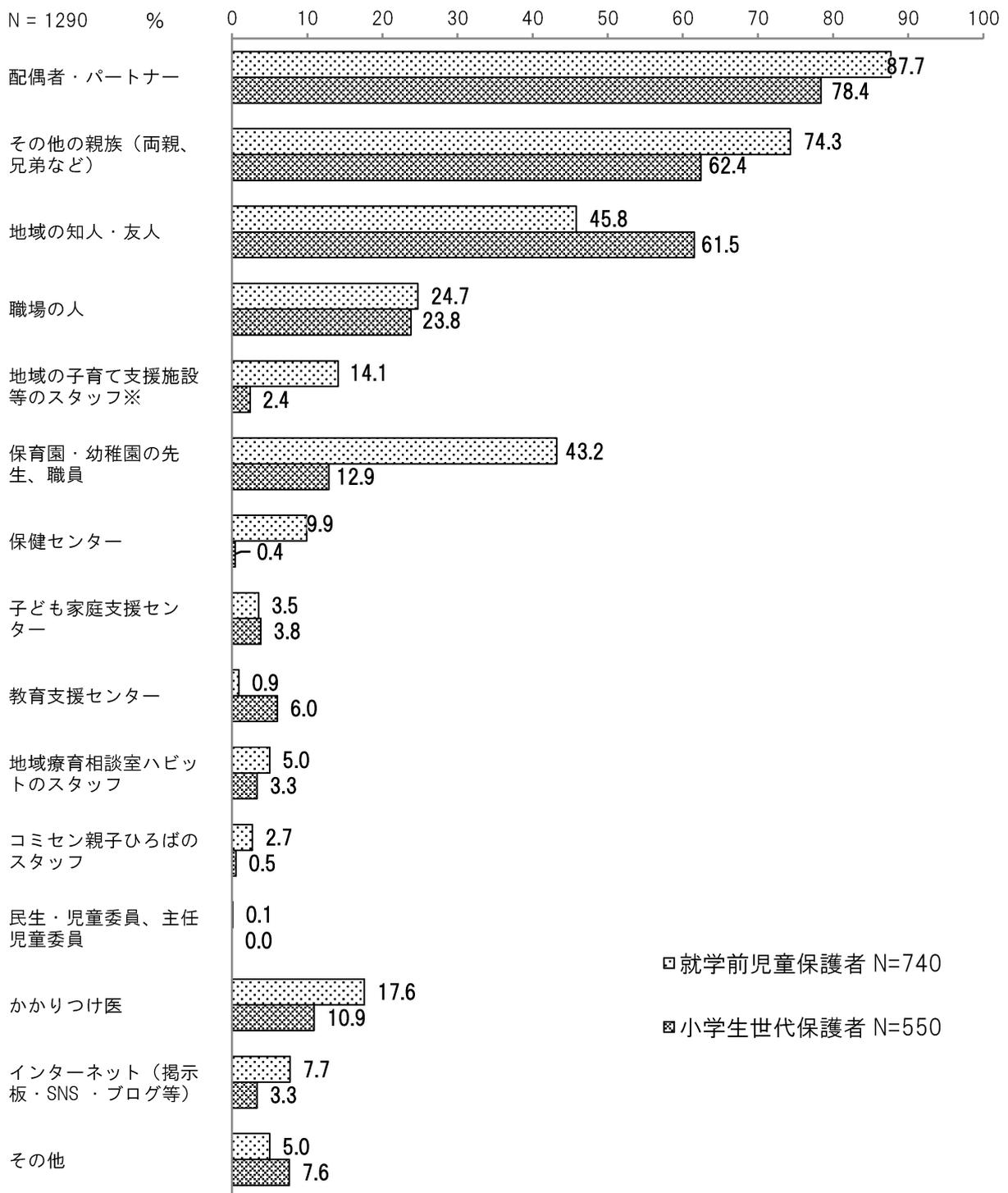


- 相談できる人も、相談できる場所もある
- 相談できる人はいないが、相談できる場所はある
- 相談できる場所はないが、相談できる人はいる
- 相談できる人も、相談できる場所もない
- 無回答

就保 26 小保 23)

2-6-2) お子さんの子育て・家庭教育に関する相談先は誰（どこ）ですか。（複数回答）

- ・ 就学前児童保護者は「配偶者・パートナー」が最も多く 87.7%、次いで「その他の親族（両親、兄弟など）」が 74.3%でした。
- ・ その他としては、友人、保育園のパパ友ママ友などの記載がありました。
- ・ 小学生世代保護者は「配偶者・パートナー」が最も多く 78.4%、次いで「その他の親族（両親、兄弟など）」が 62.4%でした。
- ・ その他としては、スクールカウンセラー、学校の先生、療育の先生などの記載がありました。



就保 26 小保 23)

【母親の就労状況 × 子育て・家庭教育に関する相談先(未就学児童)】

- ・ 就学児童保護者における子育て・家庭教育に関する相談先を母親の就労状況別にみると、「配偶者・パートナー」が多い傾向にあります。

(上段：実数、下段：%)

	調査数	配偶者・パートナー	その他の親族(両親、兄弟など)	地域の知人・友人	職場の人	地域の子育て支援施設等のスタッフ※	保育園・幼稚園の先生、職員	保健センター	子ども家庭支援センター	教育支援センター	地域療育相談室ハビットのスタッフ	コミセン親子ひろばのスタッフ	民生・児童委員、主任児童委員	かかりつけ医	インターネット(掲示板・SNS・ブログ等)	その他
就学前児童保護者	740	649	550	339	183	104	320	73	26	7	37	20	1	130	57	37
	100.0	87.7	74.3	45.8	24.7	14.1	43.2	9.9	3.5	0.9	5.0	2.7	0.1	17.6	7.7	5.0
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	297	252	215	137	117	18	185	21	5	2	12	1	-	47	22	12
	100.0	84.8	72.4	46.1	39.4	6.1	62.3	7.1	1.7	0.7	4.0	0.3	-	15.8	7.4	4.0
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	180	168	140	78	40	50	47	32	9	1	9	14	1	47	17	7
	100.0	93.3	77.8	43.3	22.2	27.8	26.1	17.8	5.0	0.6	5.0	7.8	0.6	26.1	9.4	3.9
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	87	75	62	36	16	3	40	3	3	-	4	-	-	7	8	10
	100.0	86.2	71.3	41.4	18.4	3.4	46.0	3.4	3.4	-	4.6	-	-	8.0	9.2	11.5
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	15	12	13	7	3	2	2	1	-	-	-	-	-	2	-	1
	100.0	80.0	86.7	46.7	20.0	13.3	13.3	6.7	-	-	-	-	-	13.3	-	6.7
以前は就労していたが、現在は就労していない	152	136	111	77	7	30	43	16	8	4	11	5	-	26	10	7
	100.0	89.5	73.0	50.7	4.6	19.7	28.3	10.5	5.3	2.6	7.2	3.3	-	17.1	6.6	4.6
これまで就労したことがない	5	5	5	3	-	1	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-
	100.0	100.0	100.0	60.0	-	20.0	40.0	-	20.0	-	20.0	-	-	-	-	-

【母親の就労状況 × 子育て・家庭教育に関する相談先(小学生児童)】

- ・ 小学生世代保護者における子育て・家庭教育に関する相談先を母親の就労状況別にみると、「配偶者・パートナー」が最も多くなっています。

(上段：実数、下段：%)

	調査数	配偶者・パートナー	その他の親族(両親、兄弟など)	地域の知人・友人	職場の人	地域の子育て支援施設等のスタッフ※	保育園・幼稚園の先生、職員	保健センター	子ども家庭支援センター	教育支援センター	地域療育相談室ハビットのスタッフ	コミセン親子ひろばのスタッフ	民生・児童委員、主任児童委員	かかりつけ医	インターネット(掲示板・SNS・ブログ等)	その他	無回答
小学生世代保護者	550	431	343	338	131	13	71	2	21	33	18	3	-	60	18	42	3
	100.0	78.4	62.4	61.5	23.8	2.4	12.9	0.4	3.8	6.0	3.3	0.5	-	10.9	3.3	7.6	0.5
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	229	173	151	131	80	3	33	1	9	10	2	2	-	23	4	23	1
	100.0	75.5	65.9	57.2	34.9	1.3	14.4	0.4	3.9	4.4	0.9	0.9	-	10.0	1.7	10.0	0.4
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	10	8	6	7	3	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	80.0	60.0	70.0	30.0	10.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	162	130	103	104	40	7	23	1	6	8	5	1	-	16	7	7	-
	100.0	80.2	63.6	64.2	24.7	4.3	14.2	0.6	3.7	4.9	3.1	0.6	-	9.9	4.3	4.3	-
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
以前は就労していたが、現在は就労していない	140	114	79	90	8	2	13	-	6	15	11	-	-	20	6	12	2
	100.0	81.4	56.4	64.3	5.7	1.4	9.3	-	4.3	10.7	7.9	-	-	14.3	4.3	8.6	1.4
これまで就労したことがない	7	5	3	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
	100.0	71.4	42.9	85.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14.3	14.3	-	-

2-6-3) 子育て・家庭教育をする上で、周囲（身近な人や市・施設の担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。

---

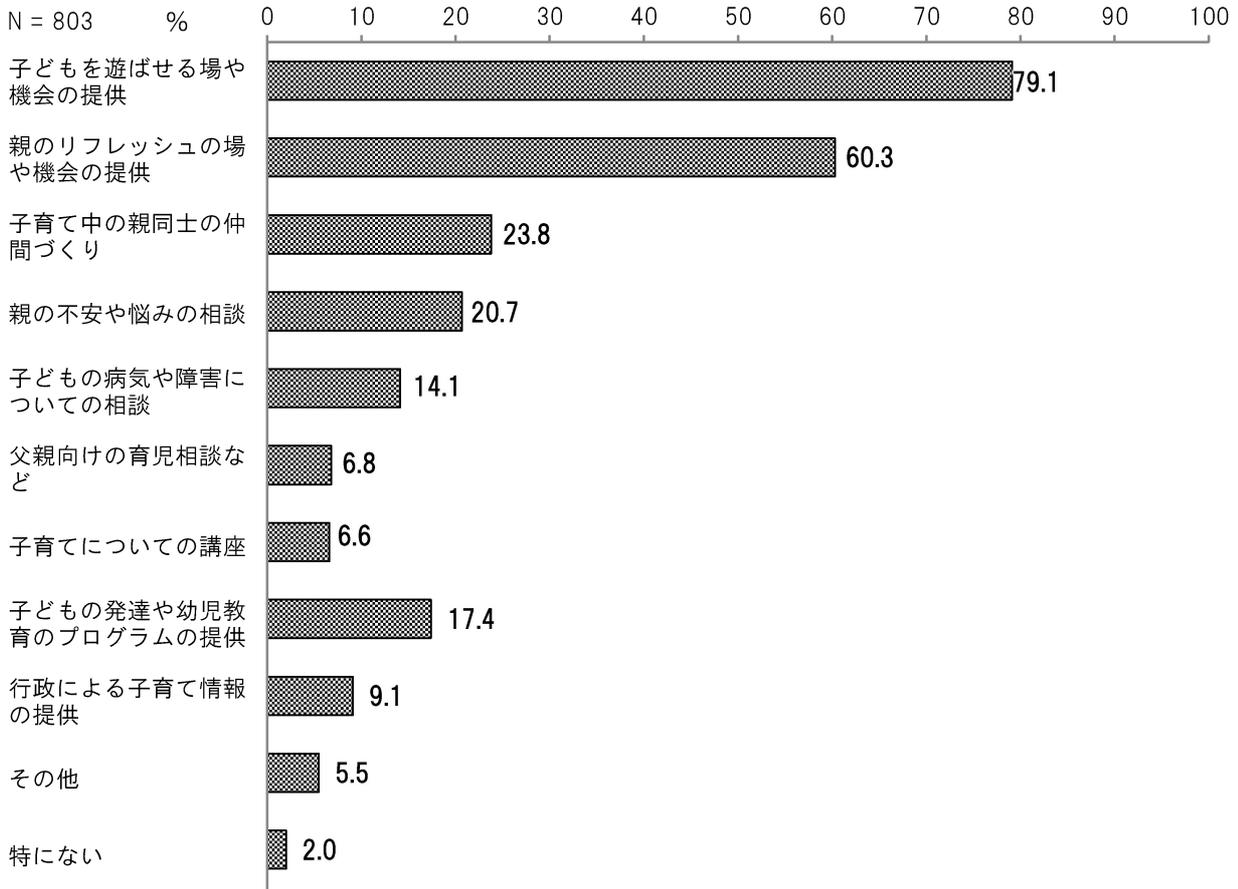
- ・ 「24時間、土日祝日に対応してくれる」、「対面、オンライン、チャットなど様々な手段で、極力早く回答いただける」、「気軽に相談できる」ことや、「近くに祖父母などいないため、地域で子供をそだてていけるような土壌だとよい」などでした。

小保 23-2)

## 2-7 必要なサポートで重要だと思うもの

2-7-1) 日常の子育てを楽しく、安心して行うために必要なサポートで重要だと思うものはどのようなものですか。(複数回答)

- ・ 就学前児童保護者は「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が最も多く 79.1%、次いで「親のリフレッシュの場や機会の提供」が 60.3%でした。
- ・ その他としては、保育園以外に気軽に子を預けられる環境の整備、行政による金銭面の支援などの記載がありました。

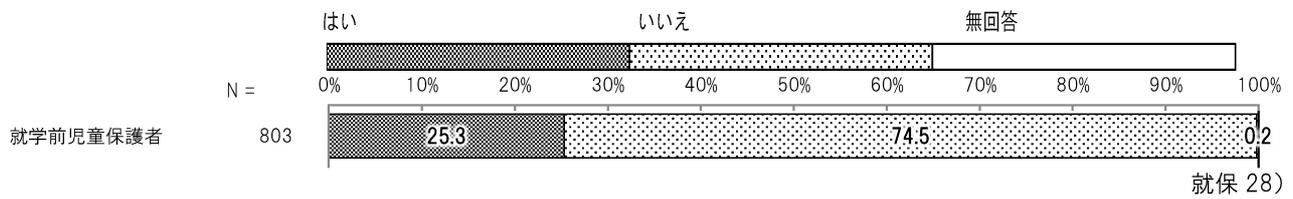


就保 27)

## 2-8 第一子が生まれる前に赤ちゃんの世話をした経験の有無

2-8-1) (一番最初の)子どもが生まれる前に赤ちゃんの世話をした経験がありますか。

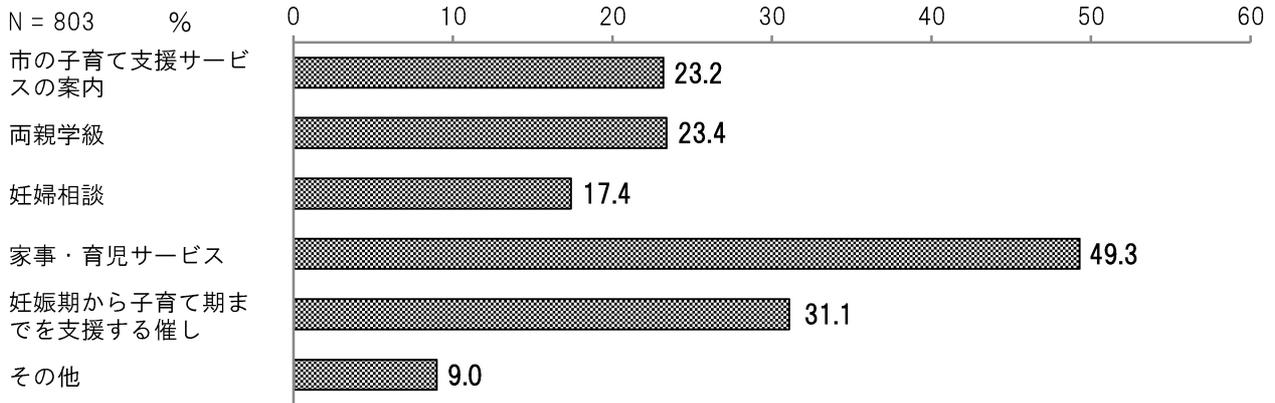
- ・ 就学前児童保護者は「いいえ」が最も多く 74.5%でした。



## 2-9 妊娠中にほしいサービスやしたかったこと

2-9-1) 妊娠中に困ったこと、こんなサービスがあったらいいな、こんなことがしたかったなと思うことはありましたか。(複数回答)

- ・ 就学前児童保護者は「家事・育児サービス」が最も多く49.3%、次いで「妊娠期から子育て期までを支援する催し」が31.1%でした。
- ・ その他としては、産後のリアルを聞いて相談できる機会、両親学級はあったが平日開催が多くて参加できなかったなどの記載がありました。

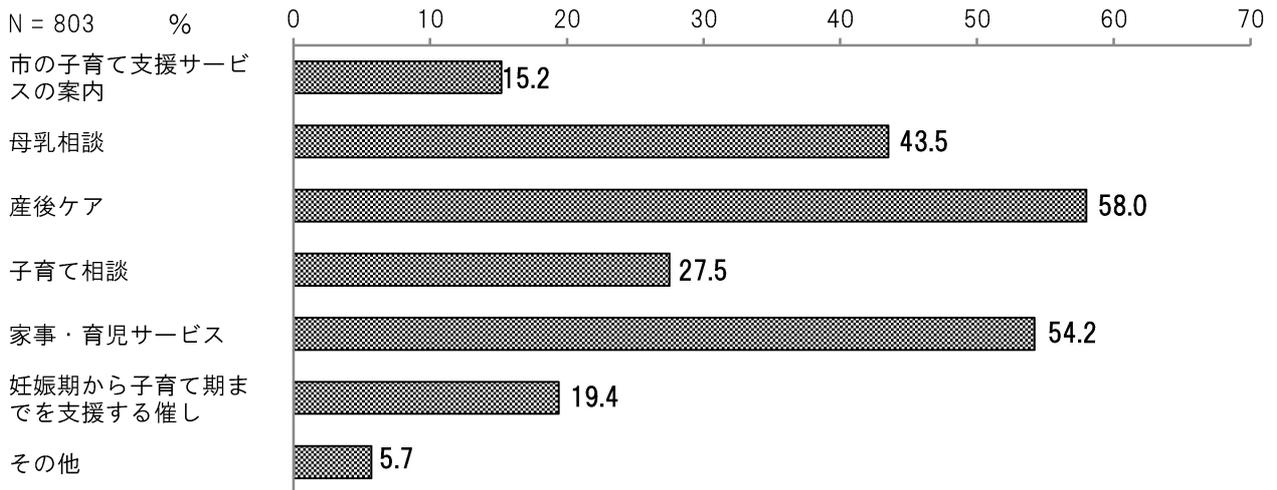


就保 29-1)

## 2-10 産後(退院してすぐ)に困ったことや欲しいサービスのこと

2-10-1) 産後(退院後すぐに)困ったこと、こんなサービスがあったらいいな、こんなことがしたかったなどと思うことはありましたか。(複数回答)

- ・ 就学前児童保護者は「産後ケア」が最も多く 58.0%、次いで「家事・育児サービス」が 54.2%でした。
- ・ その他としては、パパ向けに、産後のママの心身の状態を理解してもらう取り組み、産後のショートステイ、人気すぎて半日を1度のみしか予約できなくて、本当に残念だった。上の子のサポートなどの記載がありました。

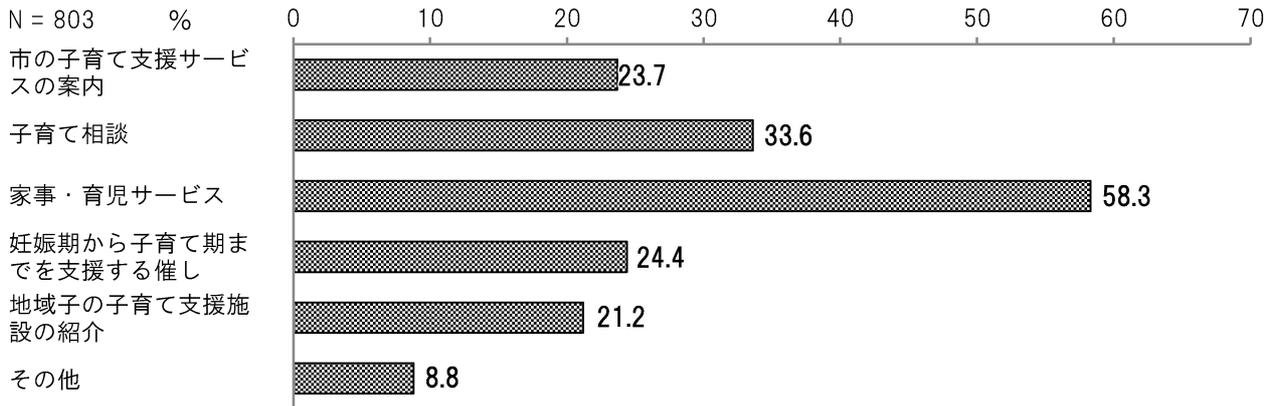


就保 29-2)

## 2-11 子育て中(これからのこと)にほしいサービスやしたいこと

2-11-1) 子育て中(今後も含めて)困ったこと、こんなサービスがあったらいいな、こんなことがしたかったなと思うことはありましたか。(複数回答)

- ・ 就学前児童保護者は「家事・育児サービス」が最も多く 58.3%、次いで「子育て相談」が 33.6%でした。
- ・ その他としては、病気がある子でも一時預りを頼める場や人、障害児ママのもっと踏み込んだケアなどの記載がありました。

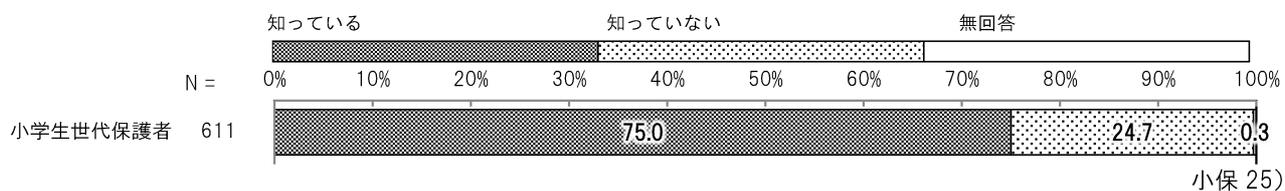


就保 29-3)

## 2-12 市の就学援助費制度の認知度

2-1 2-1) 市の就学援助費制度（就学に係る経済的な支援制度）について知っていますか。

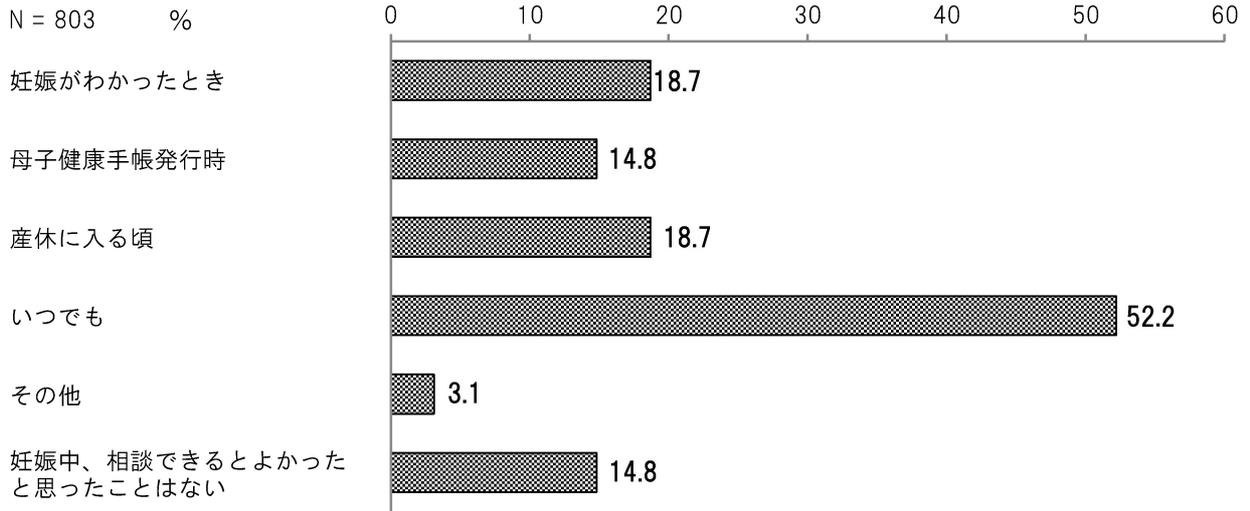
- ・ 小学生世代保護者は「知っている」が75.0%でした。



## 2-13 妊娠中に相談できると良かったと思うタイミング

2-13-1) 妊娠中、どのタイミングで（病院以外で）ちょっとした気持ちや不安、分からないことなどを相談できると良かったと思いましたか。（複数回答）

- ・ 就学前児童保護者は「いつでも」が最も多く 52.2%、次いで「妊娠がわかったとき」と「産休に入る頃」が 18.7%でした。
- ・ その他としては、つわり中、異常がわかったとき、妊娠 8 ヶ月くらい、まだ動ける頃に、産後の子育てがどれくらい大変で、自分の時間が圧倒的に少なくなることを理解していたかったなどの記載がありました。

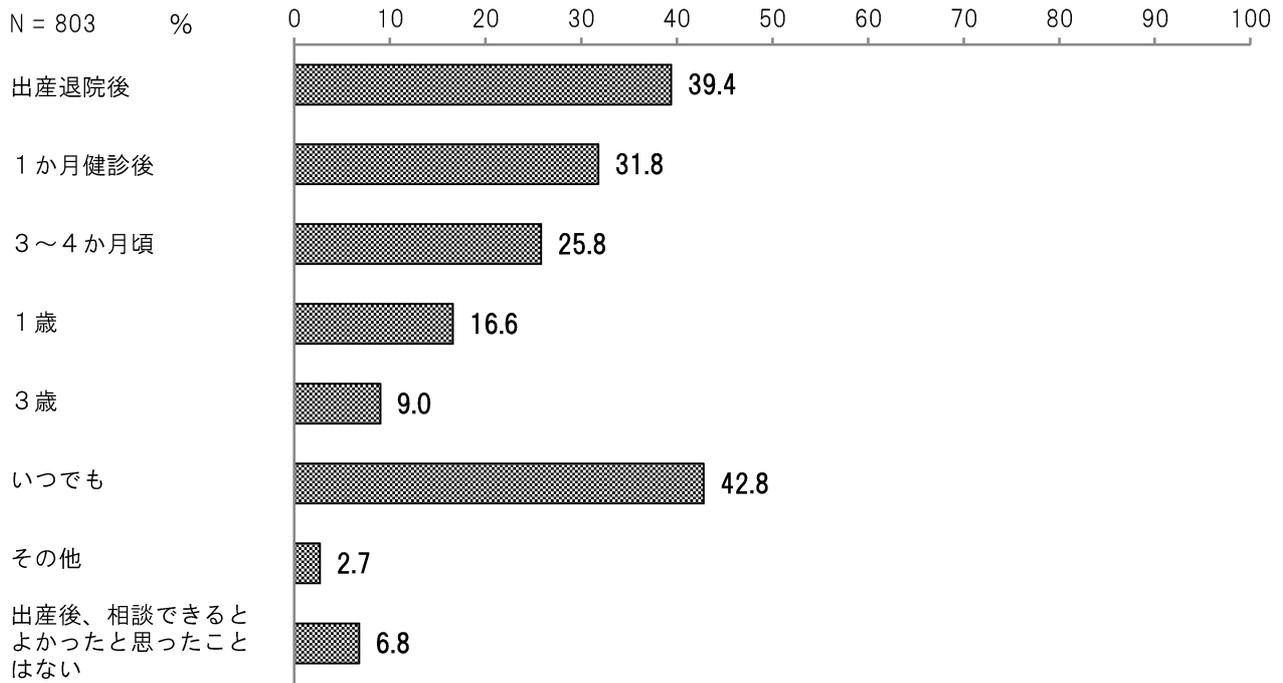


就保 30)

## 2-14 出産後に相談できると良かったと思うタイミング

2-14-1) 出産後、どのタイミングで（病院以外で）ちょっとした気持ちや不安、分からないことなどを相談できると良かったと思いましたか。（複数回答）

- ・ 就学前児童保護者は「いつでも」が最も多く 42.8%、次いで「出産退院後」が 39.4%でした。
- ・ その他としては、相談だけでなく具体的な解決策を知りたいので、もっと専門性の高い人と話をしたかった、1～3歳の間にも何か機会があれば嬉しい、産後は3日後5日後7日後などきめ細かく直接対面で相談できるとありがたかったなどの記載がありました。

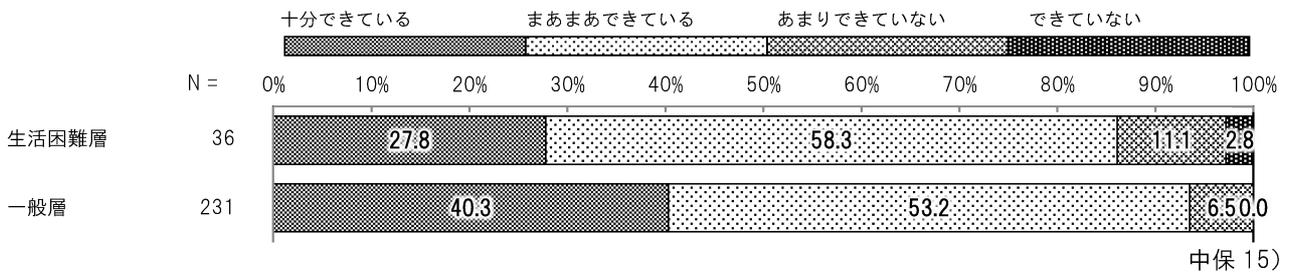


就保 31)

### 3 青少年期の子どもと保護者の関わり

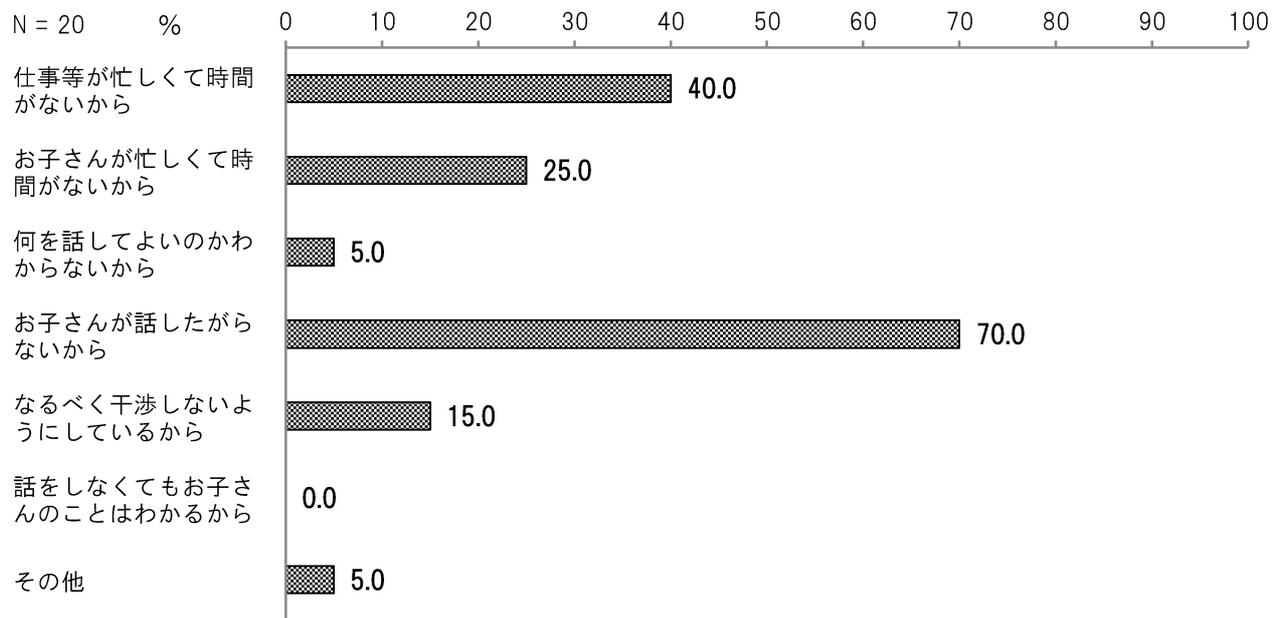
3-1-1) お子さんとの会話や遊びなどを通じたコミュニケーションは、できていると思いますか。

- ・生活困難層では「まあまあできている」が最も多く 58.3%、次いで「十分できている」が 27.8%でした。
- ・一般層では「まあまあできている」が最も多く 53.2%、次いで「十分できている」が 40.3%でした。



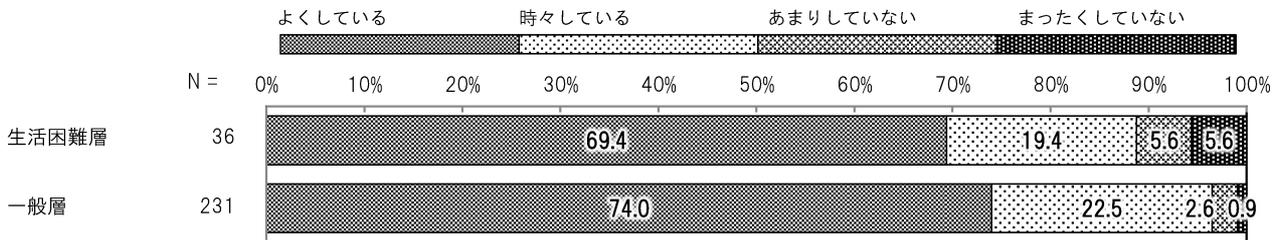
3-1-2) お子さんとの遊びや会話を通じたコミュニケーションが「あまりできていない」「できていない」と思った理由を教えてください。(複数回答)

- ・コミュニケーションが「あまりできていない」「できていない」と思った方にその理由を伺ったところ、中学生世代保護者では、「お子さんが話したがるから」が最も多く 70.0%でした。



3-1-3) あなたは、次のようなことをどの程度していますか。：ア 授業参観や運動会などの学校行事への参加

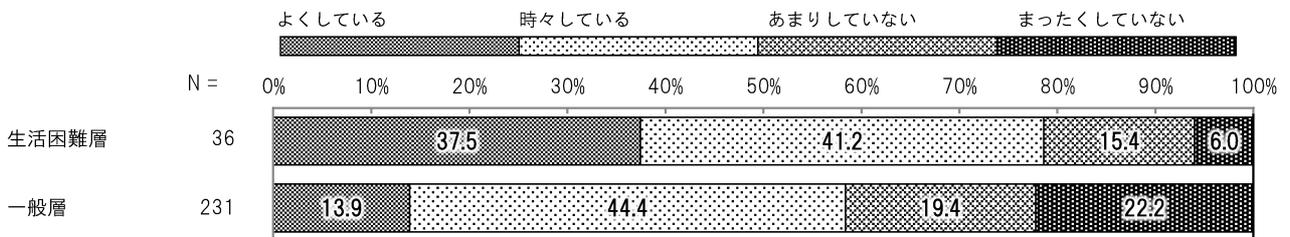
- ・ 「よくしている」と「時々している」の合計は、生活困難層で88.8%、一般層で96.5%でした。



中保 16)

3-1-4) あなたは、次のようなことをどの程度していますか。：イ P T A活動や保護者会、その他子どもに関わる地域活動等のボランティアなどへの参加

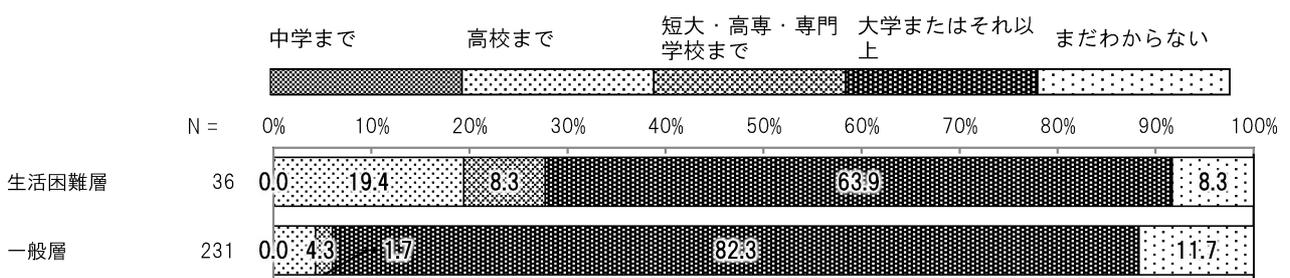
- ・ 「よくしている」と「時々している」の合計は、生活困難層で78.7%、一般層で58.3%でした。



中保 16)

3-1-5) お子さんは将来、現実的に見てどの段階まで進学すると思いますか。

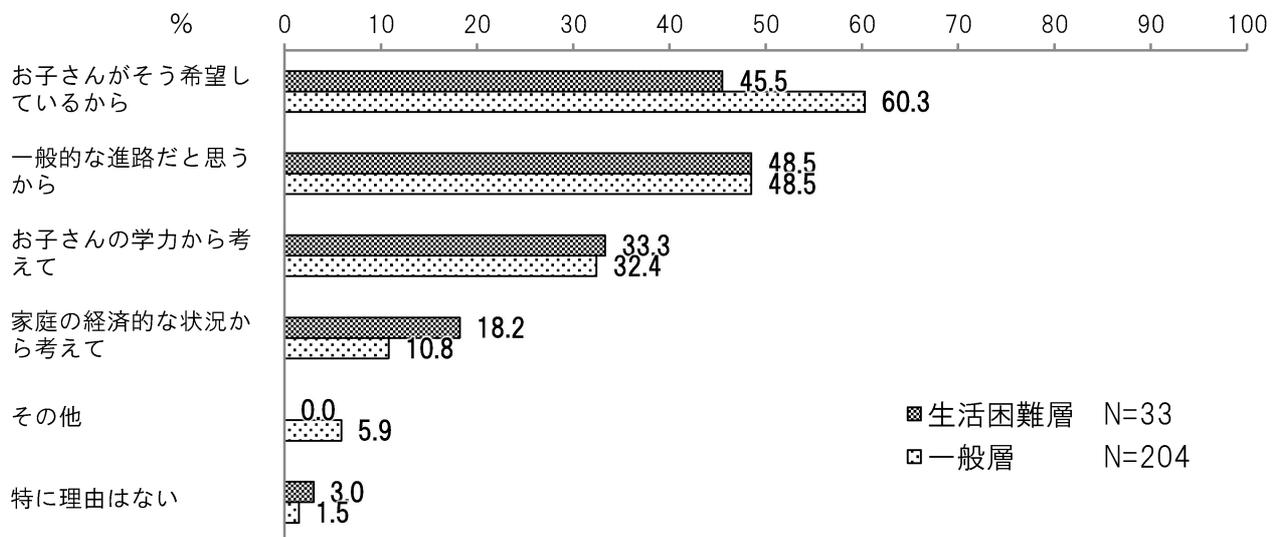
- ・ 生活困難層、一般層いずれも「大学またはそれ以上」が最も多く、生活困難層で63.9%、一般層で82.3%でした。
- ・ 「高校まで」は、一般層で4.3%であるのに対し、生活困難層では19.4%でした。



中保 17)

3-1-6) その理由は何ですか。(複数回答)

- ・「家庭の経済的な状況から考えて」が生活困難層で18.2%、一般層で10.8%でした。



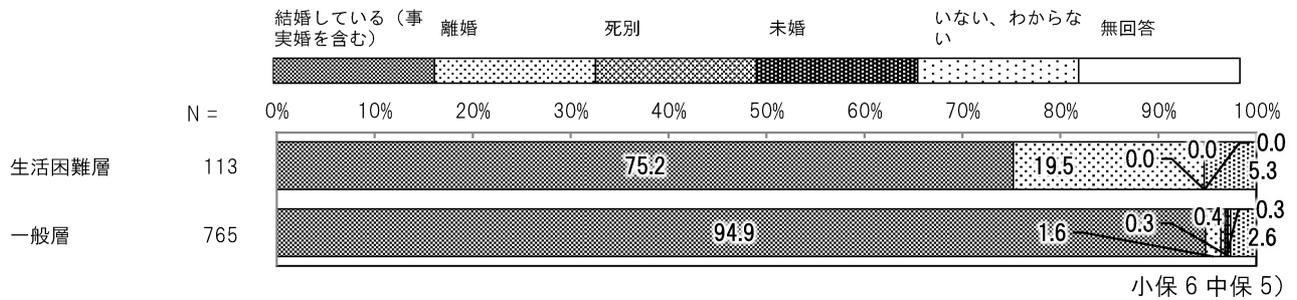
中保 17-1)

## 4 暮らしの状況

### 4-1 あなたの状況について

4-1-1) お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。

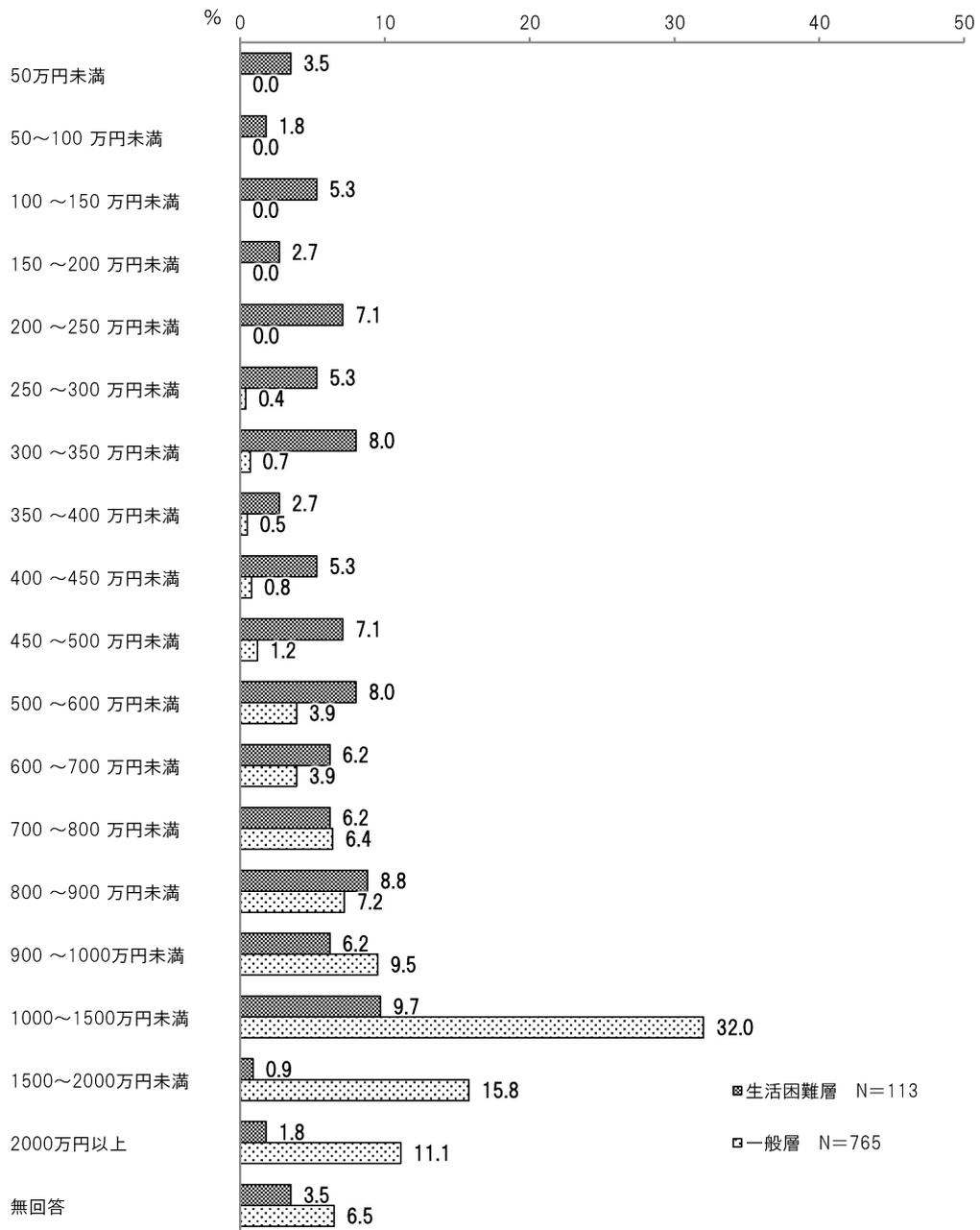
- ・ 一般層では「離婚」が1.6%であるのに対し、生活困難層では「離婚」が19.5%でした。



4-1-2) 2023年(令和5年1月から令和5年12月)の世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。

- ・世帯全体のおおよその年間収入について、小学生世代保護者では「1000～1500万円未満」が最も多く28.5%、次いで「1500～2000万円未満」が14.2%でした。
- ・中学生世代保護者では「1000～1500万円未満」が最も多く30.7%、次いで「1500～2000万円未満」が13.1%でした。
- ・生活困難層は500万円未満の世帯が48.8%を占めています。
- ・一般層は600万円以上の世帯が85.9%を占め、1000万円以上の世帯が58.9%を占めています。

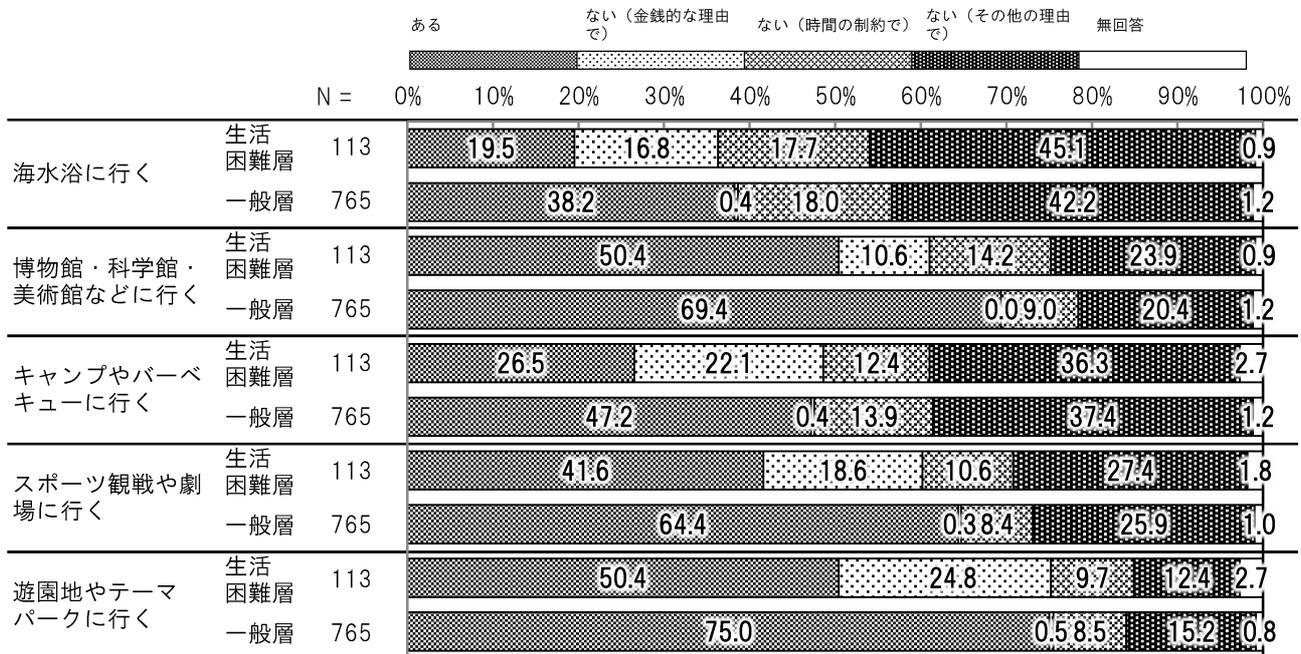
	調査数	2023年(令和5年1月から令和5年12月)の世帯全体のおおよその年間収入はいくらですか。(上段:実数、下段:%)																		
		50万円未満	50～100万円未満	100～150万円未満	150～200万円未満	200～250万円未満	250～300万円未満	300～350万円未満	350～400万円未満	400～450万円未満	450～500万円未満	500～600万円未満	600～700万円未満	700～800万円未満	800～900万円未満	900～1000万円未満	1000～1500万円未満	1500～2000万円未満	2000万円以上	無回答
全体	878	4	2	6	3	8	9	14	7	12	17	39	37	56	65	80	256	122	87	54
	100.0	0.5	0.2	0.7	0.3	0.9	1.0	1.6	0.8	1.4	1.9	4.4	4.2	6.4	7.4	9.1	29.2	13.9	9.9	6.2
小学生世代保護者	611	4	0	2	1	3	5	11	6	8	13	25	31	38	48	56	174	87	59	40
	100.0	0.7	0.0	0.3	0.2	0.5	0.8	1.8	1.0	1.3	2.1	4.1	5.1	6.2	7.9	9.2	28.5	14.2	9.7	6.5
中学生世代保護者	267	0	2	4	2	5	4	3	1	4	4	14	6	18	17	24	82	35	28	14
	100.0	0.0	0.7	1.5	0.7	1.9	1.5	1.1	0.4	1.5	1.5	5.2	2.2	6.7	6.4	9.0	30.7	13.1	10.5	5.2
生活困難層	113	4	2	6	3	8	6	9	3	6	8	9	7	7	10	7	11	1	2	4
	100.0	3.5	1.8	5.3	2.7	7.1	5.3	8.0	2.7	5.3	7.1	8.0	6.2	6.2	8.8	6.2	9.7	0.9	1.8	3.5
一般層	765	0	0	0	0	0	3	5	4	6	9	30	30	49	55	73	245	121	85	50
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.7	0.5	0.8	1.2	3.9	3.9	6.4	7.2	9.5	32.0	15.8	11.1	6.5



小保 28 中保 7)

4-1-3) 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。

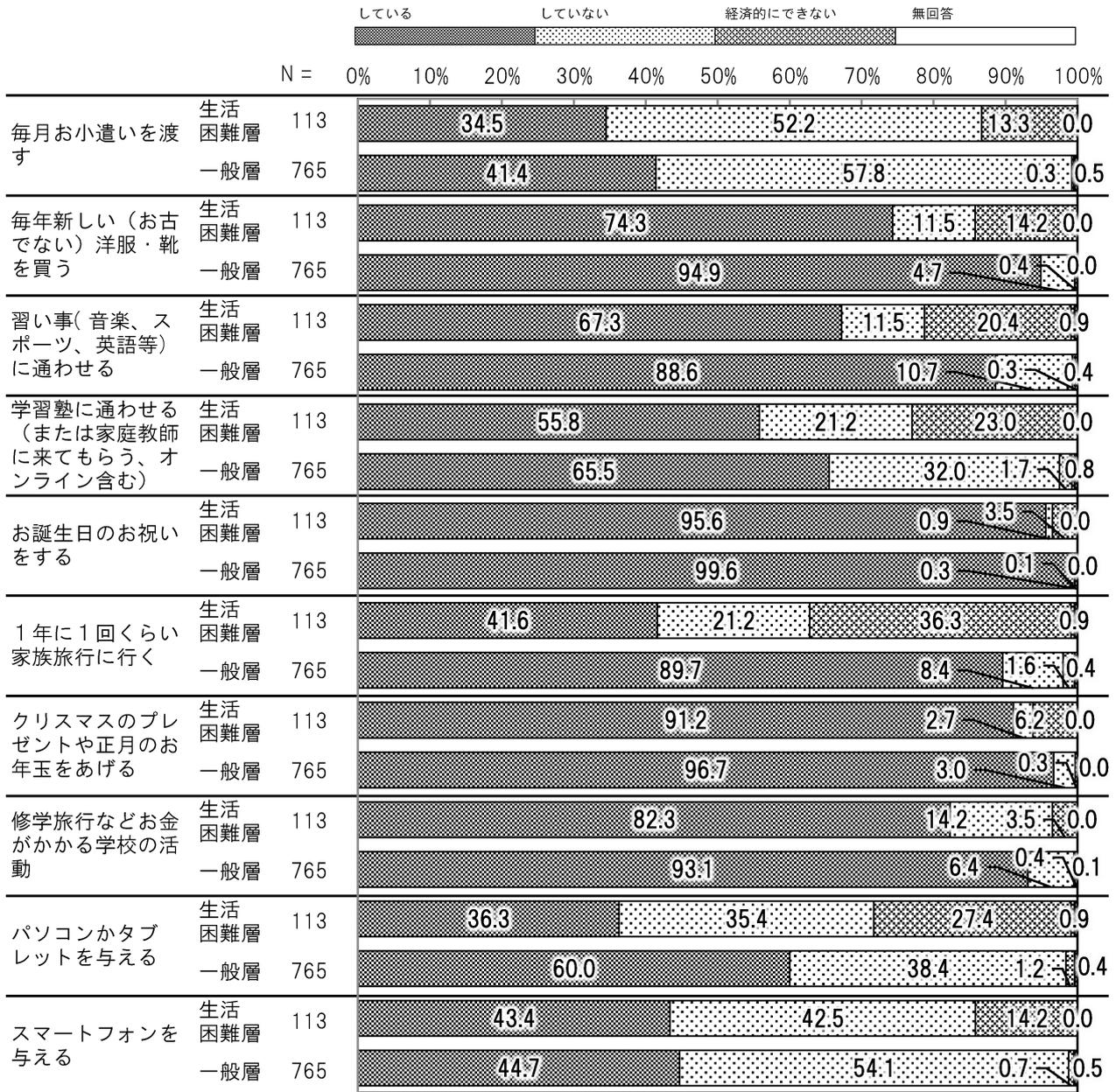
- ・一般層では各項目で「ない（金銭的な理由で）」の回答がほとんど見られないのに対し、生活困難層では、「遊園地やテーマパークに行く」で24.8%であり、他の項目でも一定数の回答がありました。



小保 33 中保 8)

4-1-4) あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。

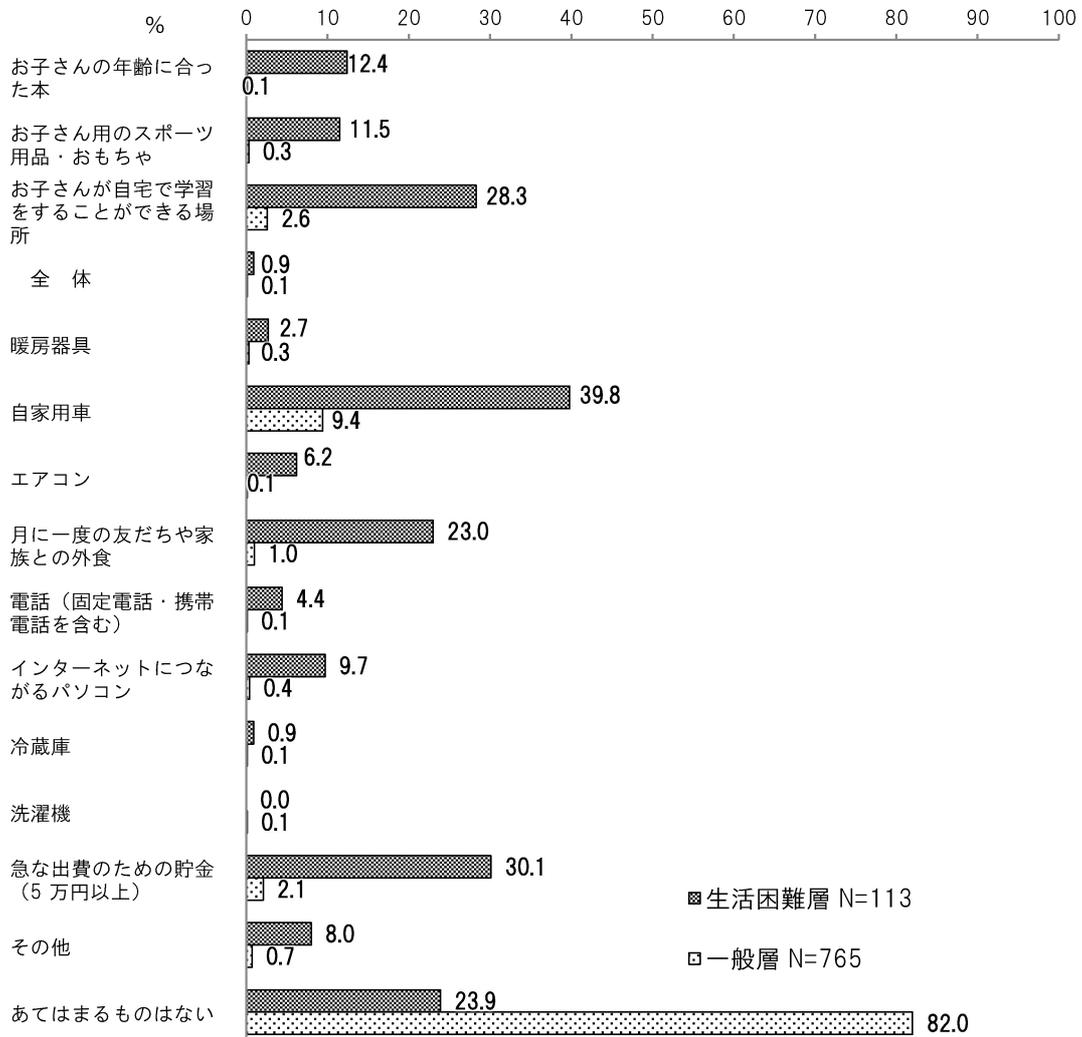
- 生活困難層で「経済的にできない」が最も多いのは、「1年に1回くらい家族旅行に行く」で36.3%、次いで「パソコンかタブレットを与える」が27.4%、「学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう、オンライン含む）」が23.0%、「習い事（音楽、スポーツ、音楽等）に通わせる」が20.4%でした。



小保 34 中保 9)

4-1-5) 次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはどれですか。(複数回答)

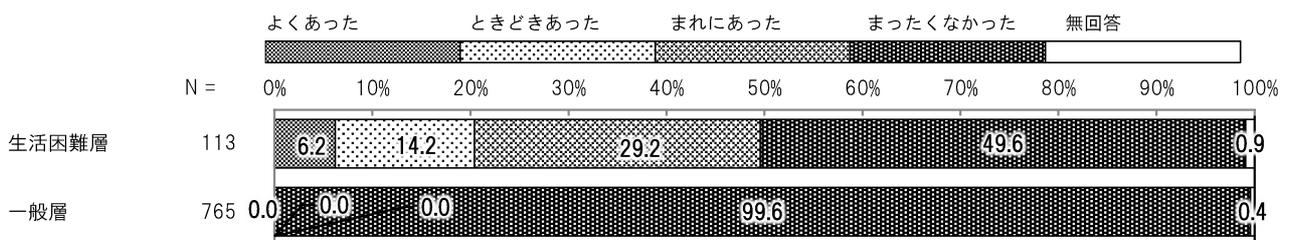
- ・生活困難層では「自家用車」が最も多く39.8%、次いで「急な出費のための貯金」が30.1%、「お子さんが自宅で学習をすることができる場所」が28.3%でした。
- ・その他としては、家、バスや電車の交通費、学費、電子レンジなどの記載がありました。



小保 32 中保 10)

4-1-6) あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。

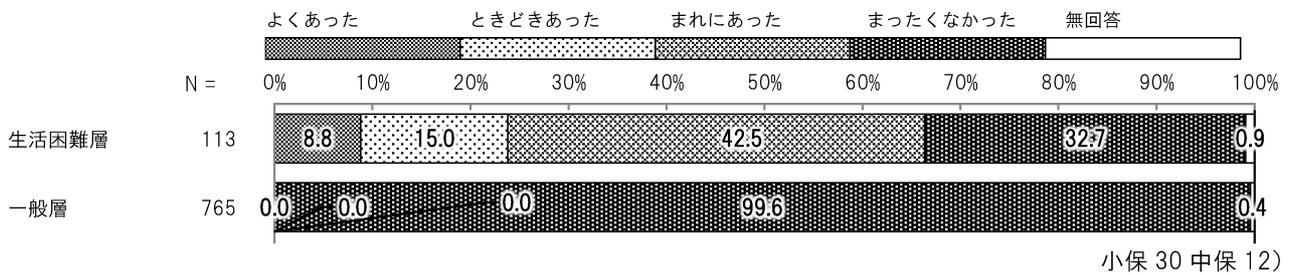
- ・生活困難層では「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」の合計が49.6%でした。



小保 29 中保 11)

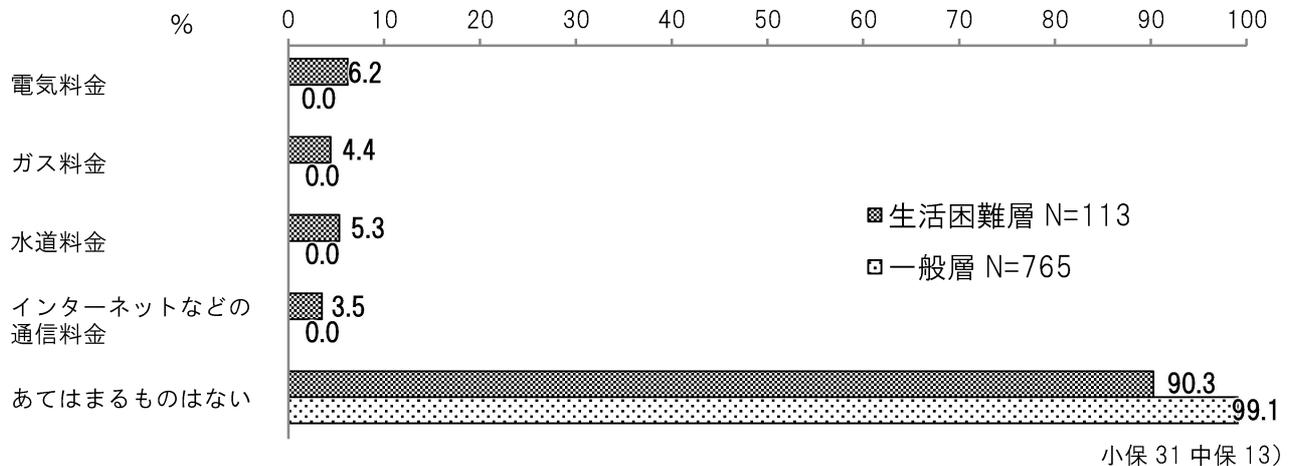
4-1-7) あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。

- 生活困難層では「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」の合計が66.3%でした。



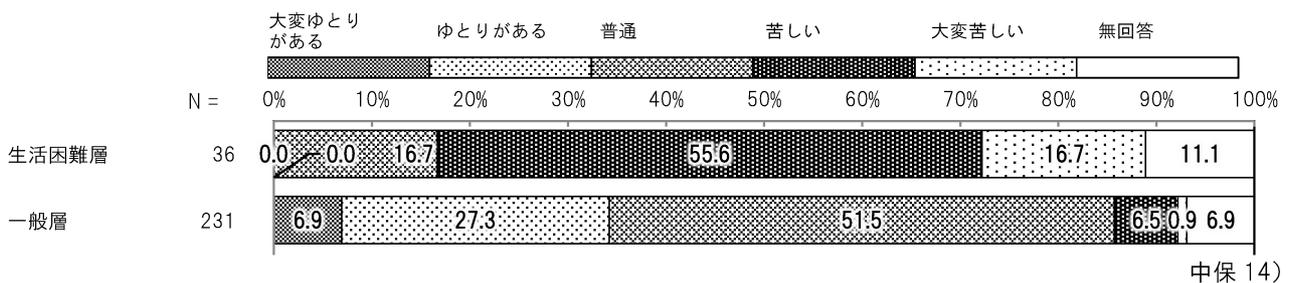
4-1-8) あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。(複数回答)

- 生活困難層では「電気料金」が6.2%、「水道料金」が5.3%、「ガス料金」が4.4%でした。



4-1-9) あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

- 生活困難層では「苦しい」が55.6%、次いで「普通」、「大変苦しい」が16.7%でした。

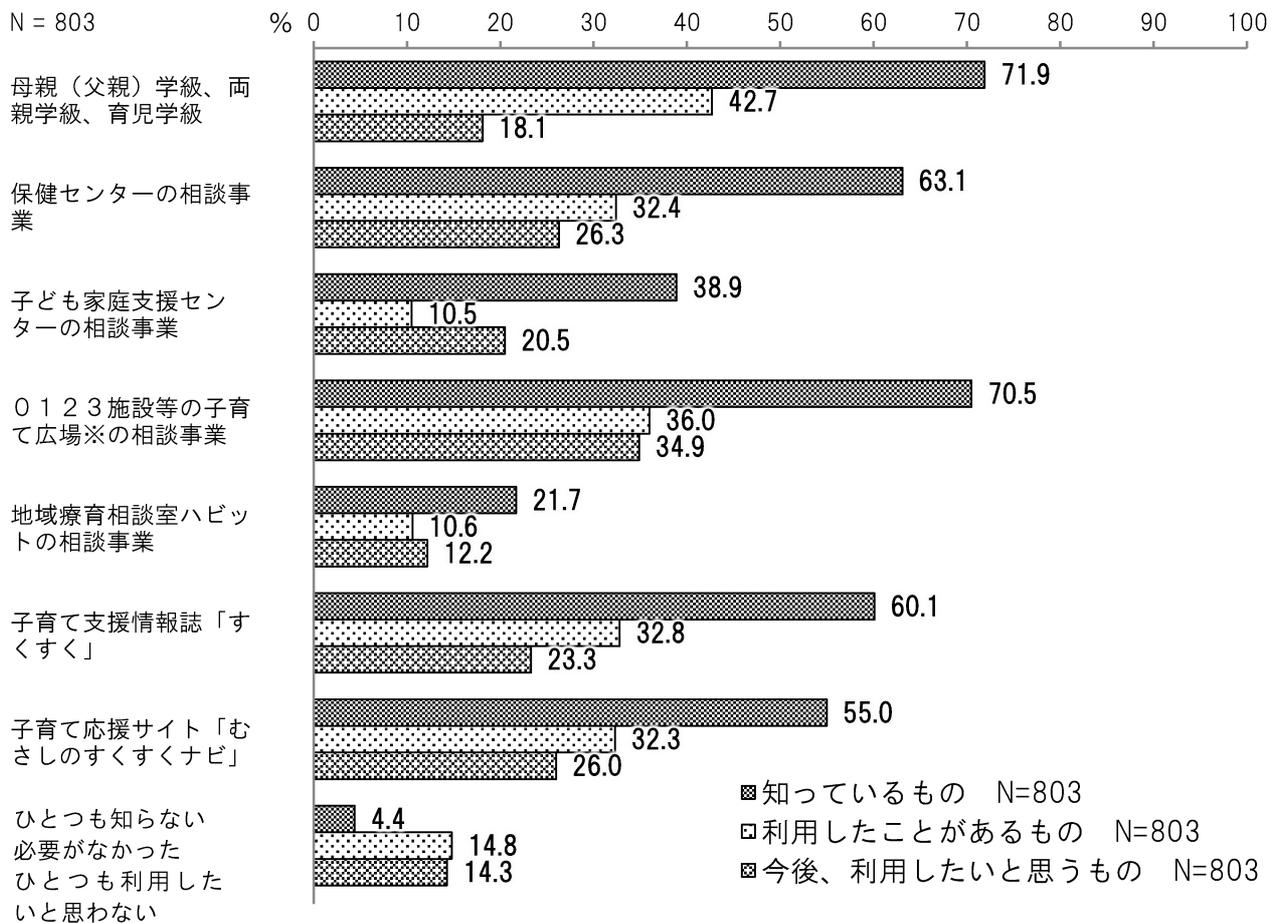


## 5 子育て支援サービスや地域子育て支援事業の利用状況

### 5-1 子育て支援サービス・地域子育て支援事業の利用状況

#### 5-1-1) 子育て支援サービス・地域子育て支援事業の認知・利用状況（複数回答）

- ・ 知っているサービスは、「母親（父親）学級、両親学級、育児学級」が最も多く 71.9%、次いで、「0123 施設等の子育て広場の相談事業」が 70.5%でした。
- ・ 利用したことがあるサービスは、「母親（父親）学級、両親学級、育児学級」が 42.7%、次いで「0123 施設等の子育て広場の相談事業」が 36.0%でした。
- ・ 今後利用したいと思うサービスは、「0123 施設等の子育て広場の相談事業」が 34.9%、次いで「保健センターの相談事業」が 26.3%でした。



就保 32) 33)

### 【母親の就労状況 × 利用したことがあるサービス】

- ・ 子育て支援サービス・地域子育て支援事業の利用状況を母親の就労状況別にみると、「母親（父親）学級、両親学級、育児学級」が「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」で多く、「0123施設等の子育て広場の相談事業」が「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」「以前は就労していたが、現在は就労していない」で多くなっています。

(上段：実数、下段：%)

	調査数	母親（父親）学級、両親学級、育児学級	保健センターの相談事業	子ども家庭支援センターの相談事業	0123施設等の子育て広場の相談事業	地域療育相談室ハビットの相談事業	子育て支援情報誌「すくすく」	子育て応援サイト「むさしのすくすくナビ」	ひとつも利用したことがない	無回答
就学前児童保護者	803	343	260	84	289	85	263	259	123	37
	100.0	42.7	32.4	10.5	36.0	10.6	32.8	32.3	15.3	4.6
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	328	139	91	30	106	33	124	110	65	13
	100.0	42.4	27.7	9.1	32.3	10.1	37.8	33.5	19.8	4.0
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	192	93	68	21	77	12	59	82	21	5
	100.0	48.4	35.4	10.9	40.1	6.3	30.7	42.7	10.9	2.6
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	94	36	30	11	30	12	25	16	9	10
	100.0	38.3	31.9	11.7	31.9	12.8	26.6	17.0	9.6	10.6
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	16	7	5	1	8	-	5	5	1	-
	100.0	43.8	31.3	6.3	50.0	-	31.3	31.3	6.3	-
以前は就労していたが、現在は就労していない	163	63	61	20	65	26	47	45	27	7
	100.0	38.7	37.4	12.3	39.9	16.0	28.8	27.6	16.6	4.3
これまで就労したことがない	5	2	4	1	1	2	1	-	-	-
	100.0	40.0	80.0	20.0	20.0	40.0	20.0	-	-	-

【母親の就労状況 × 今後利用したいサービス】

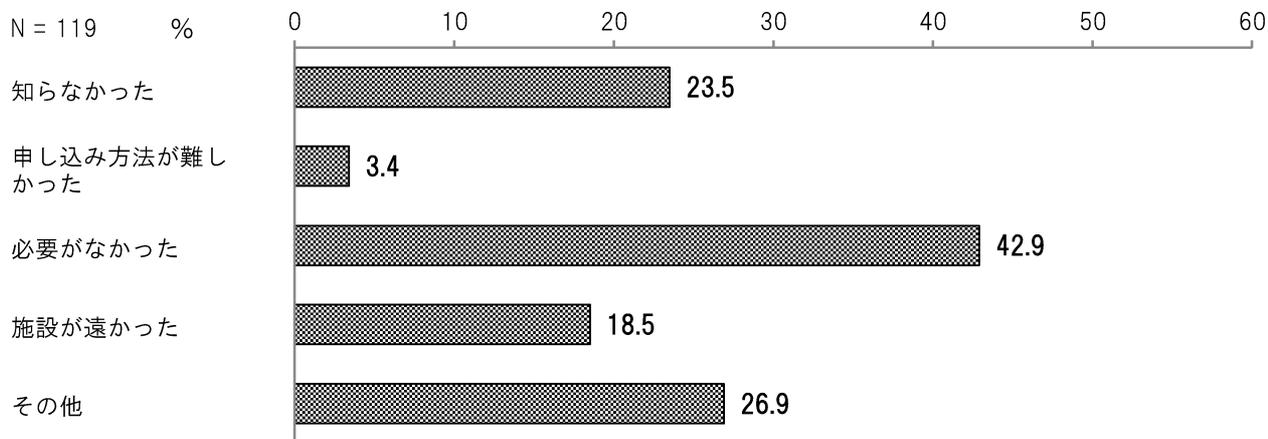
- ・ 今後利用したい子育て支援サービス・地域子育て支援事業の利用状況を母親の就労状況別にみると、「0123施設等の子育て広場の相談事業」が最も多くなっています。

(上段：実数、下段：%)

	調査数	母親（父親）学級、両親学級、育児学級	保健センターの相談事業	子ども家庭支援センターの相談事業	0123施設等の子育て広場の相談事業	地域療育相談室ハビットの相談事業	子育て支援情報誌「すくすく」	子育て応援サイト「むさしのすくすくナビ」	ひとつも利用したいと思わない	無回答
就学前児童保護者	803	145	211	165	280	98	187	209	115	124
	100.0	18.1	26.3	20.5	34.9	12.2	23.3	26.0	14.3	15.4
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	328	55	68	61	85	42	81	83	67	43
	100.0	16.8	20.7	18.6	25.9	12.8	24.7	25.3	20.4	13.1
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	192	50	70	46	101	17	43	67	12	28
	100.0	26.0	36.5	24.0	52.6	8.9	22.4	34.9	6.3	14.6
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	94	13	23	17	23	10	17	16	17	18
	100.0	13.8	24.5	18.1	24.5	10.6	18.1	17.0	18.1	19.1
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	16	4	2	2	10	1	2	5	1	1
	100.0	25.0	12.5	12.5	62.5	6.3	12.5	31.3	6.3	6.3
以前は就労していたが、現在は就労していない	163	22	46	38	60	27	42	36	18	30
	100.0	13.5	28.2	23.3	36.8	16.6	25.8	22.1	11.0	18.4
これまで就労したことがない	5	1	1	1	1	1	1	1	-	2
	100.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-	40.0

5-1-2) 今までに利用したことがない理由をお聞かせください。(複数回答)

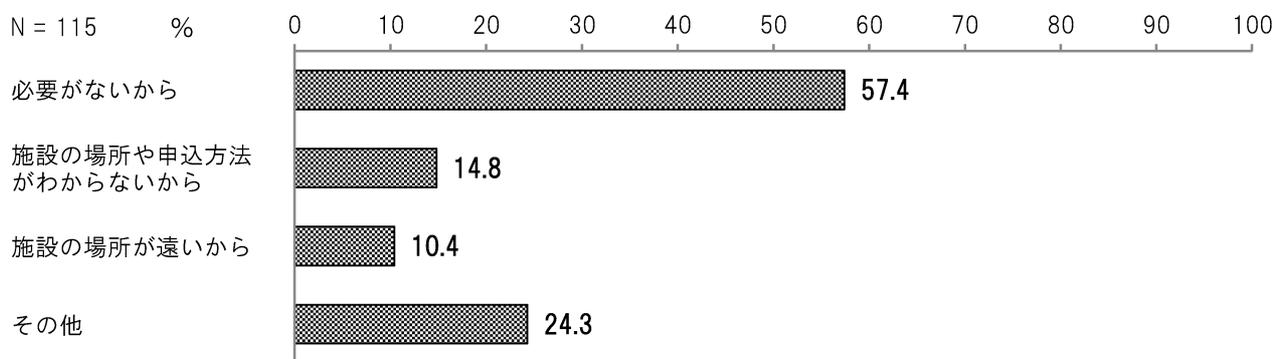
- ・ 利用したことが無い理由は、「必要がなかった」が最も多く 42.9%、次いで「その他」が 26.9%でした。
- ・ その他としては、引っ越してきたばかりだから、知らない人や場所であること、気軽に相談できるとは言い難いなどの記載がありました。



就保 32-1)

5-1-3) 今後、利用したいと思わない理由をお聞かせください。(複数回答)

- ・ 今後利用したいと思わない理由は、「必要がないから」が最も多く 57.4%、次いで「その他」が 24.3%でした。
- ・ その他としては、相談しても、あまり解決しないから。市の保健センターの相談員や助産師から型通りの回答しかされなかったため、あまり興味が持てない。そういう場が苦手などの記載がありました。

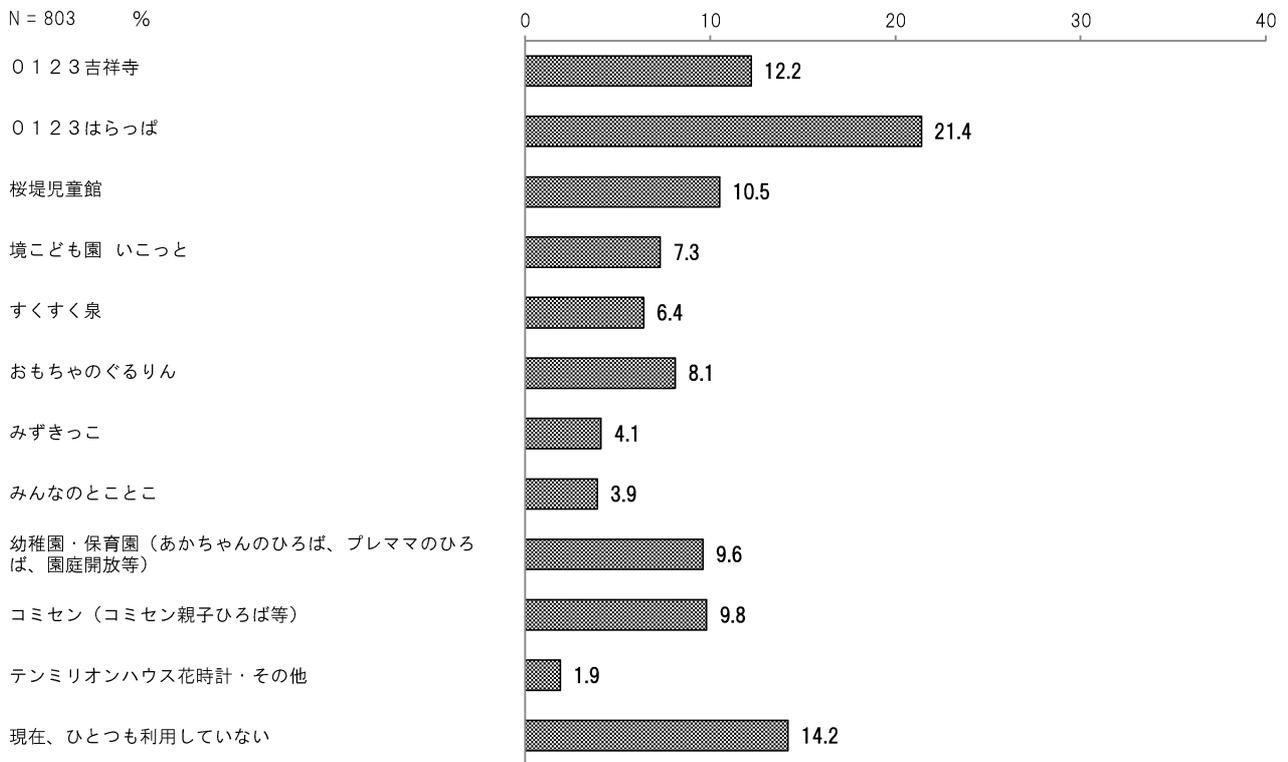


就保 33-1)

## 5-2 地域子育て支援施設の利用状況

5-2-1) あて名のお子さんは、子育て家庭を支援するための施設を現在、利用していますか。  
(複数回答)

- ・ 利用している施設は、「0123 はらっぱ」が最も多く 21.4%、次いで「0123 吉祥寺」が 12.2%でした。



就保 34)

【母親の就労状況 × 地域子育て支援施設で現在利用している施設】

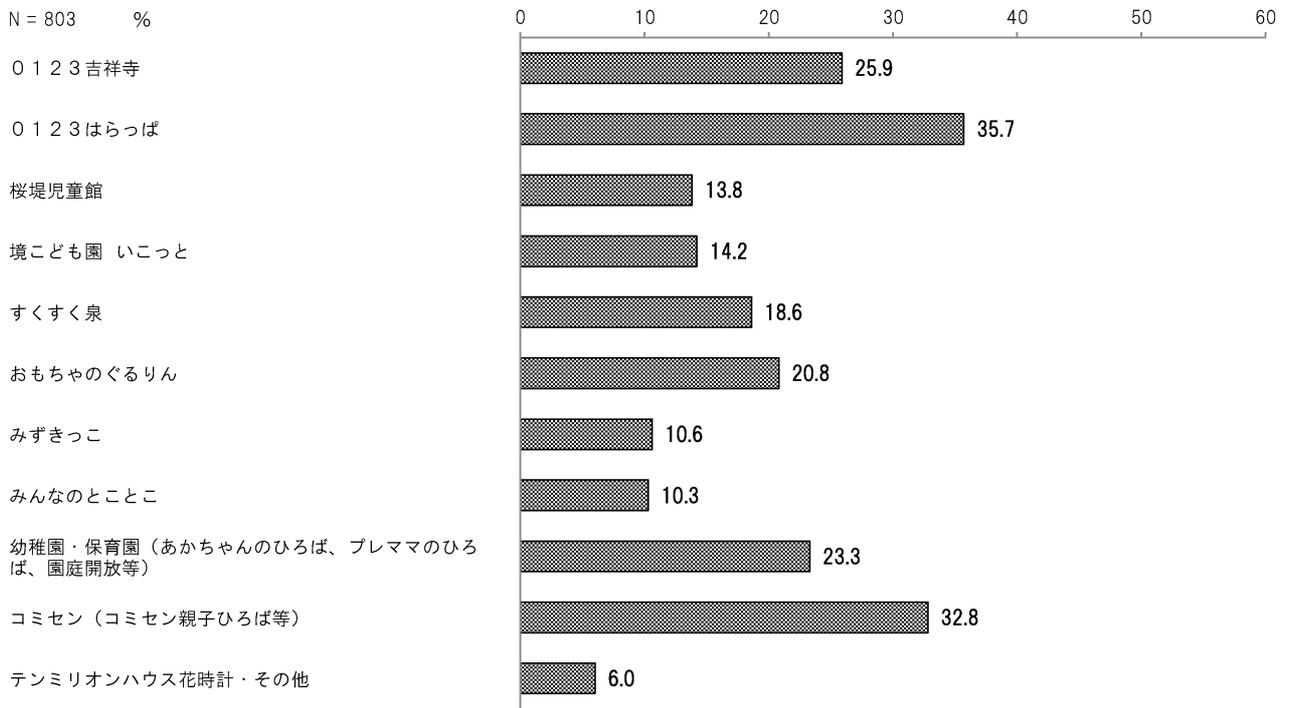
- ・ 地域子育て支援施設の利用状況を母親の就労状況別にみると、「0123はらっぱ」が多い傾向にあります。

(上段：実数、下段：%)

	調査数	0123 吉祥寺	0123 はらっぱ	桜堤児童 館	境こども 園いこつ と	すくすく 泉	おもちゃ のぐるり ん	みずきつ こ	みんなの とことこ	幼稚園・ 保育園 (あか ちゃんの ひろば、 プレママ のひろ ば、園庭 開放等)	コミセン (コミセ ン親子ひ ろば等)	テンミリ オンハウ ス花時 計・その 他	現在、ひ とつも利 用してい ない	無回答
就学前児童保護者	803	98	172	84	59	51	65	33	31	77	79	15	112	346
	100.0	12.2	21.4	10.5	7.3	6.4	8.1	4.1	3.9	9.6	9.8	1.9	13.9	43.1
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	328	29	54	21	8	9	16	4	6	30	19	1	43	176
	100.0	8.8	16.5	6.4	2.4	2.7	4.9	1.2	1.8	9.1	5.8	0.3	13.1	53.7
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	192	35	59	26	22	26	22	17	15	13	35	7	20	73
	100.0	18.2	30.7	13.5	11.5	13.5	11.5	8.9	7.8	6.8	18.2	3.6	10.4	38.0
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	94	6	19	10	8	4	7	2	4	11	5	1	21	33
	100.0	6.4	20.2	10.6	8.5	4.3	7.4	2.1	4.3	11.7	5.3	1.1	22.3	35.1
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	16	3	4	2	3	-	-	1	1	2	1	-	1	4
	100.0	18.8	25.0	12.5	18.8	-	-	6.3	6.3	12.5	6.3	-	6.3	25.0
以前は就労していたが、現在は就労していない	163	25	35	24	16	12	19	9	5	19	19	6	26	55
	100.0	15.3	21.5	14.7	9.8	7.4	11.7	5.5	3.1	11.7	11.7	3.7	16.0	33.7
これまで就労したことがない	5	-	-	-	1	-	1	-	-	1	-	-	-	2
	100.0	-	-	-	20.0	-	20.0	-	-	20.0	-	-	-	40.0

5-2-2) 現在利用していないが過去に利用した施設はありますか。(複数回答)

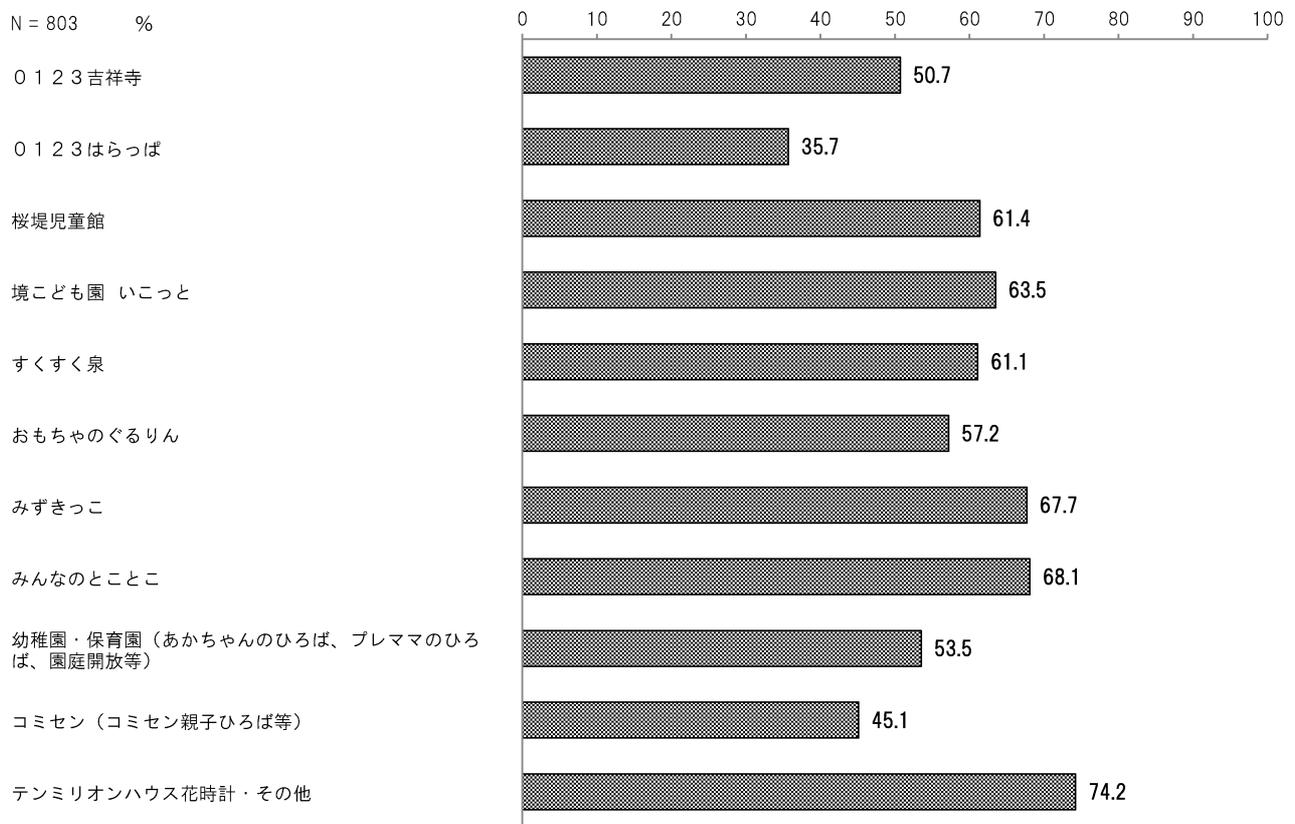
・ 現在利用していないが過去に利用したことがある施設は、「0123 はらっぱ」が最も多く 35.7%、次いで「コミセン」が 32.8%でした。



就保 34-1)

5-2-3) 今までに一度も利用していない施設はありますか。(複数回答)

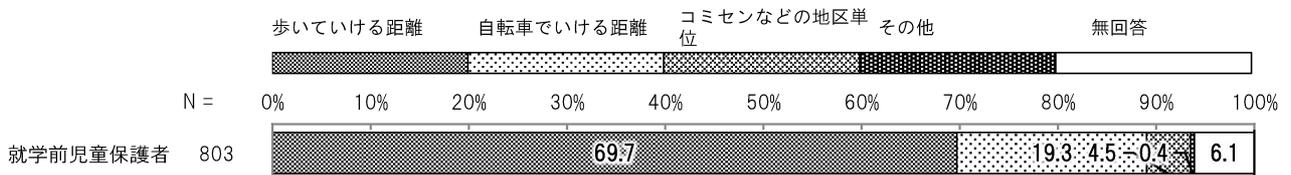
- ・ 今までに一度も利用していない施設は、「テンミリオンハウス花時計・その他」が最も多く74.2%、次いで「みんなのとことこ」が68.1%でした。



就保 34-1)

5-2-4) 「子育てひろば」は、ご自宅からどの範囲にあると良いと思いますか。

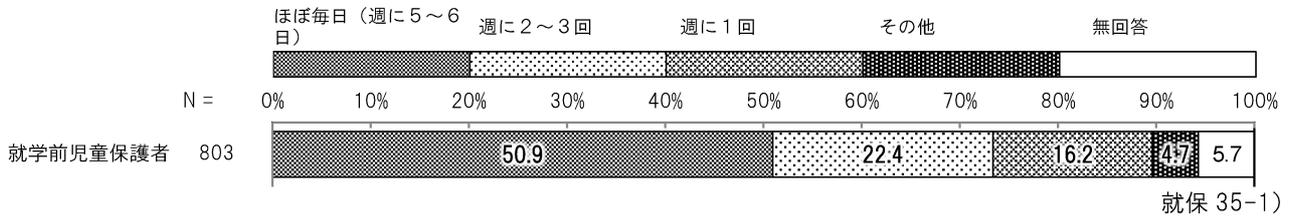
- ・ 就学前児童保護者は「歩いていける距離」が最も多く69.7%、次いで「自転車で行ける距離」が19.3%でした。
- ・ その他としては、アクセスが良い場所。まわりに公園がある場所、無料駐車場があるとうれしい子供が3人のためなどの記載がありました。



就保 35)

5-2-5) 「子育てひろば」に希望する開設形態はどのようなものですか。

- ・ 就学前児童保護者は「ほぼ毎日（週に5～6日）」が最も多く 50.9%、次いで「週に2～3回」が 22.4%でした。
- ・ その他としては、月1～2回、土日にやってほしいなどの記載がありました。



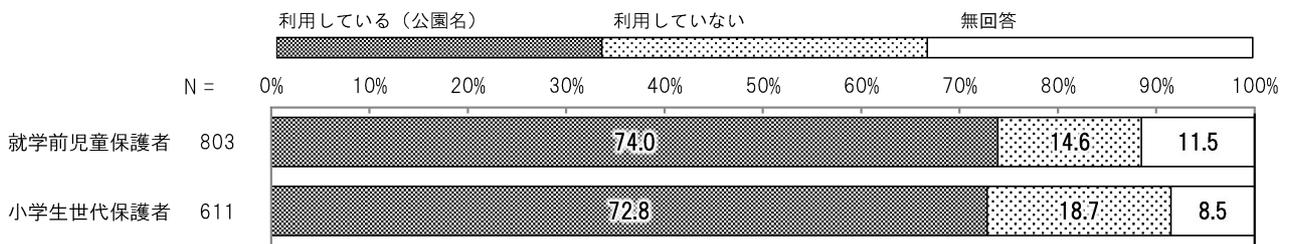
5-2-6) 「子育てひろば」に対するご意見をご自由にお書きください。

- ・ 0123 などの施設を利用していたという意見が多くありました。
- ・ スタッフとの関係についての意見が多くありました。
- ・ 場所が近くにあると良いという意見や、土日に開いて欲しいという意見がありました。

(KH Corder による分析) 就保 35-2)

5-2-7) 普段公園を利用していますか。

- ・ 就学前児童保護者は「利用している」が74.0%でした。
- ・ 小学生世代保護者は「利用している」が72.8%でした。



就保 36 小保 19)

5-2-8) 公園で子どもと一緒にできる (したい) 活動はありますか。

- ・ 遊具・ボール遊び、自転車の練習や、サッカー、キャッチボールなどのスポーツをしたいという意見がありました。

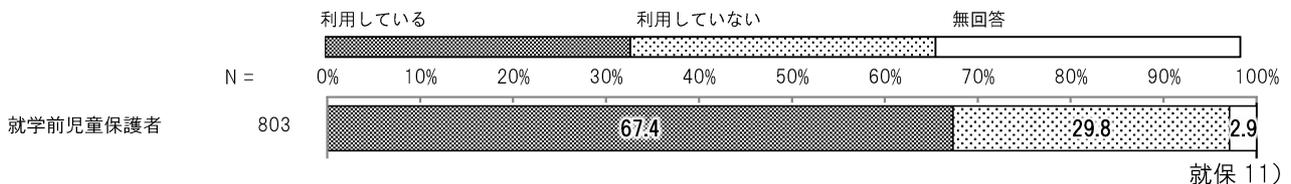
就保 36-1 小保 19-1)

## 6 教育・保育事業の利用状況

### 6-1 平日の定期的な教育・保育事業活動の利用状況

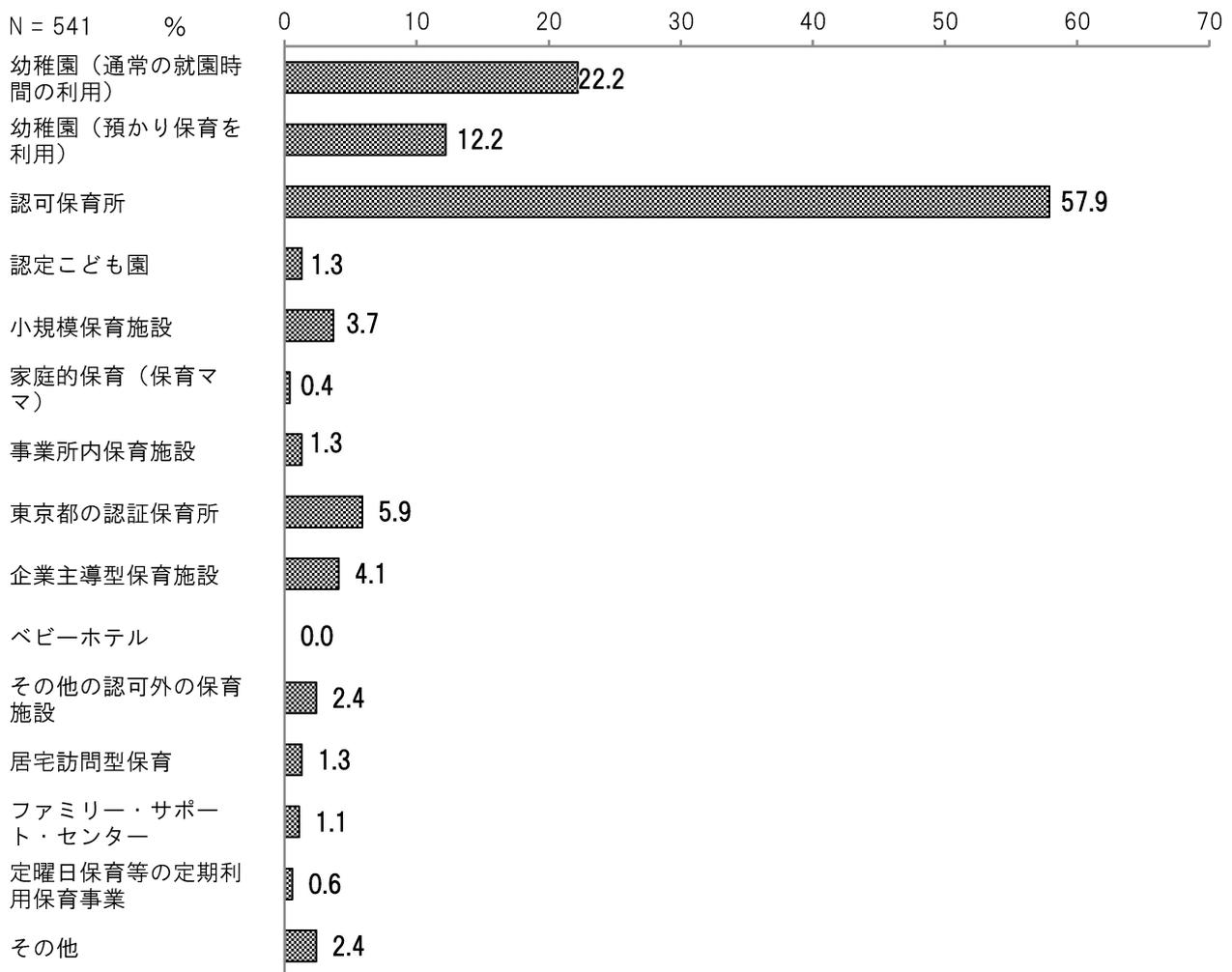
6-1-1) あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。

- ・ 就学前児童保護者は「利用している」が67.4%でした。



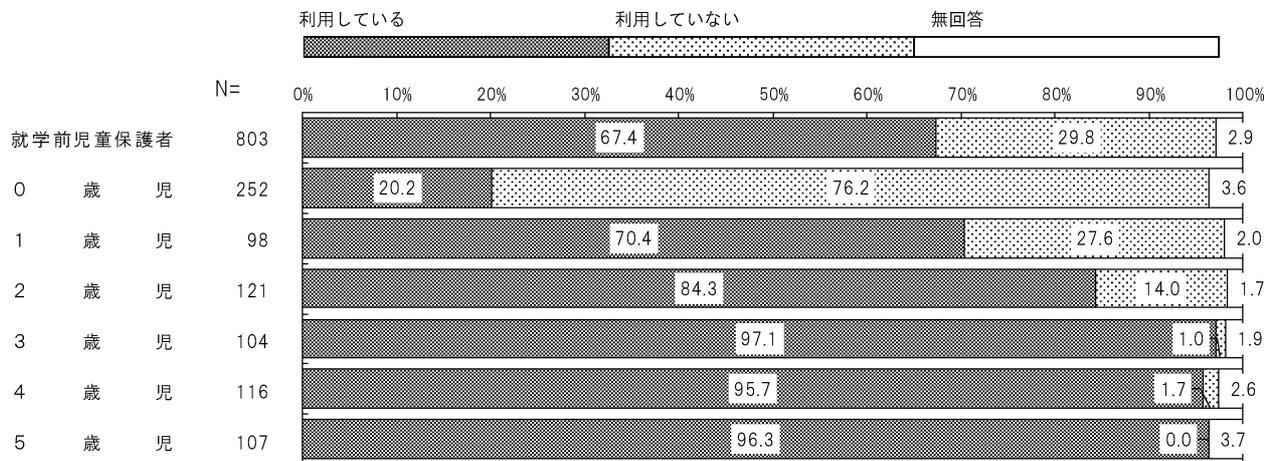
6-1-2) あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。(複数回答)

- ・ 就学前児童保護者は「認可保育所」が最も多く57.9%、次いで「幼稚園(通常の就園時間の利用)」が22.2%でした。
- ・ その他としては、児童発達支援、居宅訪問型病児保育などの記載がありました。



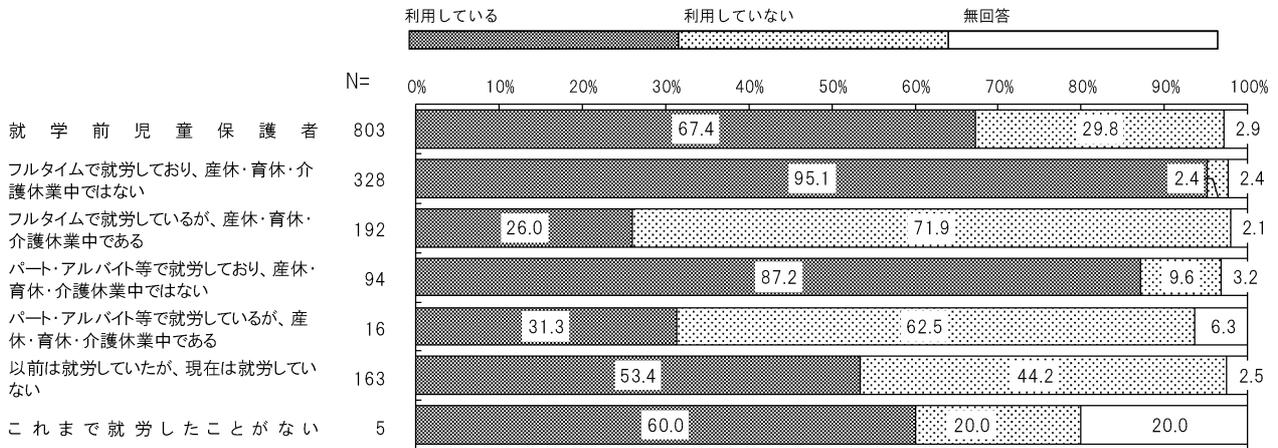
**【学年年齢 × 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況】**

- ・ 定期的な教育・保育事業の利用状況を学年年齢別にみると、「0歳児」では「利用している」約2割であるのに対し、「3歳児」以上では9割を超えています。



**【母親の就労状況 × 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況】**

- 定期的な教育・保育事業の利用状況を母親の就労状況別にみると、母親が就労していると事業を「利用している」傾向にあります。一方、休業中では事業を「利用していない」が多い傾向にあります。「以前は就労していたが、現在は就労していない」母親においては、「利用している」の割合が5割強となっています。



【母親の就労状況 × 定期的に利用している教育・保育事業】

- 定期的に利用している教育・保育事業を母親の就労状況別にみると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」母親は「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が最も多く、フルタイムで働いている、あるいはパート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない母親は「認可保育所」が最も多くなっています。

(上段：実数、下段：%)

	調査数	幼稚園 (通常の 就園時間 の利用)	幼稚園 (預かり 保育を利 用)	認可保育 所	認定こど も園	小規模保 育施設	家庭的保 育(保育 ママ)	事業所内 保育施設	東京都の 認証保育 所	企業主導 型保育施 設	ベビーホ テル	その他の 認可外の 保育施設	居宅訪問 型保育	ファミ リリー・サ ポート・セ ンター	定曜日保 育等の定 期利用保 育事業	その他	無回答
就学前児童保護者	541	120	66	313	7	20	2	7	32	22	-	13	7	6	3	13	5
	100.0	22.2	12.2	57.9	1.3	3.7	0.4	1.3	5.9	4.1	-	2.4	1.3	1.1	0.6	2.4	0.9
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	312	16	26	235	3	12	1	5	21	14	-	6	-	2	1	4	3
	100.0	5.1	8.3	75.3	1.0	3.8	0.3	1.6	6.7	4.5	-	1.9	-	0.6	0.3	1.3	1.0
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	50	3	1	36	1	2	-	1	3	3	-	-	1	2	-	2	1
	100.0	6.0	2.0	72.0	2.0	4.0	-	2.0	6.0	6.0	-	-	2.0	4.0	-	4.0	2.0
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	82	26	25	32	2	5	1	1	7	3	-	2	3	1	1	2	-
	100.0	31.7	30.5	39.0	2.4	6.1	1.2	1.2	8.5	3.7	-	2.4	3.7	1.2	1.2	2.4	-
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	5	1	1	3	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	20.0	20.0	60.0	-	-	-	-	20.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-
以前は就労していたが、現在は就労していない	87	71	12	5	1	1	-	-	-	1	-	5	3	1	1	5	1
	100.0	81.6	13.8	5.7	1.1	1.1	-	-	-	1.1	-	5.7	3.4	1.1	1.1	5.7	1.1
これまで就労したことがない	3	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	100.0	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

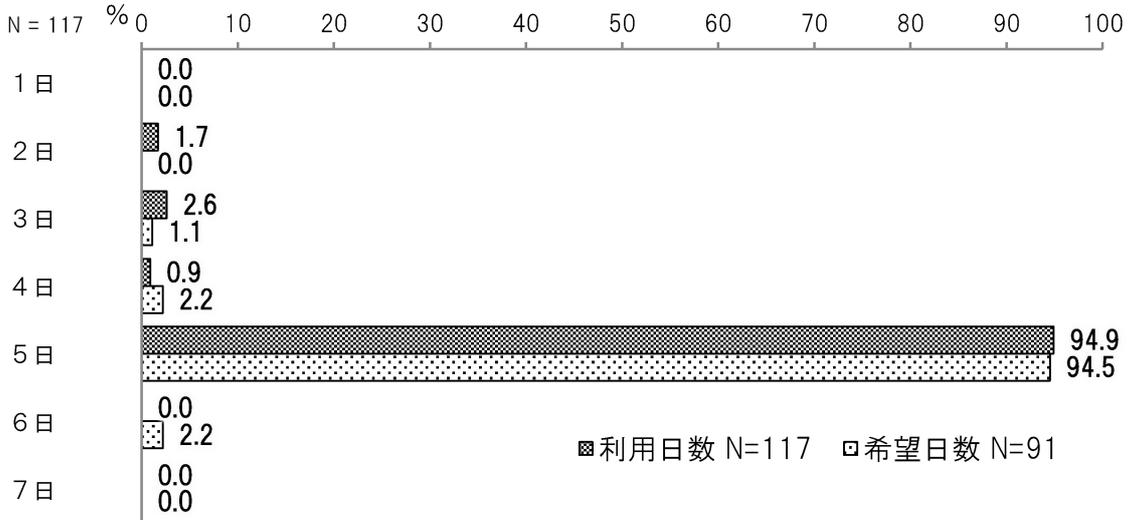
6-1-3) 現在の週あたりの利用日数、利用時間、および、希望する週あたりの利用日数、利用時間を教えてください。

- ・現在の週あたりの利用日数が最も多いのは、「認定こども園」、「家庭的保育」の5.00日でした。1日あたりの利用時間が最も多いのは、「認証保育所」の9.13時間、次いで「認可保育所の9.01時間でした。
- ・希望する週あたりの利用日数が最も多いのは、「家庭的保育」の6.00日、次いで「小規模保育施設」の5.08日でした。希望する1日あたりの利用時間が最も多いのは、「家庭的保育」の10.00時間、次いで「小規模保育施設」の9.31時間でした。

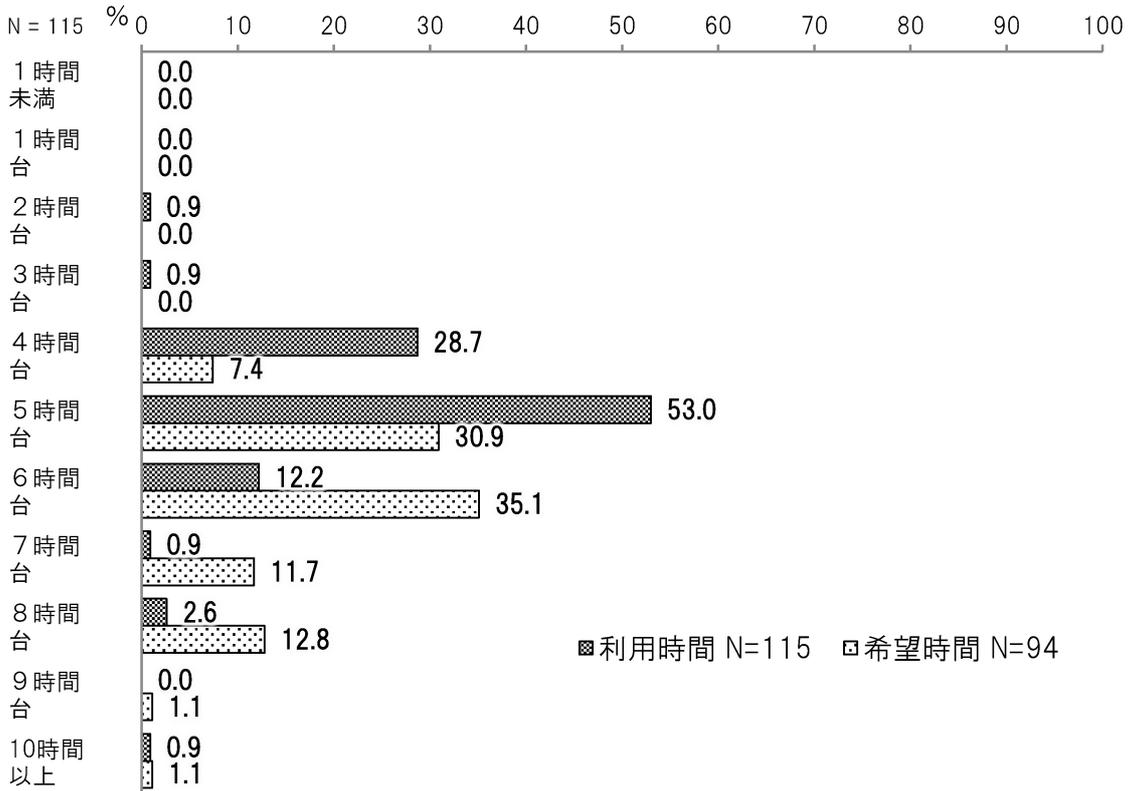
	現在日数（週あたり）		希望日数（週あたり）		現在時間（日あたり）		希望時間（日あたり）	
	調査数	平均	調査数	平均	調査数	平均	調査数	平均
幼稚園	117	4.89	91	4.98	115	5.00	94	6.10
幼稚園の預かり保育	50	3.64	47	4.15	50	4.34	47	4.64
認可保育所	302	4.99	264	5.02	298	9.01	262	9.02
認定こども園	5	5.00	5	5.00	4	8.00	5	9.00
小規模保育施設	19	4.84	13	5.08	20	8.70	13	9.31
家庭的保育	2	5.00	1	6.00	2	8.00	1	10.00
事業所内保育施設	4	4.00	6	5.00	4	6.75	6	7.67
認証保育所	31	4.94	25	4.96	30	9.13	24	9.25
企業主導型保育	21	4.81	18	4.89	21	8.52	18	8.83
ベビーホテル	0	—	0	—	0	—	0	—
その他の認可外保育施設	11	4.91	8	5.00	12	7.67	8	8.88
居宅訪問型保育	3	2.67	6	2.50	3	6.33	7	5.86
ファミリー・サポート・センター	2	2.50	4	1.75	2	4.50	4	2.50
定曜日保育等の定期利用保育事業	1	3.00	1	5.00	1	8.00	2	7.00
その他	10	2.50	7	3.71	9	4.56	7	5.00

■ 幼稚園

【利用日数・希望日数（週あたり）】

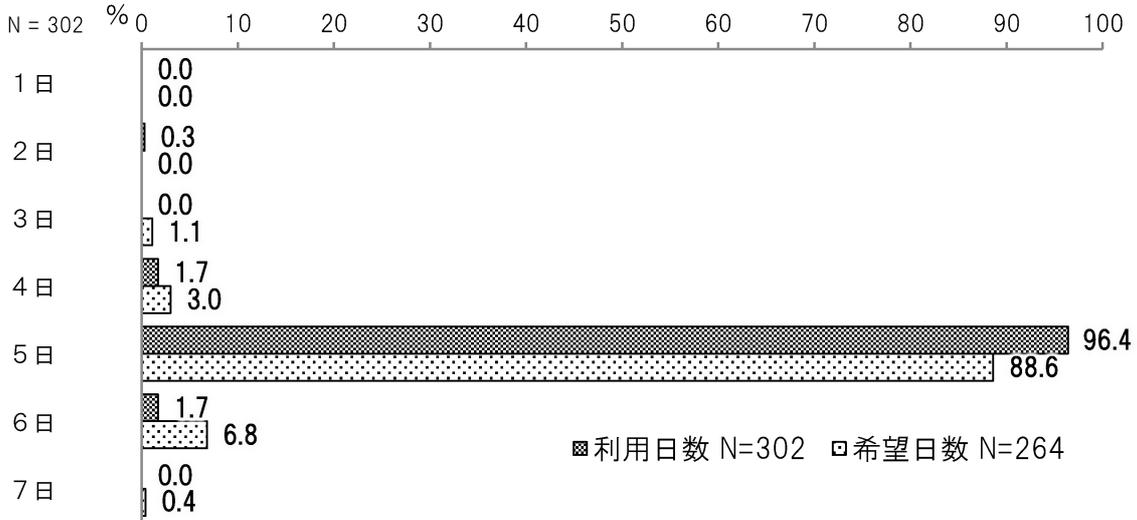


【利用時間・希望時間（日あたり）】

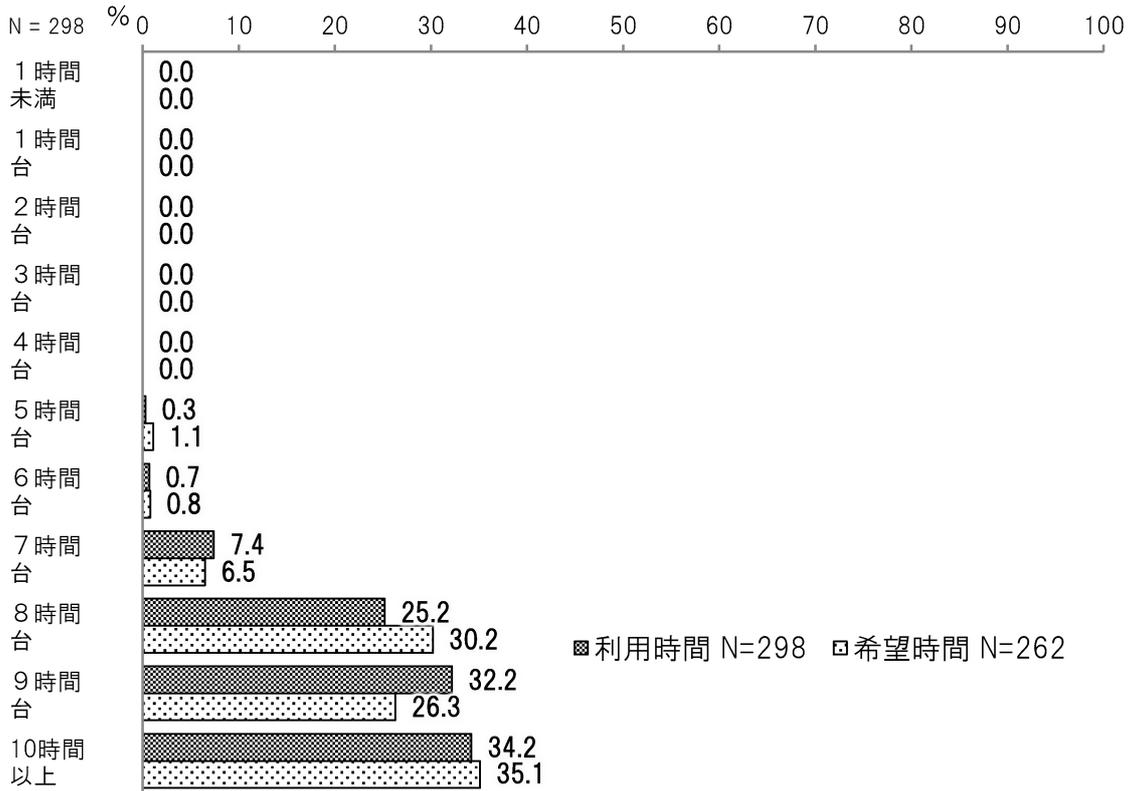


■認可保育所

【利用日数・希望日数（週あたり）】

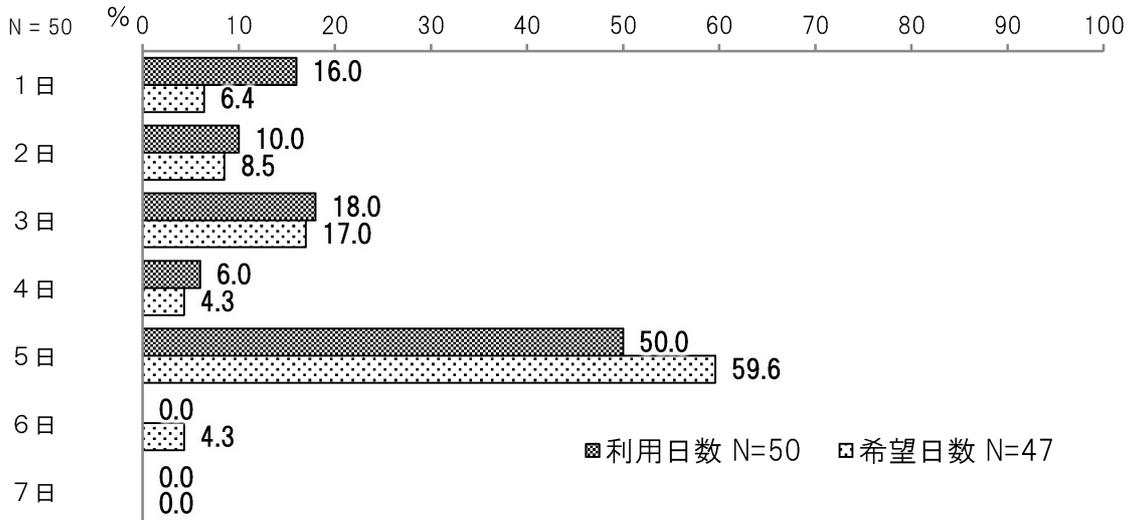


【利用時間・希望時間（日あたり）】

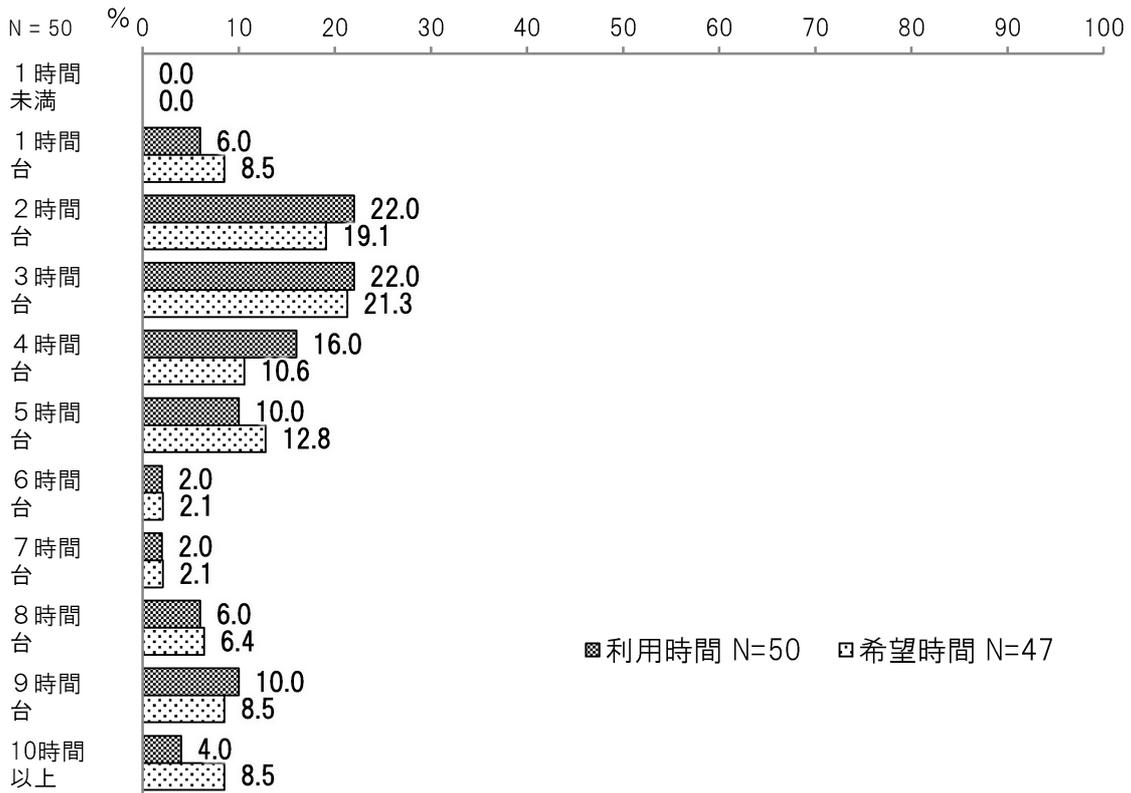


## ■ 幼稚園の預かり保育

### 【利用日数・希望日数（週あたり）】

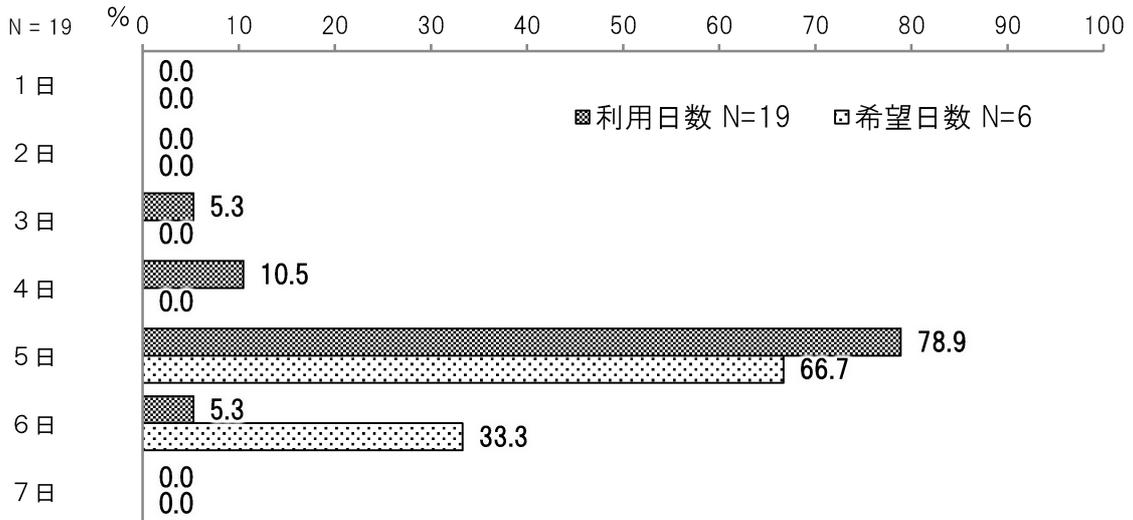


### 【利用時間・希望時間（日あたり）】

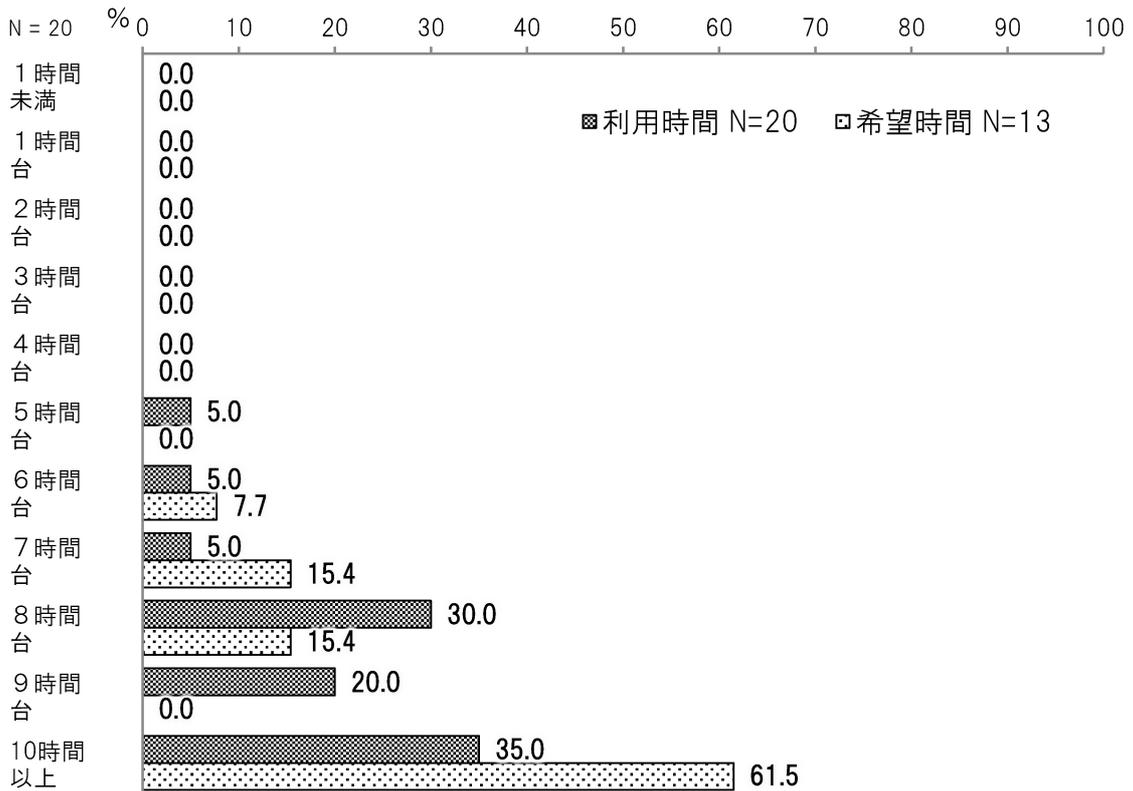


## ■小規模保育施設

### 【利用日数・希望日数（週あたり）】

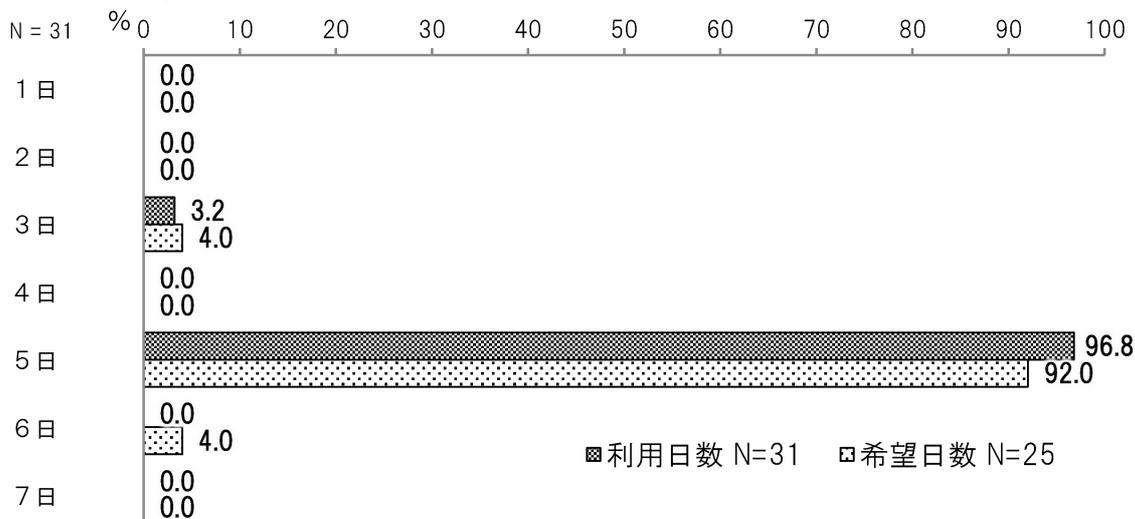


### 【利用時間・希望時間（日あたり）】

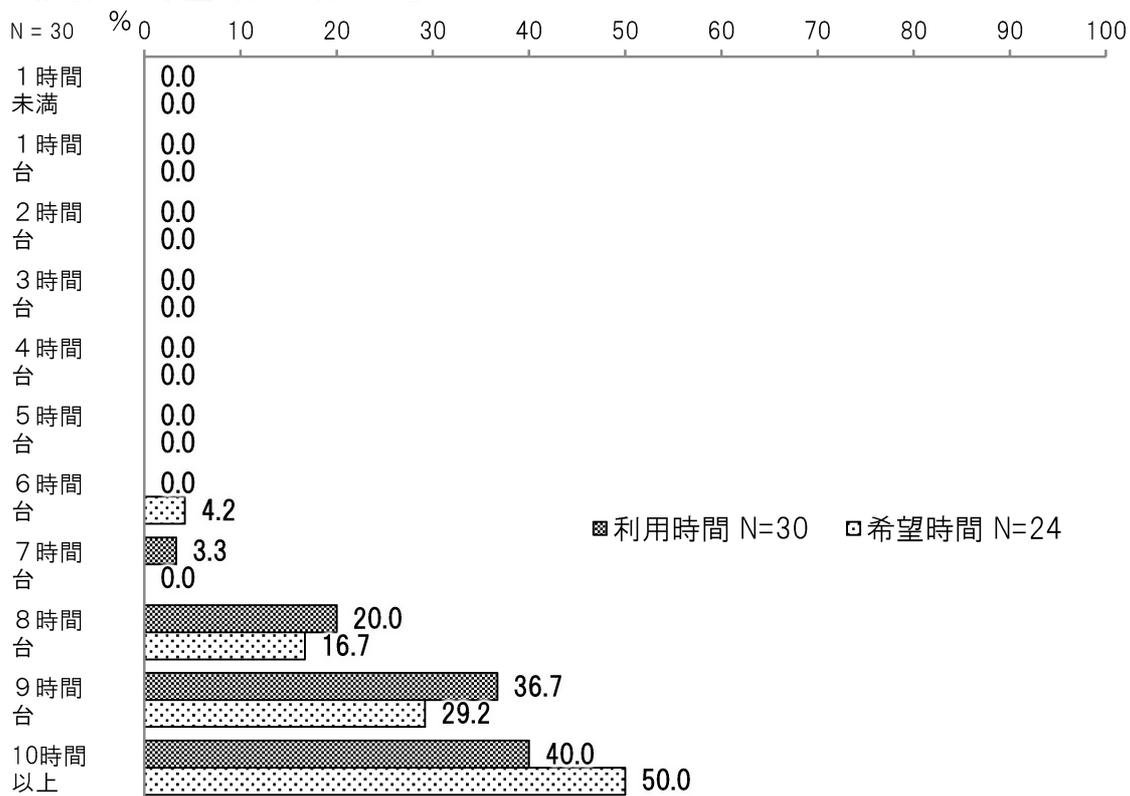


■ 認証保育所

【利用日数・希望日数（週あたり）】

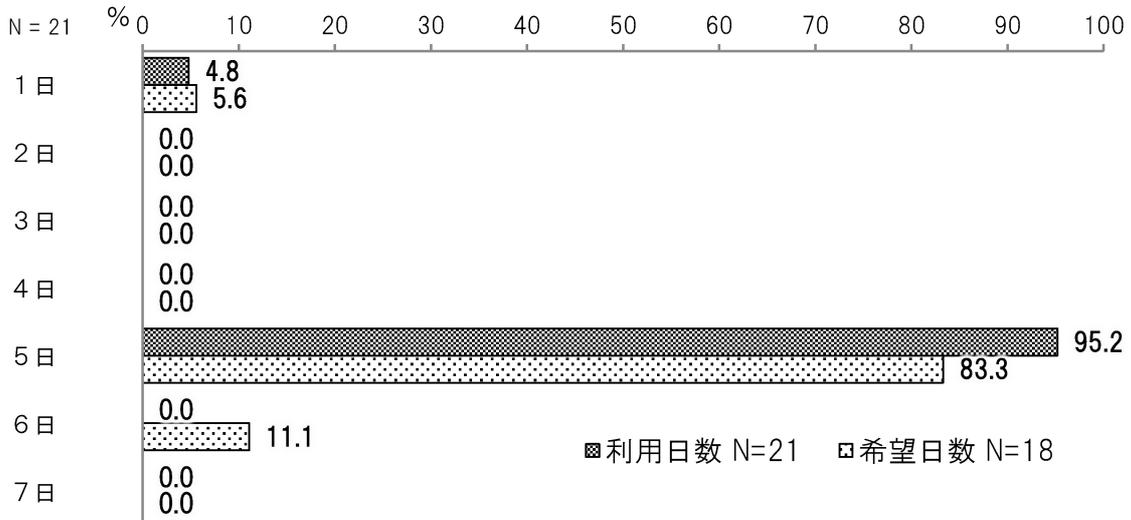


【利用時間・希望時間日あたり】

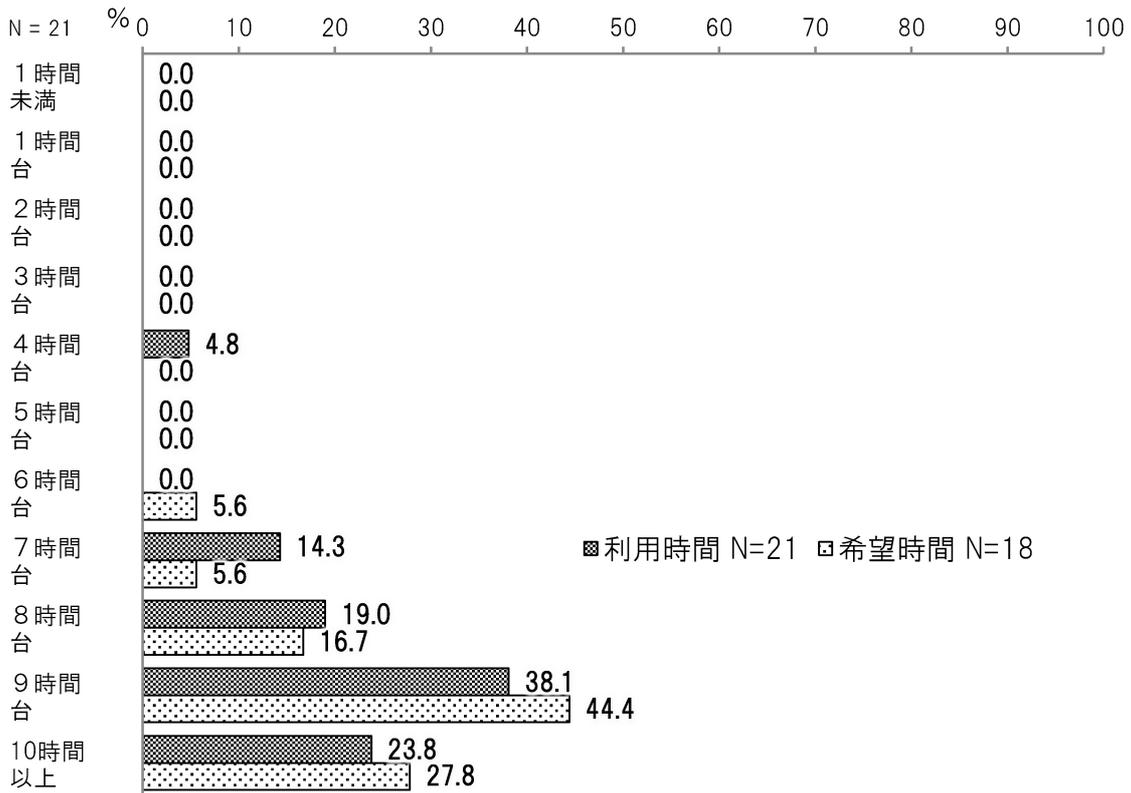


## ■企業主導型保育

### 【利用日数・希望日数（週あたり）】



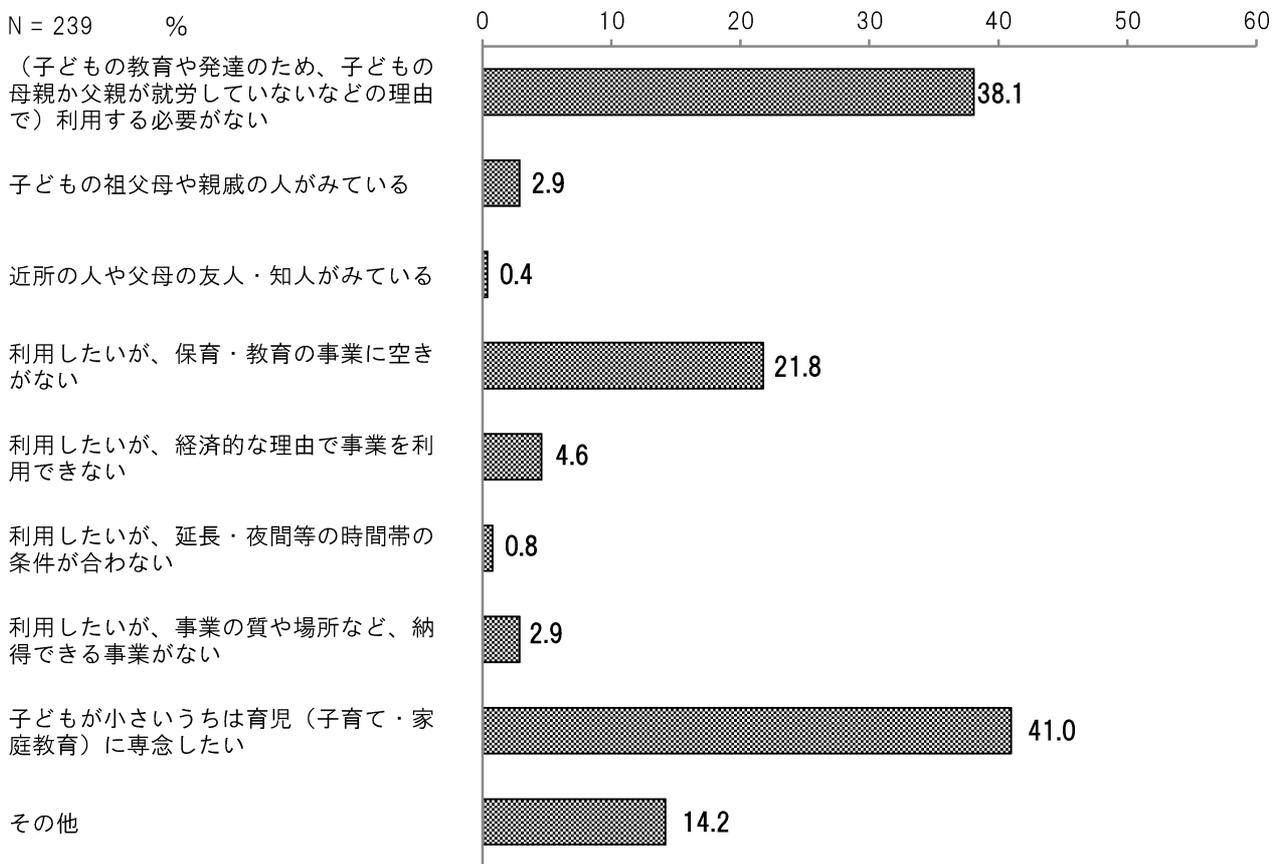
### 【利用時間・希望時間日あたり】



就保 11-1)

6-1-4) 平日に定期的な教育・保育事業を利用していない理由をお答えください。(複数回答)

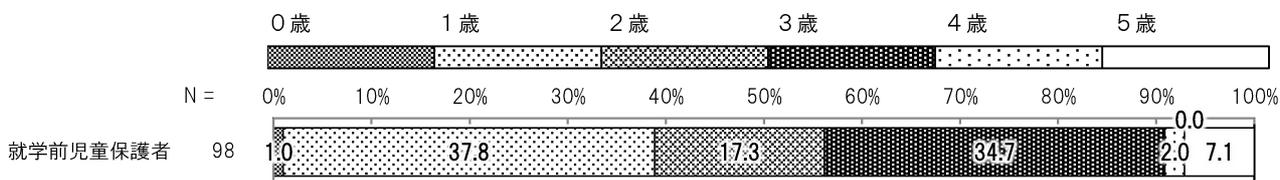
- ・ 就学前児童保護者は「子どもが小さいうちは育児(子育て・家庭教育)に専念したい」が最も多く41.0%、次いで「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がない」が38.1%でした。
- ・ その他としては、育休中、仕事していなければ入れない、保育園に入っていないと就労できないのループで、4月から保育園に入所予定などの記載がありました。



就保 11-2)

6-1-5) 前問で「子どもが小さいうちは育児(子育て・家庭教育)に専念したい」を選んだ場合、子どもが何歳になったら定期的な教育・保育事業を利用したいですか

- ・ 就学前児童保護者は平均1.99歳で、「1歳」が最も多く37.8%でした。



	定期的な教育・保育事業を利用したい年齢(歳)	
	調査数	平均
就学前児童保護者	91	1.99

就保 11-2)

【母親の就労状況 × 定期的に教育・保育事業を利用していない理由】

- 定期的に教育・保育事業を利用していない理由を母親の就労状況別にみると、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」では、「子どもが小さいうちは育児（子育て・家庭教育）に専念したい」が多い傾向にあります。また、「以前は就労していたが、現在は就労していない」では、「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」が最も多くなっています。

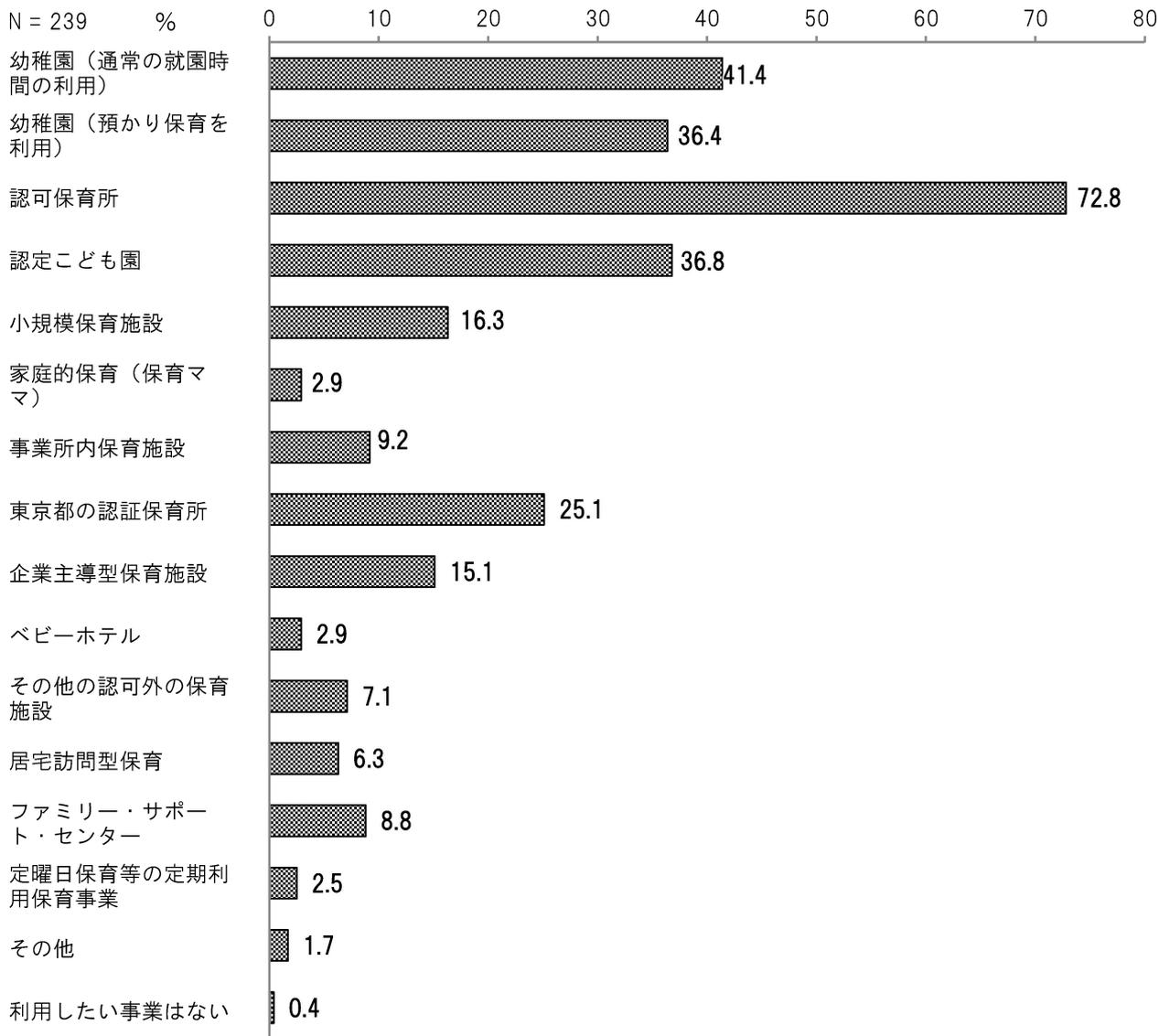
(上段：実数、下段：%)

	調査数	(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない	子どもの祖父母や親戚の人がみている	近所の人や父母の友人・知人がみている	利用したいが、保育・教育の事業に空きがない	利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	子どもが小さいうちは育児(子育て・家庭教育)に専念したい	その他	無回答
就学前児童保護者	239	91	7	1	52	11	2	7	98	34	9
	100.0	38.1	2.9	0.4	21.8	4.6	0.8	2.9	41.0	14.2	3.8
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	8	1	3	-	3	-	-	-	1	1	-
	100.0	12.5	37.5	-	37.5	-	-	-	12.5	12.5	-
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	138	44	3	1	30	3	1	3	59	27	4
	100.0	31.9	2.2	0.7	21.7	2.2	0.7	2.2	42.8	19.6	2.9
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	9	4	1	-	2	1	-	-	4	1	-
	100.0	44.4	11.1	-	22.2	11.1	-	-	44.4	11.1	-
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	10	3	-	-	2	-	-	-	4	-	2
	100.0	30.0	-	-	20.0	-	-	-	40.0	-	20.0
以前は就労していたが、現在は就労していない	72	38	-	-	15	7	1	4	30	5	2
	100.0	52.8	-	-	20.8	9.7	1.4	5.6	41.7	6.9	2.8
これまで就労したことがない	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0

## 6-2 定期的に利用したいと考えている教育・保育事業

6-2-1) あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。(複数回答)

- ・ 就学前児童保護者は「認可保育所」が最も多く 72.8%、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が 41.4%でした。
- ・ その他としては、託児所の死亡事件保育園での虐待などのニュースを見て預けること自体が不安に感じている、児童発達支援施設などの記載がありました。



就保 12)

**【母親の就労状況 × 定期的にご利用したいと考えている教育・保育事業】**

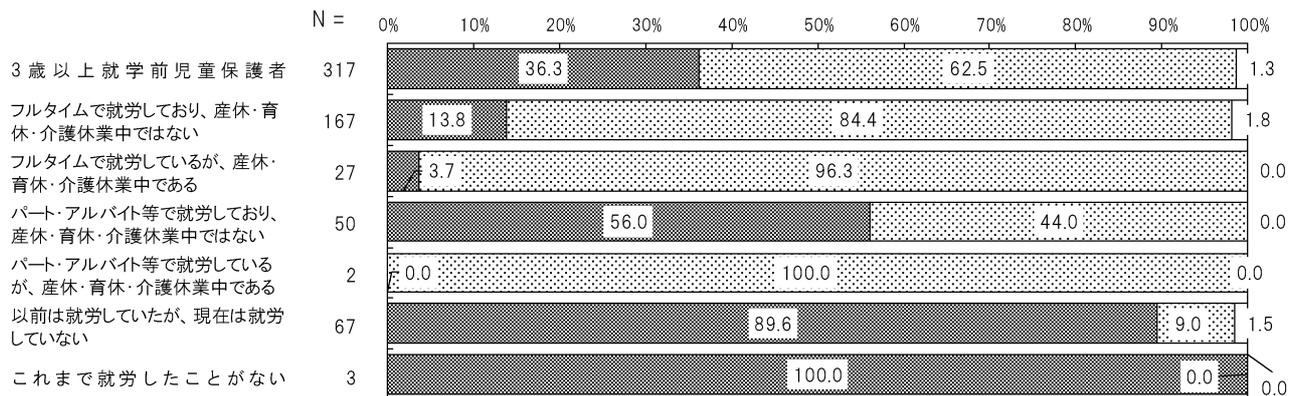
- ・ 定期的にご利用したいと考える教育・保育事業を母親の就労状況別にみると、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」では「認可保育所」が多く、「以前は就労していたが、現在は就労していない」では「幼稚園」が最も多くなっています。

(上段：実数、下段：%)

	調査数	幼稚園 (通常の 就園時間 の利用)	幼稚園 (預かり 保育を利用)	認可保育 所	認定こど も園	小規模保 育施設	家庭的保 育(保育 ママ)	事業所内 保育施設	東京都の 認証保育 所	企業主導 型保育施 設	ベビーホ テル	その他の 認可外の 保育施設	居宅訪問 型保育	ファミ リー・サ ポート・ センター	定曜日保 育等の定 期利用保 育事業	その他	利用した い事業は ない	無回答
就学前児童保護者	239	99	87	174	88	39	7	22	60	36	7	17	15	21	6	4	1	1
	100.0	41.4	36.4	72.8	36.8	16.3	2.9	9.2	25.1	15.1	2.9	7.1	6.3	8.8	2.5	1.7	0.4	0.4
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	8	4	4	5	3	1	-	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	50.0	50.0	62.5	37.5	12.5	-	-	37.5	12.5	-	-	-	-	-	-	-	-
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	138	33	44	123	52	25	4	18	42	26	5	14	9	9	3	4	1	1
	100.0	23.9	31.9	89.1	37.7	18.1	2.9	13.0	30.4	18.8	3.6	10.1	6.5	6.5	2.2	2.9	0.7	0.7
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	9	7	6	6	5	3	2	1	3	3	-	-	-	2	-	-	-	-
	100.0	77.8	66.7	66.7	55.6	33.3	22.2	11.1	33.3	33.3	-	-	-	22.2	-	-	-	-
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	10	3	4	8	7	3	-	1	3	2	-	1	-	1	-	-	-	-
	100.0	30.0	40.0	80.0	70.0	30.0	-	10.0	30.0	20.0	-	10.0	-	10.0	-	-	-	-
以前は就労していたが、現在は就労していない	72	50	28	32	21	7	1	2	9	4	2	2	6	9	3	-	-	-
	100.0	69.4	38.9	44.4	29.2	9.7	1.4	2.8	12.5	5.6	2.8	2.8	8.3	12.5	4.2	-	-	-
これまで就労したことがない	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

**【母親の就労状況 × 幼稚園利用の強い希望】**

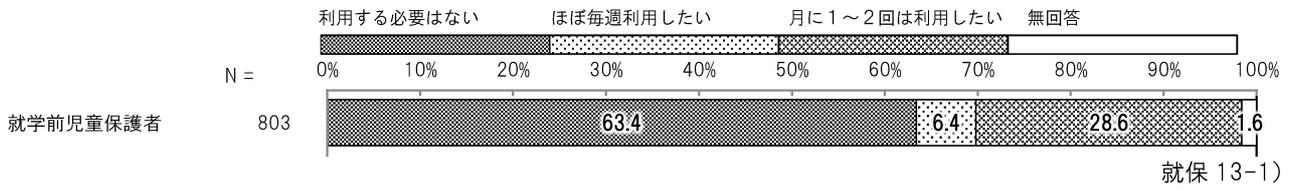
- ・ 幼稚園の利用希望が強いと想定される割合を母親の就労状況別にみると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」では幼稚園の利用希望が 89.6%と特に多くなっています。



※【2号認定（幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるもの）】として《3歳以上》を対象に問11で「利用している」かつ問11-1で「幼稚園（預かり保育含む）」に回答した割合を集計

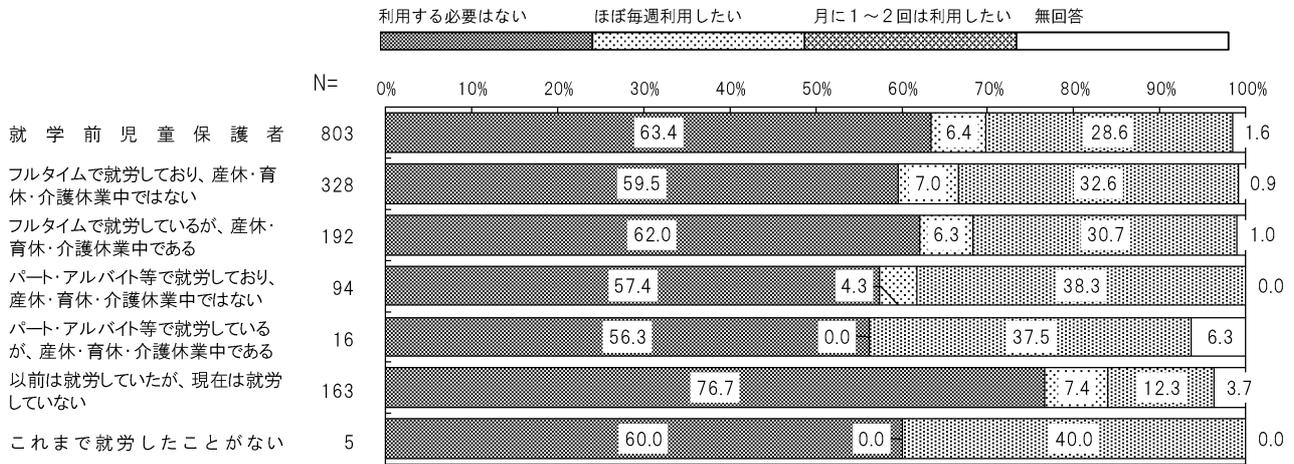
6-2-2) あて名のお子さんについて、土曜日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか

- ・ 就学前児童保護者は「利用する必要はない」が最も多く 63.4%、次いで「月に1～2回は利用したい」が 28.6%でした。



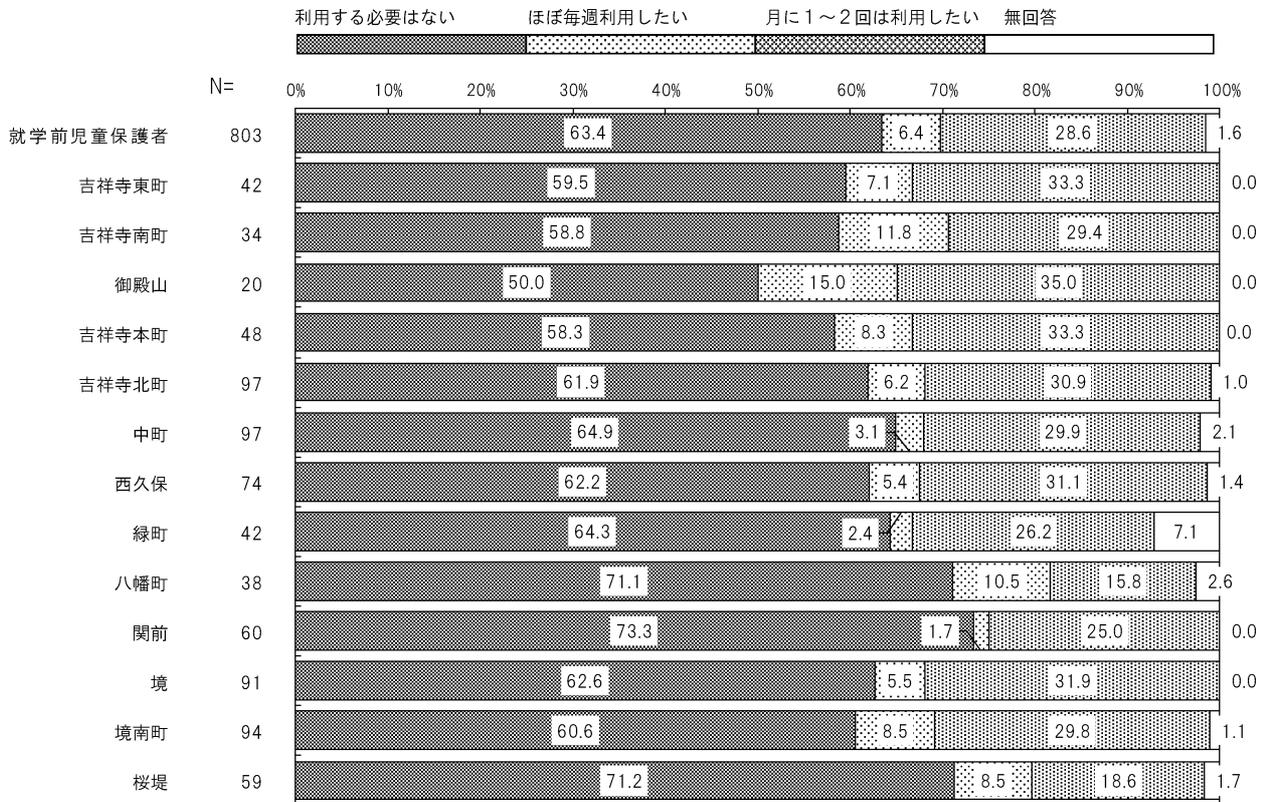
### 【母親の就労状況 × 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用意向】

- ・ 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用意向を母親の就労状況別にみると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」では「利用する必要はない」が7割を超えていますが、フルタイムもしくはパート・アルバイトでは「月に1～2回は利用したい」が多くなる傾向にあります。



【居住地区 × 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用意向】

- ・ 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用意向を居住地区別にみると、「利用する必要はない」は関前で73.3%、桜堤で71.2%、八幡町で71.1%と、7割を超えて多くなっています。

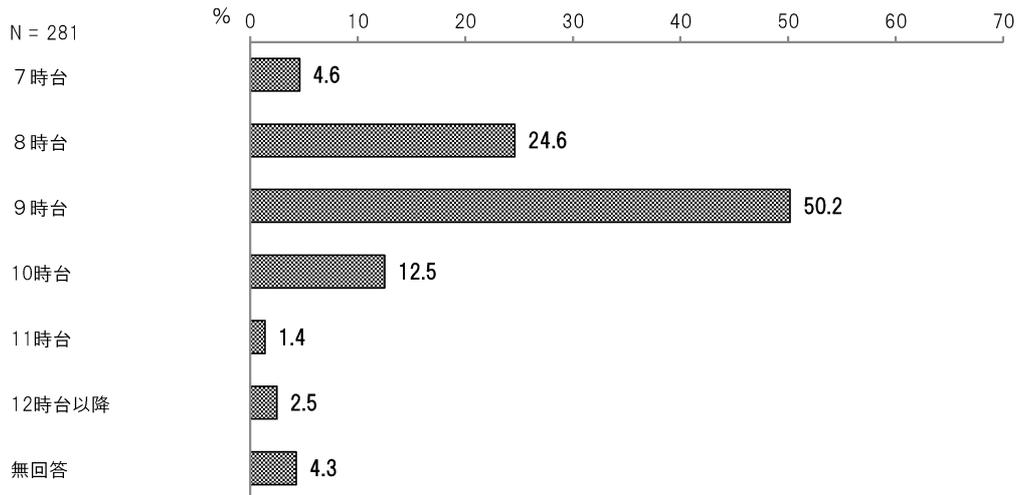


6-2-3) 土曜日に利用したい時間帯

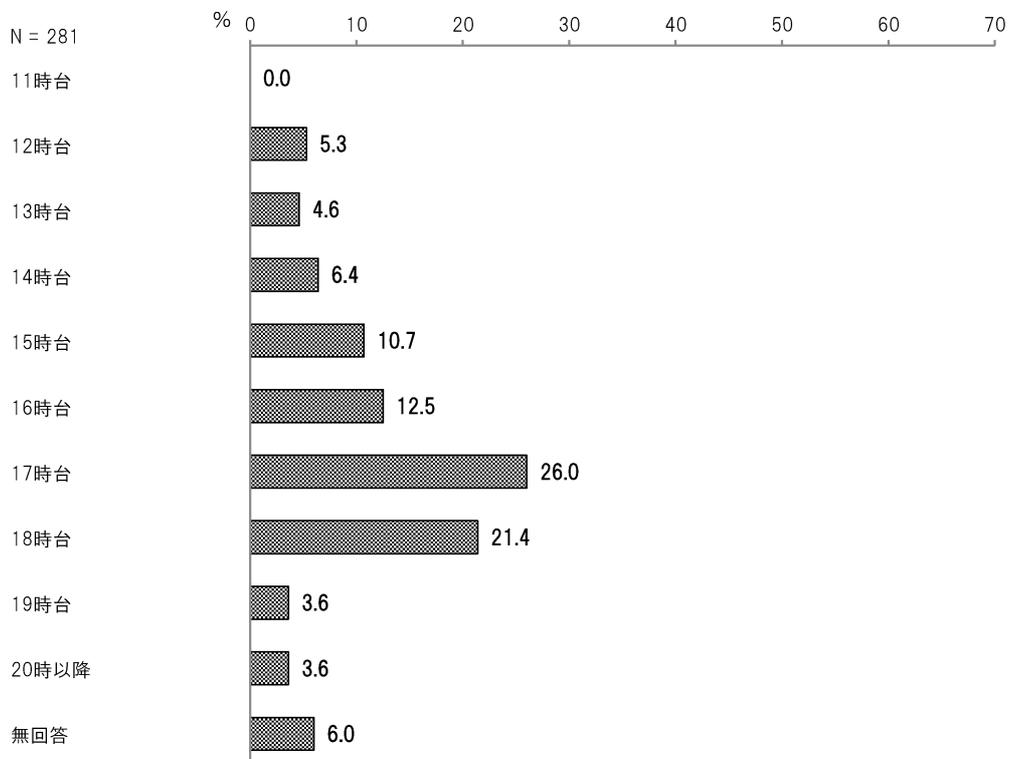
- ・ 就学前児童保護者は、開始時間が平均 8.90 時で、「9 時台」が最も多く 50.2%でした。終了時間は平均 16.39 時で、「17 時台」が最も多く 26.0%でした。

	開始時間		終了時間	
	調査数	平均	調査数	平均
土曜日	269	8.90	269	16.39

■ 開始時間



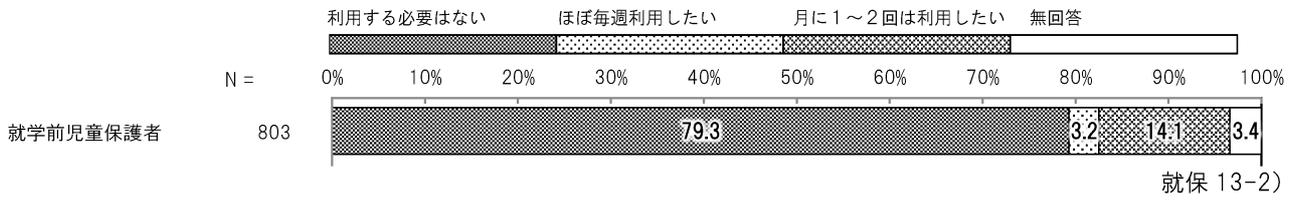
■ 終了時間



就保 13-1)

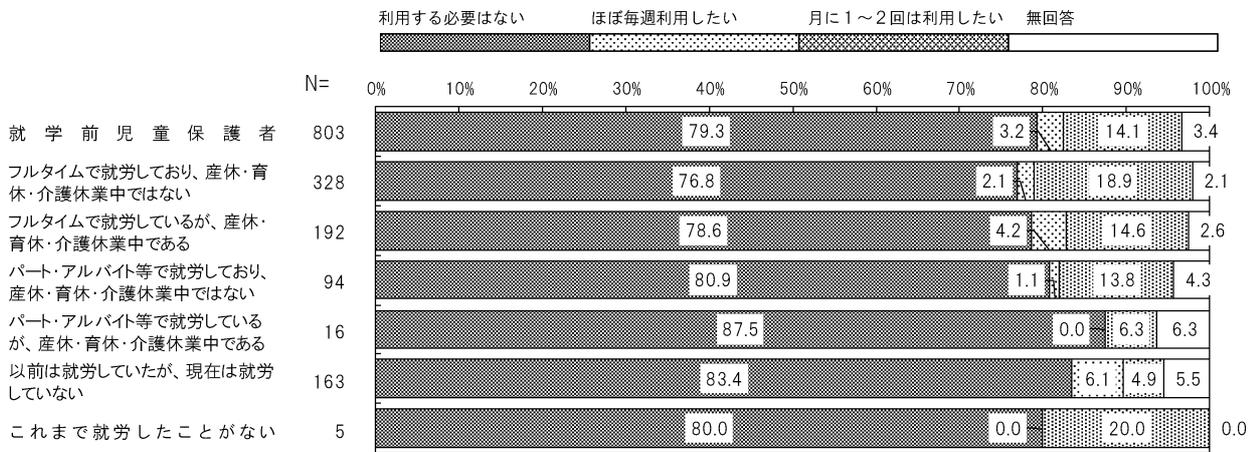
6-2-4) あて名のお子さんについて、日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか

- ・ 就学前児童保護者は「利用する必要はない」が最も多く 79.3%、次いで「月に1～2回は利用したい」が 14.1%でした。



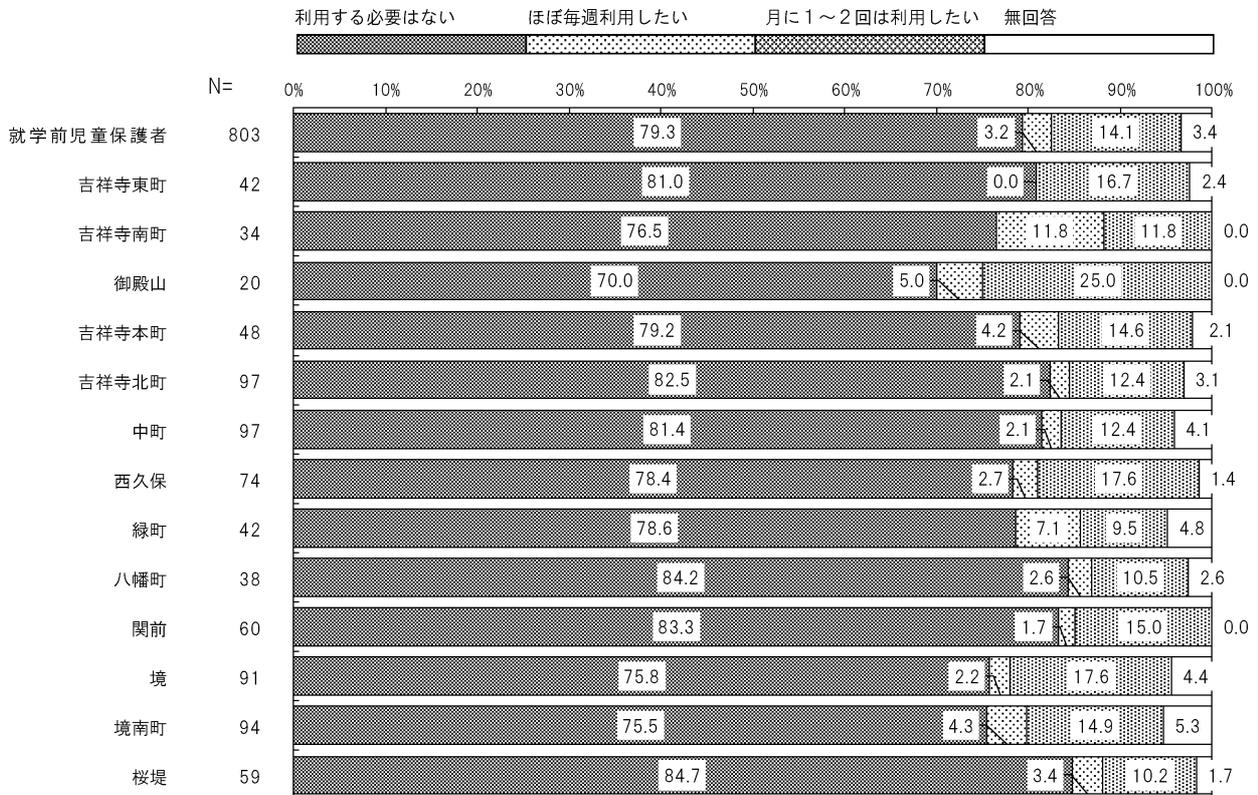
**【母親の就労状況 × 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向】**

- ・ 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向を母親の就労状況別にみると、全体的に「利用する必要はない」が多い傾向にあります。



【居住地区 × 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向】

- ・ 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向を居住地区別にみると、「利用する必要はない」が概ね7割以上となっています。特に桜堤では、84.7%と、他の地区に比べて多くなっています。

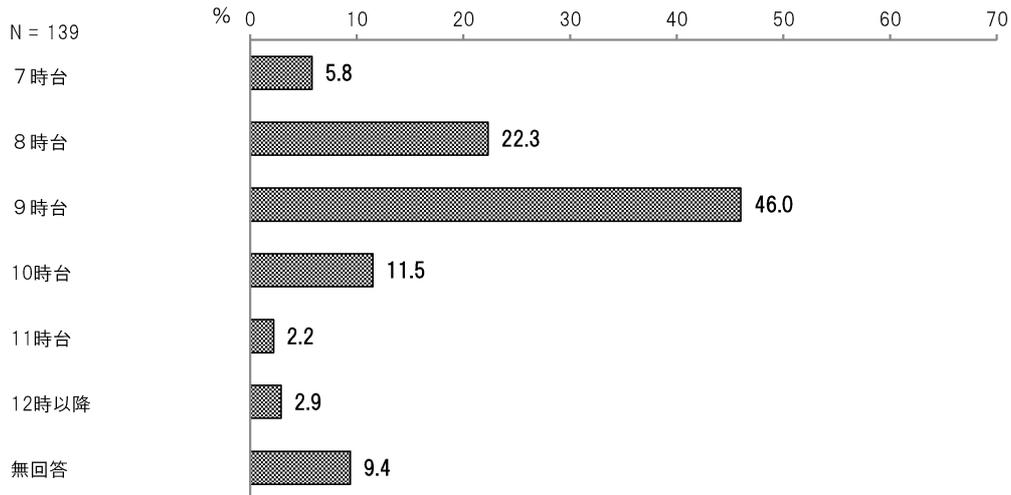


6-2-5) 日曜日・祝日に利用したい時間帯

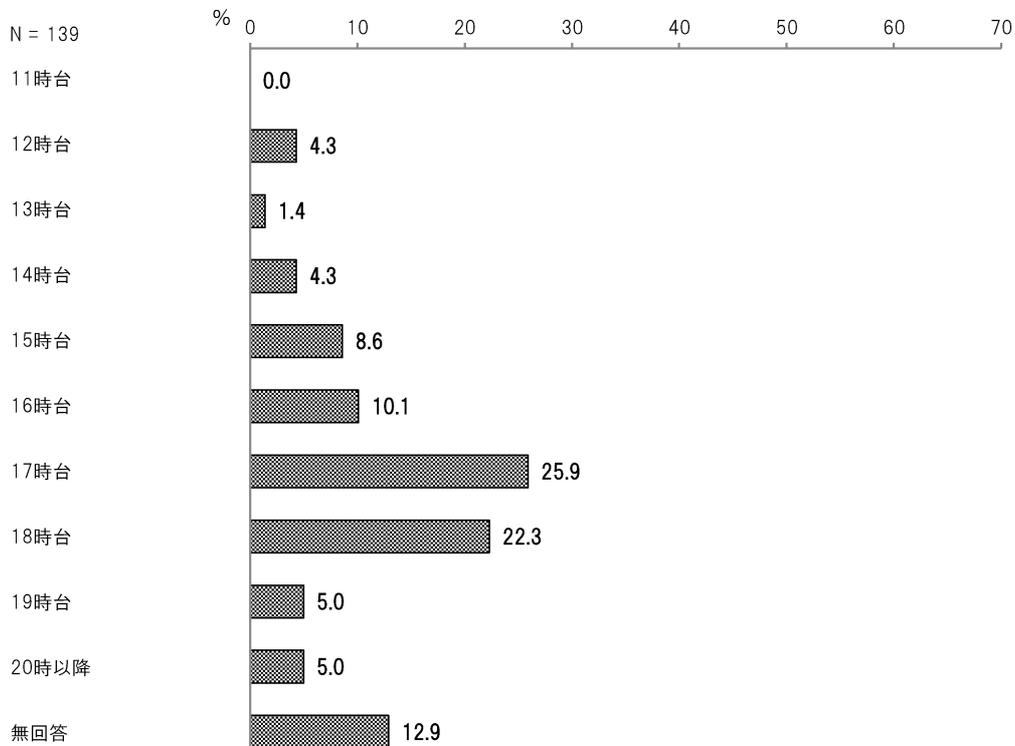
- ・ 日曜日・祝日に利用したい時間帯は、開始時間が平均 8.92 時で、「9 時台」が最も多く 46.0%でした。終了時間は平均 16.83 時で、「17 時台」が最も多く 25.9%でした。

	開始時間		終了時間	
	調査数	平均	調査数	平均
日曜日・祝日	126	8.92	126	16.83

■ 開始時間



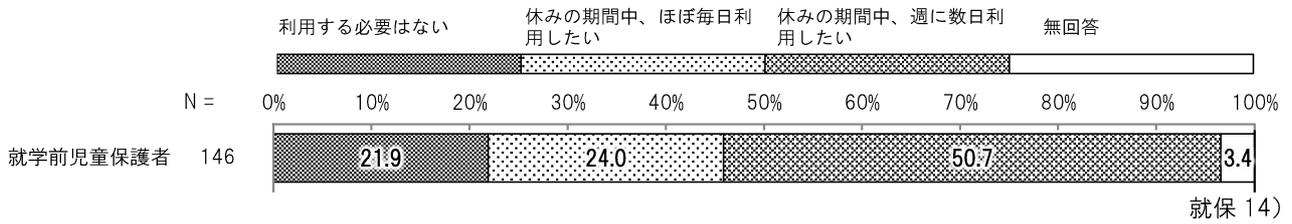
■ 終了時間



就保 13-2)

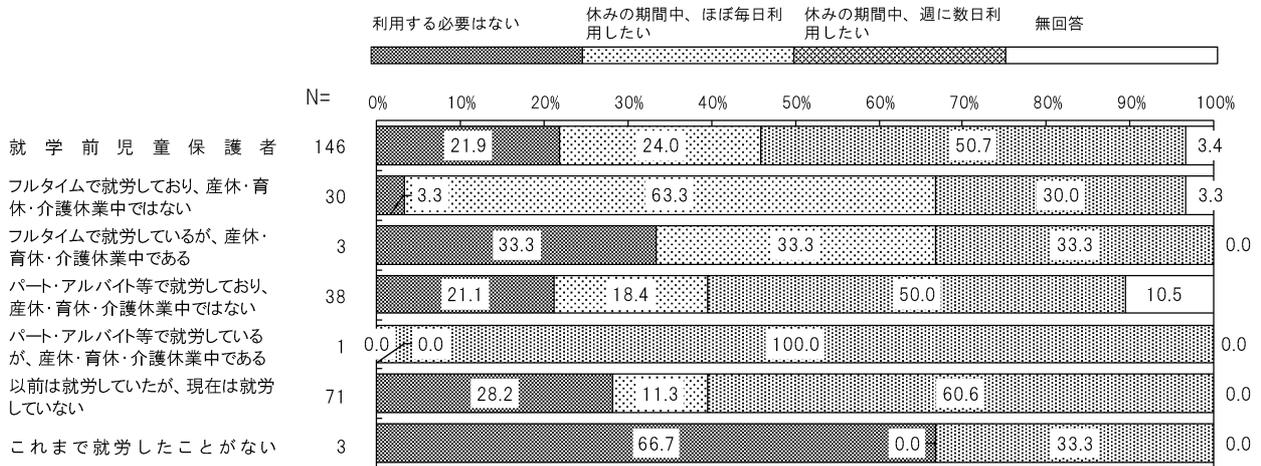
6-2-6) あて名のお子さんの夏休み・冬休みなど長期休業期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。

- ・ 就学前児童保護者は「休みの期間中、週に数日利用したい」が最も多く 50.7%、次いで「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 24.0%でした。



**【母親の就労状況 ×夏休み・冬休み等長期休業期間中の教育・保育事業の利用意向】**

- 夏休み・冬休み等長期休業期間中の教育・保育事業の利用意向を母親の就労状況別にみると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」では「利用する必要はない」が他の就労状況に比べて多い傾向にあります。また、全体的に土曜日の利用意向および日曜日・祝日の利用意向に比べて「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回利用したい」の割合が多くなっています。

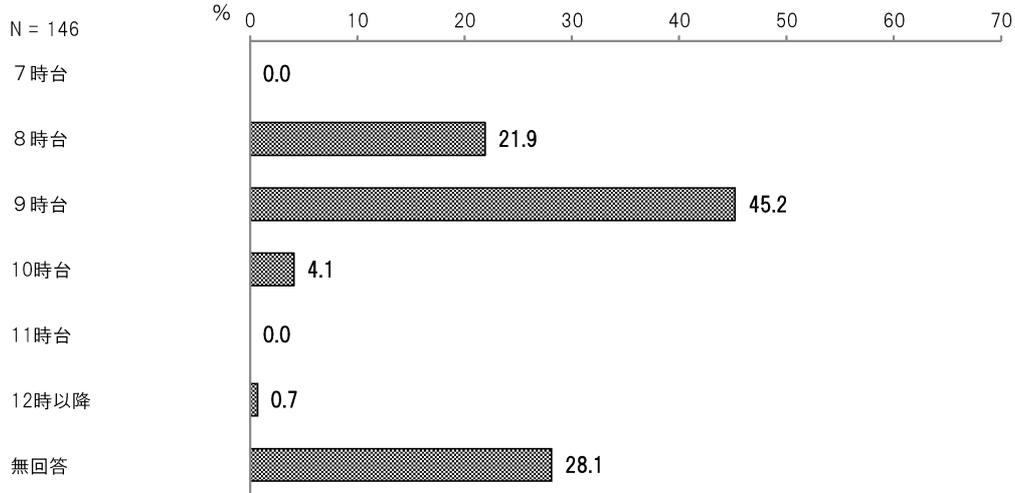


6-2-7) 長期休業期間中に利用したい時間帯

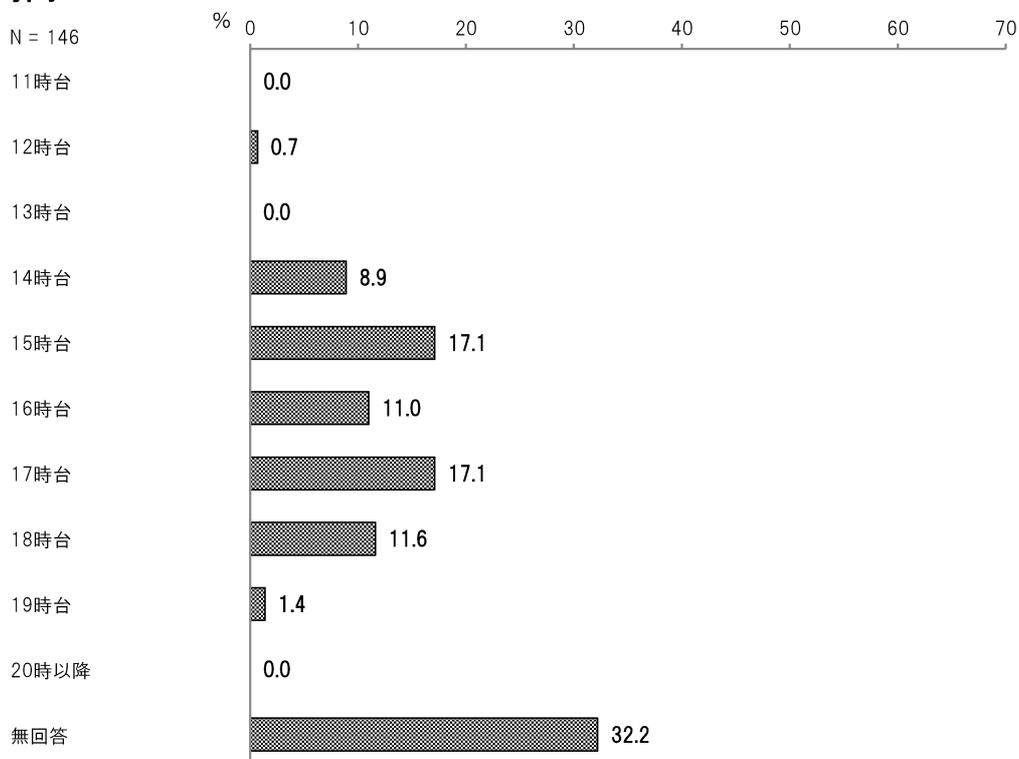
- ・ 夏休み、冬休みなどの長期休業期間中に利用したい時間帯は、開始時間が平均 8.79 時で、「9 時台」が最も多く 45.2% でした。終了時間は平均 16.10 時で、「15 時台」と「17 時台」が最も多く 17.1% でした。

	開始時間		終了時間	
	調査数	平均	調査数	平均
長期休業期間中	105	8.79	105	16.10

■ 開始時間



■ 終了時間



就保 14)